

世田谷区 文化財保存活用基本方針

世田谷区教育委員会

はじめに

世田谷区には、地域の歴史文化を物語る文化財が数多くあります。こうした文化財は世田谷に暮らしてきた人々の記憶を伝える貴重な財産です。しかし、街の移り変わりとともに、かつての世田谷を思い起こさせる文化財が失われつつあります。

世田谷区教育委員会では、平成26年に今後10年間の世田谷区の教育の方向性を示す「第2次世田谷区教育ビジョン」を策定しました。「第2次世田谷区教育ビジョン」においては、郷土「せたがや」の豊かな歴史・文化を次代へ継承していく取り組みを推進することとしています。

文化庁では、各自治体において「歴史文化基本構想」を定め、地域の歴史・文化遺産を的確に把握し、周辺環境を含めて総合的かつ計画的に文化財を保存・活用していくことが重要であるとしています。

こうした点を踏まえ、このたび、文化財保護施策を推進するための基本的な方針として、「世田谷区文化財保存活用基本方針」を策定いたしました。これまでの世田谷の歴史や文化を、次世代を担う子どもたちに継承していくとともに、世田谷の歴史や文化を受け継ぎ、発展させていく「人」の育成にも努めていきます。

本基本方針の策定に格別のご尽力をいただきました、世田谷区文化財保護審議会委員の皆様をはじめ、各種アンケート調査や区民意見募集などを通じて貴重なご意見やご提言をいただきました多くの区民の皆様に、厚くお礼申し上げます。

今後は、本基本方針に基づき、地域の人々が文化財の価値をあらためて認識し、文化財を中心として地域のつながりがより豊かになるよう、文化財の保存・活用を推進していきます。

平成29年4月

世田谷区教育委員会

目次

1	策定の主旨	1
	(1) 基本方針策定の背景	1
	(2) 歴史文化基本構想とは.....	2
2	基本方針策定の概要.....	4
	(1) 世田谷区文化財保存活用基本方針の位置づけ	4
	(2) 世田谷区文化財保存活用基本方針の検討体制	5
	(3) 世田谷区文化財保存活用基本方針の概要.....	5
	(4) 世田谷区文化財保存活用基本方針の期間.....	6
3	世田谷区の概要.....	7
	(1) 世田谷区の地勢.....	7
	(2) 世田谷区の人口動態	8
	(3) 世田谷区の産業.....	9
4	世田谷区の文化財の現状	10
	(1) 世田谷区の歴史・文化.....	10
	(2) 世田谷区の文化財の現状把握.....	16
	(3) 世田谷区の文化財を取り巻く環境の変化.....	18
5	世田谷区の文化財施策の課題	19
	(1) 文化財施策の課題整理.....	19
6	世田谷区の文化財保存・活用の基本的な考え方	30
	(1) 文化財保存・活用の基本理念.....	30
	(2) 文化財保存・活用の基本方針.....	32
7	重点取り組み.....	38
	(1) (仮称) 世田谷デジタルミュージアムの構築	38
	(2) 民家園の機能の再検討と事業の充実	40
	(3) 地域の文化財保護の担い手の育成.....	41
	(4) 新たな区史編さんに向けた調査・研究の推進	42
	(5) せたがや歴史文化物語の取り組みの推進.....	43
8	文化財保存・活用の体制整備	46
	(1) 推進体制.....	46

資 料 編.....	47
資料 1 検討の経緯.....	48
資料 2 世田谷区文化財保護審議会委員名簿	49
資料 3 文化財保護審議会答申	50
資料 4 世田谷区文化財に関する区民意識・実態調査.....	60
資料 5 世田谷区文化財に関する区政モニターアンケート.....	70
資料 6 世田谷区内社寺一覧	77
資料 7 指定文化財一覧	80
資料 8 文化財リスト	84

1 策定の主旨

(1) 基本方針策定の背景

世田谷区では、昭和37年に刊行した『新修世田谷区史』の編さん事業により、郷土史の資料の収集・研究に取り組み、昭和39年には23区で最初となる世田谷区立郷土資料館を開設し、文化財や歴史資料等の調査・研究を進めてきました。さらに、昭和52年に「世田谷区文化財保護条例」を制定し、指定や登録により文化財の保存と活用をはかり、文化財の総合調査を進めるとともに、その保存・活用を推進し、区民への文化財の公開や区民の郷土学習の支援に取り組んできました。また、岡本公園民家園・次大夫堀公園民家園を開設し、単なる展示や紹介にとどまらず、文化財に触れて、体験するという形での文化財の活用についても積極的に取り組んできました。

しかしながら、社会経済状況の変化に伴い、文化財の周辺環境も大きく変貌し、かつての世田谷の姿を思い起こさせる資料や環境が少なくなっており、多くの文化財が失われつつあります。地域における固有の歴史・文化、風景をはじめとする資源が、その価値を十分に把握されないまま姿を消していくことは、現在及び将来にわたって、地域に住む人々にとって大きな損失です。

これらの時代背景を踏まえ、歴史・文化、風景などを保護・継承していくことは現代の社会的要請であると捉え、行政としてはそのための啓発等の取り組みを積極的に行う必要があります。そのためには、保護の視点だけではなく、これらを活用して地域の歴史・文化、風景などに対する理解や愛着を社会的に醸成していかなくてはなりません。特に、指定等がなされていない文化財は、人々の暮らしの中に埋もれてその価値が見いだされないまま失われやすいという問題があります。

このような事態に対応するためには、文化財を複合的に捉え、個々の文化財だけではなく群としての価値や魅力、全体としてのつながりを分かりやすく示し、地域住民等の理解へとつなげていくことが重要であると考えられます。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機とし、ますます国際化が進む中で、広く世田谷の歴史・文化の魅力を伝えていくことも重要となります。

世田谷区が、地域の歴史・文化や風景等の保護・継承に関する施策を一貫した考えをもって進めていくため、基本方針を示す必要があります。世田谷区文化財保存活用基本方針を、文化庁「歴史文化基本構想」の策定指針を参考としつつ、他の関連する施策を踏まえ策定します。

(2) 歴史文化基本構想とは

文化庁が地方公共団体に策定を推進しているものであり、地域に存在する文化財を指定・未指定に関わらず幅広くとらえて的確に把握し、文化財をその周辺まで含め総合的に保存・活用を図る、地方公共団体が文化財行政を進めるうえでの基本的な構想となるものです。

国は、「歴史文化基本構想」においては、文化財保護に加え、まちづくりや風景などの分野との連携も重要であるとしています。また、文化庁による「文化芸術の振興に関する基本的な方針（以下、第4次基本方針）」においては、重点戦略の1つとして「文化芸術の次世代への確実な継承、地域振興等への活用」が掲げられており、歴史文化基本構想に基づく地域の文化財の保存・活用の推進を促しています。さらに、日本遺産の認定制度が創設され、地域の歴史的魅力等について戦略的に発信していく方針を打ち出しています。

国によるこれらの方針に共通するのは、文化財やそれらを取り巻く風景・自然環境をより明確に資源化することで地域づくりや観光などの核として活かすことであり、また、それらを通じ総合的な保存・活用を図り確実に次世代へ継承していくことです。「歴史文化基本構想」は、各自治体がこれら文化財に関する施策を総合的に行うにあたり、長期的かつ一貫性ある視点を持った基本方針となるものです。

■歴史文化基本構想の策定にあたっての考え方

以下の点に留意しながら、長期的な視点に立って文化財保護のマスタープランとして策定する。

- ①文化財保護施策を、一貫性を持って進めるための構想とする。
- ②未指定の文化財を視野に含めるなど文化財保護施策の充実を図るための構想とする。
- ③文化財とそれを取りまく環境の一体的な保護を図るための構想とする。
- ④個々の文化財の価値や性質を十分踏まえた構想とする。
- ⑤文化財保護に関する情報を多くの関係者と共有するための構想とする。

■歴史文化基本構想として定める事項

<基本的に定める事項>

- ①策定の目的や行政上の位置付け
- ②当該地方公共団体の歴史・文化の特徴
- ③文化財把握の方針、文化財の保存・活用の基本的な方針
- ④文化財の保存・活用を推進するための体制整備の方針等

■先行自治体の事例

○策定済みの自治体

平成26年度までに28自治体で策定している。

(川崎市、日の出町、盛岡市、足利市、金沢市、小浜市・若狭町、姫路市、太宰府市など)

○策定に取り組んでいる自治体

平成27年度の補助事業による策定により18地域が策定に取り組んでいる。

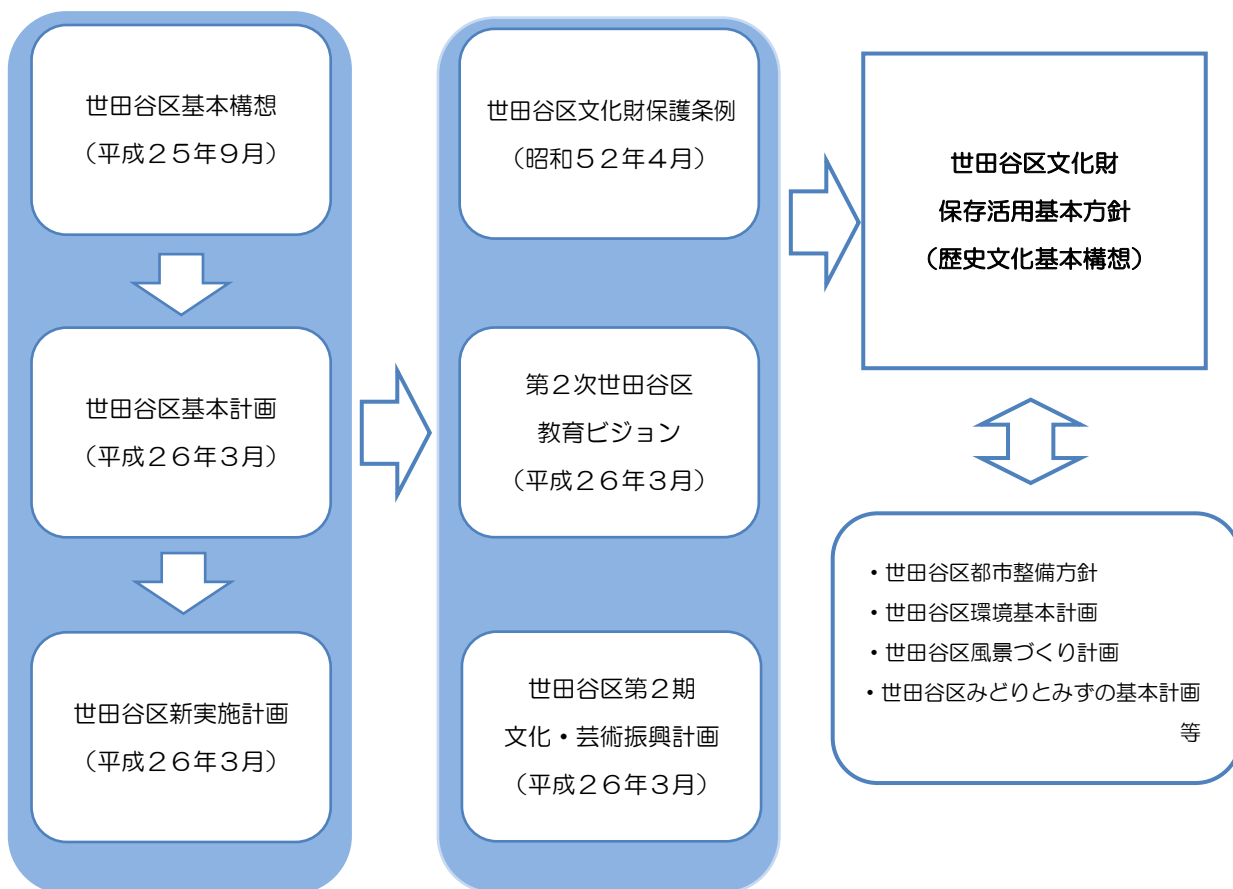
(名古屋市、銚子市、松本市、東近江市、倉敷市、飯豊町、西会津町など)

2 基本方針策定の概要

(1) 世田谷区文化財保存活用基本方針の位置づけ

基本方針策定にあたっては世田谷区基本計画や世田谷区新実施計画、第2次世田谷区教育ビジョンなどとの整合を図り、歴史文化基本構想として位置づけることとします。

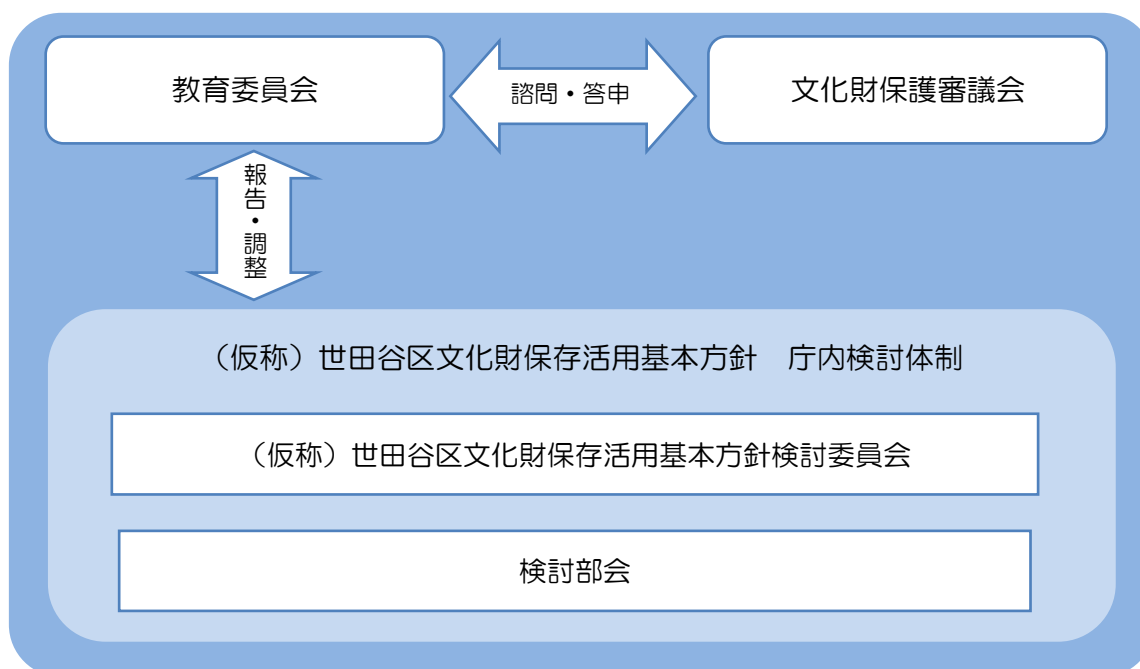
なお、関連する計画の見直しの際には、世田谷区文化財保存活用基本方針も必要に応じて見直すこととします。



(2) 世田谷区文化財保存活用基本方針の検討体制

基本方針の検討にあたっては、教育委員会から文化財保護審議会に諮問を行い、文化財保護審議会から専門的な見地に基づき答申をいただきました。

また、庁内横断的に策定を行うために、世田谷区文化財保存活用基本方針検討委員会を設け、ワーキンググループとして検討部会を組織しました。



(3) 世田谷区文化財保存活用基本方針の概要

①世田谷区の文化財の保存と活用の基本的な理念

- 世田谷区の歴史・文化を伝え、その魅力を次世代に継承していくための基本的な理念を示します。

②世田谷区の文化財の保存と活用の基本方針

- 世田谷区の歴史・文化についての価値を共有し、継承していくために、地域の文化財の調査研究を進めるとともにその保存に取り組むための基本方針を定めます。

- 世田谷区の歴史・文化や地域の文化財の魅力について学び、体験する場を広げ、地域の文化財の活用を推進するための基本方針を定めます。
- 世田谷の歴史・文化を次世代に伝えていくために、地域の文化財の保存・活用に参画する機会を増やし、地域で文化財やそれを取り巻く環境を支える担い手を育成する基本方針を定めます。

(4) 世田谷区文化財保存活用基本方針の期間

平成29年度を初年度とし、平成38年度までの概ね10年とします。

期間内においては、本基本方針の検証を定期的に行うとともに、必要に応じて内容の見直しを検討し、様々な社会情勢の変化等に対応した施策展開を図ります。

■主な関連計画の計画期間

	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
世田谷区基本計画	→ (H26年度)～H35年度									
世田谷区新実施計画	→	→ (H26年度)～H29年度								
世田谷区文化財保存活用 基本方針	→ H29年度～H38年度									
第2次世田谷区教育ビジョン	→ (H26年度)～H35年度									
世田谷区第2期文化・芸術振興計画	→	→ (H26年度)～H29年度								

3 世田谷区の概要

(1) 世田谷区の地勢

世田谷区は東京23区中の西南端にあり、東は目黒区・渋谷区、北は杉並区・三鷹市、西は狛江市・調布市、南は大田区とそれぞれ接し、さらに多摩川を挟んで神奈川県川崎市と向かい合っています。区の面積は58.08km²で、最も小さい台東区の約6倍にあたります。

都心に近い市街地と郊外地があること、また、東京湾から6～16kmの距離にあるため海の影響が強く現れる地域があることから、気温は都心部に比べ年間を通じて0.5～1.0℃程度低いという記録もあります。なお、世田谷区（世田谷観測所）における平成18年の年間降水量は1,316mmとなっています。

世田谷区の地形は、台地と低地から成っています。南西部は多摩川に沿い、成城・大蔵・瀬田・野毛に至る急な崖（国分寺崖線）があります。この崖を境に北東側は台地（洪積層）、南西側は低地（沖積層）です。武蔵野台地の一部である台地部は、標高30～50mで、多くの河川によって樹枝状に浸食され、丘や谷の起伏ができています。低地部は標高10～25mで、台地部とおおよそ20mの高度差のある平坦地となっています。

武蔵野台地の雑木林の面影を残す樹林地をはじめ、寺社のみどり、大規模な公園や緑地には、比較的まとまったみどりが残されています。平成23年度世田谷区土地利用現況調査では、区全体のみどり率は24.6%で、そのうちの7割が樹木や樹林に覆われた樹木地です。また、国分寺崖線沿いには90カ所程の湧水地点が確認され、多くの水生生物や植物を育む多様な生態系が存在しています。

主な河川としては、多摩川・仙川・野川・烏山川・北沢川・蛇崩川・九品仏川・谷沢川・呑川・丸子川などがあります。これらの河川は、かつては灌漑用水として利用されていましたが、宅地化が進むにつれて農地が減少したため、大部分は下水道幹線として暗きょ化され、地表は緑道となっています。

図表 3-1 世田谷区の位置



出典：世田谷区の土地利用 2011

図表 3-2 世田谷区の水系



出典：世田谷区の地盤について

(2) 世田谷区の人口動態

【人口と世帯】

平成 28 年 11 月 1 日現在の住民基本台帳によると、人口 892,673 人、世帯数 467,865 世帯です。人口は大正から急激な勢いで増加し、昭和 50 年代に入ると横ばいとなりましたが、平成 8 年以降緩やかに増えています。

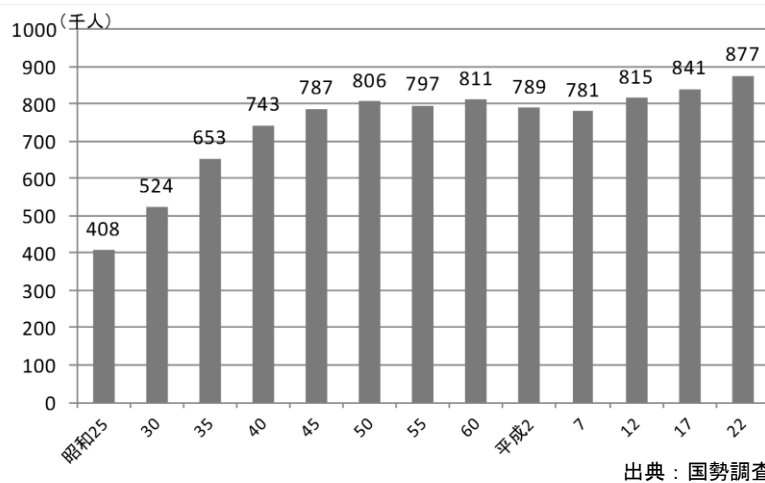
東京 23 区中では、人口、世帯数ともに第 1 位、人口密度は 13 位です。年齢・男女別人口では、男女ともに 40 ～ 44 歳が最も多くなっています。地域別に見ると、年代別人口では、15 歳未満の年少人口の割合は砧地域が高く、北沢地域が低くなっています。65 歳以上の高齢者人口の割合はどの地域も同程度です。また、人口密度は世田谷地域が高く、砧地域が低くなっています。世帯の家族類型別割合について、平成 27 年国勢調査によると、単独世帯の割合が増しており、49.9%と最も多くを占めます。これは全国の割合の 34.5% と比べて高くなっています。

【人口推計】

世田谷区の総人口の将来推計は、一貫して増加傾向が続き、平成 31 年には 907,117 人となり、平成 38 年には 973,598 人となる見込みです。

年代別人口では、推計期間中（平成 38 年まで）は生産年齢人口、高齢者人口、年少人口、就学前人口のすべてにおいて増加傾向にあります。特に年少人口の増加の割合が大きく、平成 28 年と比べて、平成 38 年には約 16.6%人口が増加する見込みです。

図表 3-3 世田谷区の人口推移



(3) 世田谷区の産業

【区内の産業構造】

世田谷区内の事業所数は約 24,500 事業所（公務を除く）あり、従業者数は約 24 万人です（総務省調査「平成 24 年経済センサス」より）。

業種の構成としては、卸売業・小売業が 27.4%と全体の 4 分の 1 以上を占めており、次いで、宿泊業・飲食サービス業が 14.

1%、生活関連サービス業・娯楽業が 10.3%、医療・福祉が 9.5%となっています。

世田谷の産業は、購買力の高い住民に支えられた多様な小売業・サービス業が多いことを特徴としており、区内の小売・サービス関連の事業所は、食料品や理・美容、クリーニングなど、日々の生活を支える業種が多くなっています。区内産業は農業・工業も含めて、これらの産業は職住近接を特徴としており、事業者（従業者）はサービス提供者であるとともに、サービスを受ける区民でもあります。この地元産業と住民との距離の近さも世田谷の産業の特徴の一つです。

【区内の農業】

江戸時代において、世田谷区域は江戸市中に向けて野菜を供給する近郊農村として発展してきました。現在でも、区内には屋敷林や農地が残されています。

区の農業は都市部立地の有利性を活かした農業経営が展開され、大根・ジャガイモ・小松菜等の露地野菜、ブドウ等の果樹、パンジー・ビオラ等の花卉などが栽培されています。区内農家の多くは 50 a 未満の小規模経営であり、少量多品目の農産物を生産し、農家の個人直売所または J A の共同直売所などで販売しています。

世田谷区では、区内で生産された野菜や果実、花等に「せたがやそだち」のロゴマークを表示することで、区内産農産物のイメージアップと PR を図っています。

図表 3-5 世田谷区の産業(大分類)別事業所数推移

産業大分類	事業所数				
	平成24年		平成21年		対H21年の増減率
	実数	構成比	実数	構成比	
全産業	24,536	100.0%	24,334	100.0%	0.8%
農林漁業	35	0.1%	25	0.1%	40.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	2	0.0%	1	0.0%	100.0%
建設業	1,784	7.3%	1,764	7.2%	1.1%
製造業	787	3.2%	809	3.3%	▲ 2.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	7	0.0%	10	0.0%	▲ 30.0%
情報通信業	513	2.1%	393	1.6%	30.5%
運輸業、郵便業	521	2.1%	633	2.6%	▲ 17.7%
卸売業、小売業	6,712	27.4%	6,912	28.4%	▲ 2.9%
金融業、保険業	305	1.2%	270	1.1%	13.0%
不動産業、物品賃貸業	2,303	9.4%	1,991	8.2%	15.7%
学術研究、専門・技術サービス業	1,099	4.5%	903	3.7%	21.7%
宿泊業、飲食サービス業	3,452	14.1%	3,740	15.4%	▲ 7.7%
生活関連サービス業、娯楽業	2,515	10.3%	2,582	10.6%	▲ 2.6%
教育、学習支援業	942	3.8%	997	4.1%	▲ 5.5%
医療、福祉	2,343	9.5%	2,211	9.1%	6.0%
複合サービス事業	88	0.4%	101	0.4%	▲ 12.9%
サービス業(他に分類されないもの)	1,128	4.6%	992	4.1%	13.7%

出典：世田谷区産業振興計画、経済センサス基礎調査(平成 21 年)、経済センサス活動調査(平成 24 年)

4 世田谷区の文化財の現状

(1) 世田谷区の歴史・文化

【世田谷の遺跡】

世田谷区は都内でも有数の遺跡密集地であり、その分布は区内のほぼ全域に及びます。時代的には約3万年前の石器製作跡から近世の大名陣屋に至るまで、ほぼ全時代を網羅しています。特に水利に恵まれた多摩川沿いの国分寺崖線上は居住するのに適していたとみられ、野毛大塚古墳、御岳山古墳をはじめとする多くの遺跡が確認されています。

図表 4-1 野毛大塚古墳



【江戸氏と木田見郷】

武蔵国木田見郷（現喜多見一帯）が鎌倉時代から江戸氏一族・木田見氏の領地であったことは、「熊谷家文書」により明らかです。『一谷嫩軍記』で有名な熊谷直実の家に代々伝わる「熊谷家文書」には、木田見成念の子孫たちが木田見郷の領地を巡って熊谷氏との間に起こした相論に関する文書が含まれています。その初見は文永11年（1274）のものであり、これが区内における土地領有関係を示す最も古い文書となっています。江戸時代に、

図表 4-2 江戸喜多見氏墓所



2万石の大名にまでなった喜多見氏は本来、木田見氏とは別の家ですが、室町時代に江戸庄より喜多見の地へ移住してきたものと考えられます。

【世田谷吉良氏】

吉良氏は清和源氏・足利氏の支族で、三河国幡豆郡吉良荘より起こりました。世田谷吉良氏はその庶流で、足利義継を祖とし、その子・経氏の時、吉良姓を名乗ったと伝えられます。経氏の孫・貞家は建武政権・室町幕府の要職を歴任した後、奥州探題となって陸奥国に下向し、勢力を拡大しました。しかし、奥州からの撤退を余儀なくされた吉良治家は足利將軍家の「御一家」として鎌倉公方に仕えることとなりました。この吉良氏は、世田谷と蒔田（現横浜市）にその本拠を置いたので、世田谷御所あるいは蒔田殿と称せられるようになりました。吉良氏が世田谷城を構築した時期については不明ですが、吉良治家が鎌倉鶴岡八幡宮にあてた寄進状から、永和2年（1376）の段階で、既に吉良氏の領地が世田谷郷内にあったことが分かっています。

図表 4-3 世田谷城跡（土塁と空堀）



撮影 清水襄

【世田谷新宿と楽市（ボロ市）のはじまり】

後北条氏は領土の拡張に伴って、要所に支城を配置し、その領国体制を固めていました。その中でも、特に重要な拠点であった江戸と小机（現横浜市）を結ぶ位置にある吉良氏の本拠地・世田谷は、後北条氏の注目することとなったのであろうと考えられます。後北条氏4代目の当主・氏政は天正6年（1578）、世田谷に新たに宿場（世田谷新宿）を設けるとともに、ここに楽市を開き、矢倉沢往還の整備に努めました。その目的は、軍事・政治上必要な伝馬の確保にあり、宿場の繁栄が必要不可欠でありました。こうして、世田谷の楽市が開かれました。この時、後北条氏によって開かれた楽市は、その形を変えながら、今もボロ市として存続しています。

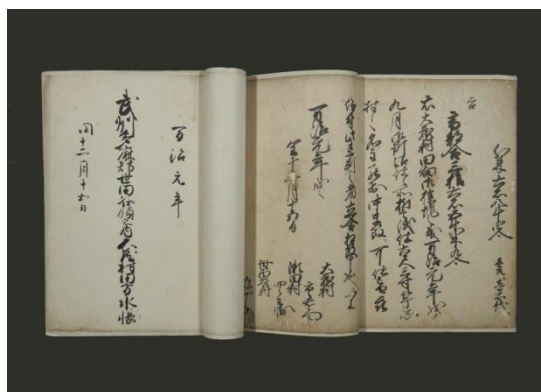
図表 4-4 北条氏楽市控書



【近世の村落支配】

徳川家康が関東に入国すると、世田谷のほとんどの村がその直轄領となり、代官・松風助右衛門の支配下に置かれました。私領としては、喜多見氏・藤川氏らの旗本7人が、喜多見村・深沢村・経堂在家村など都合9か村に給地を与えられたに過ぎませんでした。寛永年間（1624-1643）に入ると、大幅な領主替えが行われ、幕府領15か村（後、20か村）が井伊家の江戸屋敷賄料として彦根藩領に組み込まれたのをはじめ、14か村が旗本領に、1か村が増上寺領に変わりました。その間、村々においては新田畑の開発が進み、飛躍的に生産力が増しました。元禄8年（1695）には、増大した生産高を把握するために検地が施行され、村高（公定生産高）が確定しました。元禄期は近世村落の支配体制が完成した時期であり、この時確定した村高は明治維新まで変更されることはありませんでした。

図表 4-5 武州多摩郡世田谷領之内大蔵村田方水帳（万治元年）



【幕末の動乱と世田谷】

安政5年（1858）、大老職に就任した井伊直弼は日米修好通商条約の調印を断行し、将軍継嗣問題に決着をつけました。さらに直弼は、反対派の一掃を謀って「安政の大獄」を強行しましたが、安政7年（1860）3月3日、水戸浪士らが、江戸城桜田門外において直弼を暗殺しました（桜田門外の変）。領主・井伊直弼の暗殺事件は、世田谷領20か村の人々をも震撼させる一大事件でした。安政6年（1859）に貿易が開始され、外国使臣や貿易商が続々来日すると、攘夷思想を持った者たちによる外国人殺傷事件が頻発しました。

図表 4-6 井伊直弼画像（豪徳寺）



中でも文久2年（1862）に起きた生麦事件は、大きな波紋を投げかけました。賠償金を要求してイギリス艦隊が横浜港で示威行動を起こすと、たちまち、その噂が江戸市中に流れ、動揺した人々は親戚縁者を頼って家財道具の疎開を始めることとなりました。当時江戸郊外の農村地帯であった世田谷は格好の疎開先となりました。押し寄せる時代の波は、農村地帯・世田谷をものみ込んでいったのです。

【明治期における区域の沿革】

明治2年(1869)の東京府の開設、そして明治4年(1871)の廃藩置県断行など、維新改革が行われた明治の初めには、世田谷は品川県や彦根県(旧井伊領、後に一時長浜県とも呼ばれる)に分かれ、また東京府や神奈川県に分かれるなど目まぐるしく所属や区域が変わりました。明治11年には東京府に市街地の15区と周辺の6郡が置かれ、世田谷の中東部は荏原郡に、千歳・砧地区の村々は神奈川県北多摩郡に属しました。さらに明治22年(1889)には、市制及び町村制の施行により東京府内に4か村(世田谷・駒沢・松沢・玉川)と神奈川県の2か村(千歳・砧)が誕生し、明治26年(1893)には、神奈川県に属していた三多摩郡が東京府に移管されました。また、明治40年(1907)には区内最初の電車、玉川電車が開通しました。

図表 4-7 玉電開業当時の三軒茶屋(明治40年頃)



【昭和7年、世田谷区誕生】

大正から昭和初期には京王線・小田急線・大井町線・井の頭線などが開通しました。大正12年(1923)9月、関東大震災が発生すると被害を受けた下町の人々は地価が安く交通の便のよい近郊へ移住し、世田谷も急激に人口が増え、電車の沿線は住宅地に変貌していきました。都心で被災した寺が、この年から昭和期にかけて、烏山に26か寺も移転し、寺町を形成しています。

図表 4-8 砧・千歳村東京市世田谷区編入(昭和11年)



このころ、玉川村全域で住民の手により大規模な耕地整理が行われていますが、住宅化への先取り事業として特記すべきことです。

昭和7年(1932)10月1日東京市の区域が拡張され、世田谷も東京市に所属し、世田谷町・駒沢町・玉川村・松沢村の2町2村で「世田谷区」が成立誕生しました。さらに、昭和11年(1936)10月には北多摩郡であった千歳・砧村の2村が世田谷区に編入されました。区はこの時人口21万701人、面積は現在の大きさの58.05km²となりました。

太平洋戦争の終わり頃、世田谷も空襲に遭い被害を受けました。しかし、損失が比較的少なかったため、戦後から昭和40年代にかけて人口が急増しました。

【戦後の復興と高度成長】

世田谷区では、空襲による損害が都心部や下町に比べて小さかったものの、学童集団疎開などにより、人口減少は進み、昭和19年には約32万人だった人口も終戦時には23万人台まで減少していました。しかし、終戦を契機として、区の人口は急速に増加しました。戦災で焼け出された人や海外からの引揚者の増加により、都市部では深刻な住宅難に見舞われました。世田谷区には旧軍事施設の一部が海外引揚者の収容施設や戦災による母子や孤児の収容施設などに転用されました。また、区内には農地が多く、都心部ほど食糧事情が悪くなかったこと、住宅用地の供給が可能だったことなどから、人口の爆発的な増加に拍車をかけました。

図表 4-9 砧線中耕地駅付近（昭和36年）

また、区内に多くあった軍関係の土地や施設の跡地は、様々な形で転用が図られました。病院や学校などの用地として民間に払い下げられた土地や、公務員宿舎や住宅団地、あるいは公園や防衛庁関係の施設など、用途も広範囲にわたりました。



人口の急増とともに、住宅地化は一層進展することとなり、戦前の武蔵野の田園風景の中の郊外住宅地から、山の手のベッドタウンへと変貌していきます。高度成長期を迎え、東京に人口が集中すると、この傾向は一層強くなり、農地や雑木林などが開発されて住宅が建ち並ぶようになります。また昭和30年代から、都営や公社、公団などの団地や社宅も多く建てられました。

昭和39年に行われた東京オリンピックは、首都・東京の大改造をもたらしましたが、世田谷の街の姿も大きく変わることになりました。オリンピックの競技会場となった駒沢公園や馬事公苑の周辺の道路整備が行われ、甲州街道や環状七号線、国道246号線などの拡幅整備が行われました。

【住宅都市世田谷】

昭和40年代から50年代になると、それまで、戸建住宅や木造賃貸アパートが住宅の中心であった世田谷区でも、分譲・賃貸マンションの建築が増え、特に50年代以降は、急激にマンションが増加していくことになりました。地価が高騰するに伴い、土地の高度利用が図られるようになり、戸建住宅でも、土地を細分化したいいわゆる「ミニ開発」も

図表 4-10 多摩川から見た二子玉川



盛んに行われるようになりました。また、昭和60年代に入り、バブル景気の影響により、住宅開発はさらに進み、農地が減少し、豊かな自然が残されてきた国分寺崖線でのマンション建設などが行われました。戦前に形成された、ゆったりとした郊外住宅の敷地も、相続などにより細分化されてきました。

こうした変化に対し、世田谷区では世田谷・北沢・玉川・砧・烏山の五つの地域毎にまちづくりを進めるとともに、国分寺崖線の自然を守る取り組みや、区民により地域風景資産を選定するなど風景づくりの取り組みなどを通じて、潤いのあるまちづくりに取り組んでいます。

(2) 世田谷区の文化財の現状把握

①文化財の指定・登録の現状

世田谷区では、昭和52年に「世田谷区文化財保護条例」を制定し、区の文化財として貴重である場合や、学術的に価値がある場合など、保存すべき文化財については登録文化財として登録しています。登録文化財のうち、区にとって重要なものは指定文化財として指定しています。

なお、文化財とは、人間の文化的活動の結果、生み出されたもので、文化的価値を有するもののことです。本基本方針では、指定・登録されていない文化財についても保存・活用を図っていきます。

世田谷区文化財保護条例第2条では、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、史跡、名勝、天然記念物と細分化され、以下のように定義されています。

○有形文化財

建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で歴史上または芸術上価値の高いもの（これらのものと一体をなしてその価値を形成している土地その他の物件を含む。）および考古資料その他の学術上価値の高い歴史資料

○無形文化財

演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産で歴史上または芸術上価値の高いもの

○民俗文化財

衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能およびこれらに用いられる衣服、器具、家屋その他の物件で生活の推移の理解のため欠くことのできないもの

○史跡

貝塚か、古墳、城跡、旧宅その他の遺跡で歴史上または学術上価値の高いもの

○名勝

庭園、橋りょう、峡谷その他の勝地で芸術上または観賞上価値の高いもの

○天然記念物

動物（生息地、繁殖地および渡来地を含む。）、植物（自生地を含む。）および地質鉱物（特異な自然の現象の生じている土地を含む。）で学術上価値の高いもの

また、これまでの指定・登録文化財の件数については、以下のとおりです。

種別		件数
国	国宝	15件
	重要文化財	167件
	史跡	3件
	登録文化財	18件
都	指定文化財	31件
区	指定文化財	79件
	登録文化財	7件

(平成28年3月現在)

※国宝・重要文化財は個人所有を除く

②これまでの文化財調査

世田谷区では、昭和26年に『世田谷區史』を刊行し、その後の昭和37年に刊行した『新修 世田谷区史』の編さん事業により、本格的に郷土史の資料の収集・研究に取り組むことになりました。昭和39年には23区で最初となる世田谷区立郷土資料館を開設し、区の歴史・文化の調査・研究を進めてきました。

これらの調査・研究を進める中で生まれる様々な調査・研究成果については、各刊行物において区民に広く公表してきました。世田谷区のこれまでの文化財に関する主な調査及び刊行物は以下のとおりです。

	調査名	調査年	主な刊行物
区史関係	第1次区史編さん事業	昭和26年	『世田谷區史(上・下巻)』
	第2次区史編さん事業	昭和31年～37年	『新修 世田谷区史(上・下巻)』
	第3次区史編さん事業	昭和46年～51年	『世田谷 近・現代史』
	せたがや百年史	平成4年	『せたがや百年史(上・下巻)』
その他の史書編さん事業関係	世田谷区教育史編さん事業	昭和58年～平成7年	『世田谷区教育史 通史編』
	世田谷区議会史編さん	昭和41年～46年	『世田谷区議会史』
	世田谷女性史編さん	平成5年～11年	『里から町へ 100人が語るせたがや女性史』 『せたがや女性史—近世から近代まで—』
郷土資料館による史料刊行	文書調査	昭和53年～	『世田谷代官大場家文書目録』 『旧荏原郡太子堂村名主 森家文書目録』
	世田谷区史料叢書・世田谷叢書刊行事業	昭和60年～	『世田谷区史料叢書』(第1巻～第19巻) 『世田谷叢書』(第1集～第9集)※刊行中
	その他	昭和59年～	『伊勢道中記史料』 『世田谷地誌集』 『大場美佐の日記』 『石井至毅著作集』等
文化財係等による調査報告等	世田谷区民俗調査	昭和52年～63年	『世田谷の民俗』 『世田谷区民俗調査第2次報告～第12次報告』
	世田谷区民家調査	昭和53年～59年	『世田谷の民家 第1輯～第3輯』
	世田谷区近代建築調査	昭和57年～63年	『世田谷の近代建築 第1輯・第2輯』
	小泉次大夫事績調査	昭和58年～63年	『小泉次大夫用水史料』
	世田谷区石造遺物調査	昭和55年～58年	『世田谷区石造遺物報告書』I～IV
	世田谷区社寺調査	昭和53年～58年	『世田谷区社寺史料』(第1集～第3集)
	寺院文化財総合調査	昭和57年～平成4年	『文化財総合調査報告書』
世田谷区文化財調査報告集	平成4年～	『世田谷区文化財調査報告集』(1～24)※刊行中	
埋蔵文化財に関する調査報告等	埋蔵文化財調査報告書等		『野毛大塚古墳』 『世田谷区埋蔵文化財調査年報』等

(3) 世田谷区の文化財を取り巻く環境の変化

世田谷区では、これまでに文化財の登録・指定を行うとともに、区史編さん事業や世田谷区立郷土資料館での調査・研究や区民への公開に取り組んできました。また体験学習型の施設として岡本公園・次大夫堀公園民家園を開設するなど、調査に基づく適切な文化財保存、体験を通じた文化財活用などに積極的に取り組んできました。

しかし、社会経済状況の変化に伴い、多くの文化財が失われつつあります。文化財を取り巻く周辺環境も大きく変貌し、かつての世田谷の姿を思い起こさせる資料や環境が失われつつあります。さらに、少子高齢化の進展などにより、郷土の歴史や文化を次世代へ継承していくことが困難になるなど、文化財を取り巻く様々な課題が生まれています。

国は各自治体において「歴史文化基本構想」を定め、地域の歴史・文化遺産を的確に把握し、周辺環境を含めて総合的かつ計画的に文化財の保存・活用をしていくことが重要であるとしています。さらに、文化財等を地域資源の一つとして、まちづくりや地域活性化に役立てるという考え方が地方創生をはじめとする国の施策や各地域による自主的な動きからみられるようになってきています。

これらを踏まえると、今後の文化財施策は、保存・活用の両面で一貫した考えを持ち、長期的な視点をもって世田谷の文化財等の次世代への継承に取り組んでいくことが必要です。地域の財産である文化財が持つ価値を分かりやすく伝えていくためには、文化財等をより広く捉え、総合的・複合的に保存・活用を行うとともに、様々な関係各課・団体や住民と連携して地域ぐるみでこれらに取り組んでいくことが必要になります。

5 世田谷区の文化財施策の課題

(1) 文化財施策の課題整理

世田谷区は、昭和52年に文化財保護条例を定め、有形・無形の様々な文化財について調査を行うとともに、指定や登録を通じてその保存と活用に努めてきました。区の指定文化財は79件、登録文化財は7件（平成29年3月現在）にのぼり、これらの所有者や管理者と連携して保存に取り組むとともに、様々な啓発事業を行い、文化財保護の意識の醸成を図っています。

世田谷区は、かつては江戸の近郊農村でしたが、明治以降になると次第に東京近郊の住宅都市へと発展し、市街化が進んできました。区の西部を中心に農地が残され、昔ながらの社寺や街路など、かつての世田谷を思い起こさせる風景や文化財も多く見られました。しかしながら、住宅地としての開発等が進む中で、それらの風景や文化財も大きく変容し、世田谷の歴史や文化を次世代に伝えることが難しくなりつつあります。

江戸期から続く農村を思い起こさせる風景、明治から昭和初期にかけて発展した東京近郊の住宅都市の風景、この2つの要素は高度経済成長期以前までは、世田谷特有の風景として長く区民に親しまれてきました。社寺と緑が豊かに残り、かつて農村であったことを思い起こさせる風景と住宅都市の風景が共存していた時代の記憶は、今でも区民に愛されているとともに、世田谷区の発展の歴史において重要な意味を持っています。区民の記憶の中にある「かつての世田谷」とは、農村であったことを思い起こさせる風景と住宅都市が共存していた、明治から昭和初期にかけての風景であるといえます。

現在も「かつての世田谷」の風景を思い起こさせる文化財や風景は、まだ残っています。しかし近年、宅地化がますます進む中で「かつての世田谷」を思い起こさせる文化財や風景は失われつつあり、現在に残る文化財や風景も保存が困難になりつつあります。

図表 5-1 成城学園住宅地区（昭和12年頃）



図表 5-2 農村風景（次大夫堀での野菜洗い）



区内には指定や登録を受けていない文化財も多く点在しています。宅地化の進行にあわせて、居住人口も増加し、新しい区民と古くからの区民との間に郷土に対する意識の格差も広がり、共通意識が醸成されにくくなっており、文化財が守られにくくなっている現状があります。特に失われやすい未指定の文化財ではそれらが顕著です。さらに、このような意識の格差は地域の伝統的な行事や社寺の祭礼、古くからの風俗慣習などを継承していくための動機が弱まっていくことも考えられます。

このような現状においては文化財を単体として保存しても、その周辺環境及び背景までは伝えられません。文化財を単体としてではなく、その性格や周辺環境までを含めて複合的・総合的に捉えることで、群として文化財を捉え、保存するとともに、その背景まで伝えていくことが重要です。また、保存においては、滅失及び毀損を防ぐための文化財の防災・防犯の視点も必要となります。

また、文化財を伝えていくため、世田谷の歴史や文化を知るための郷土学習の機会や場づくりも必要です。教育・普及の分野において、郷土学習等を通じ、これまで守り伝えられてきた、文化財や歴史・文化の価値への認識を深めてもらう取り組みが大切になります。

これからの郷土学習には、体験することにより、区の歴史・文化を深く理解することが求められています。そのためには、伝統的な生活文化を体験することができる民家園の事業の充実と再整備により効果の高い郷土学習を提供していくことが大切です。

国指定重要文化財である代官屋敷をさらに活用し、事業の充実を図るほか、保存・活用計画の策定が必要です。

文化財の価値や魅力を、子どもたちに対しては学校教育等で、地域住民においてはまちなか観光等を通じて伝えることで、地域への理解や愛着の醸成を図っていくことにつながっていきます。また、祭りなどの地域行事への参加を促し、世代間や地域間のつながりを養うとともに

図表 5-3 昭和 30 年代のボロ市



図表 5-4 野外歴史教室



図表 5-5 等々力囃子



に、伝統行事等の無形文化財への価値を認識してもらうことで、伝統文化を継承する人材の育成につなげていくことが必要です。さらに、地域ぐるみによる文化財保護への取り組みが地域の活性化につながり、文化財保護への意識が一層高まっていくという好循環を生み出していくことが大切になります。

これまで世田谷区では文化財の保護とともに、自然環境の保全や風景の保全など、様々な分野で地域の自然・文化遺産を活かした街づくりに取り組んできました。今後こうした取り組みを踏まえ、文化財とその周辺環境を総合的・一体的に保全し、それぞれの関連を理解した上で、文化財を活用し、地域のまちづくりに活かしていくことが重要です。

また、文化財を活用していくためには、積極的な情報発信が欠かせません。世田谷区内のみならず、区外に向けた情報発信を検討する必要があります。

これまで文化財の保護の対象として捉えられてこなかった、近・現代の歴史遺産や土木遺産、戦争遺跡などについても、文化財の保護の取り組みを進めるという動きになっており、新たな視点から地域の文化財を総合的に把握し、情報発信を通じて広く区民に文化財として認識してもらうことが重要です。

これらの取り組みを支えるため、専門職員の配置や住民、関係所管、大学との連携を通じて文化財の保存・活用の体制を整備していくことが、あわせて重要です。

以上を踏まえ、次の項目のとおり、課題を整理します。

課 題

課題1 文化財とそれを取り巻く環境の保存

世田谷区では、昭和37年に刊行した『新修世田谷区史』の編さん事業を契機として、郷土史の資料の収集・研究に取り組み、昭和39年には区立郷土資料館を開設し、昭和52年には「世田谷区文化財保護条例」を制定するなど、様々な形で文化財の保存・活用を推進してきました。

しかし、近年の宅地の細分化や宅地化による農地の減少、団地や社宅の建替えによる高層化や大規模な低・未利用地のマンションなどへの土地利用の転換、道路網の整備や拡幅、区画整理や市街地再開発などの影響により、かつての世田谷の姿を思い起こさせる資料や環境が失われつつあります。

これまで文化財を保存することを通じて、地域の歴史や文化を次世代に伝えていく取り組みを行ってきました。しかし文化財を取り巻く状況が大きく変わってしまったために、文化財だけでなく、周辺環境を含めて総合的かつ計画的に保存・活用していくことが求められています。

郷土の歴史や文化を次世代へと伝えていくためには、文化財が伝える歴史や伝統、生活文化、さらにはそれらを取り巻く環境などを複合的に捉え、継承すべき歴史や文化を一体的に把握できる様々な要素を総合的に保全していく必要があります。

取り組みの方向性

- 継承すべき歴史や文化を一体的に把握できる総合的な保全
- 文化財を取り巻く環境を含めた複合的な保存
- 地域の歴史・文化を伝える身近にある様々な文化財（※）を含めた保存
- 埋蔵文化財を含めた文化財の滅失及び毀損を防ぐ適切な保存
- 保存が困難な状況に対する移築復原や記録調査などによる対応
- 文化財の防災・防犯に関する予防的な保全措置

※国、都、区の指定・登録を受けている文化財だけでなく多様な文化財を含む。

図表 5-6 喜多見氷川神社石鳥居



撮影 清水襄

図表 5-7 大山道道標



課題2 郷土資料館を核とした郷土学習ネットワークの充実

第2次世田谷区教育ビジョンでは郷土「せたがや」の豊かな歴史・文化を次代へ継承していく取り組みを推進することとしています。

世田谷区では、これまで郷土資料館における展示や岡本公園民家園・次大夫堀公園民家園での体験学習、文化財の保護、啓発事業などを通じて、地域の歴史・文化を学ぶ機会を設けてきました。生涯学習への意欲の高まりの中、地域史を学びたいというニーズがある一方で、かつての世田谷を思い起こさせる資料が少なくなり、郷土「せたがや」を身近に感じる場や資料が少なくなってきました。

地域の歴史や伝統的な文化を次世代に継承していくためには、子どもたちの郷土学習の機会や伝統的な行事などに参加する機会を充実させる必要があります。

そのためには、区内様々な場所での、より効率的な郷土学習機能を実現することで、区民の郷土「せたがや」への愛着を深めていく必要があります。

郷土資料館を核とした郷土学習のネットワークを構築し、コンテンツの充実を図っていきます。さらに、庁内連携のみならず、広く美術館・大学などとの連携を深めていくことも必要です。

また、学校教育のサポートのために、学校教育の現場で使える素材も提供していくことが重要です。

取り組みの方向性

- 郷土資料館を核とした郷土学習のネットワークの充実を図る
- 学校教育における郷土学習の充実
- 美術館・大学など各所管との連携を深める

図表 5-8 郷土資料館



図表 5-9 美術史講座（郷土資料館）



課題3 民家園の事業の充実と次大夫堀公園民家園の再整備

世田谷区では「生きている古民家」をテーマに、かつての世田谷の農村風景を再現した岡本公園民家園・次大夫堀公園民家園を開設し、郷土の暮らしについての学習を取り入れた体験型施設として活用を図ってきました。

しかし、ライフスタイルが大きく変化し、かつての生活文化に触れる機会が少なくなったため、展示だけでは伝統的な文化を伝えていくことは困難です。展示だけでなく、体験してもらうことで、より効果的にかつての歴史・文化を伝えることができることから、民家園の体験学習機能を充実させる必要があります。そのため、民家園の体験事業のより一層の充実を図っていきます。

また、次大夫堀公園民家園では民家園ボランティアなどの事業の充実に伴い、施設全体の見直しを行う必要が出てきました。公園の拡張に伴い、民家園の機能の検証を行うとともに、新たなゾーニングの検討など、配置計画を含めた園全体の再整備計画を進めていく必要があります。

民家園の事業の充実と次大夫堀公園民家園の再整備の検討にあたっては、農業公園との連携を強化していくとともに、ICTの活用などを図りながら、新たな事業展開を検討する必要があります。

取り組みの方向性

- 民家園における世田谷のかつての風景や伝統的な風俗慣習の保存
- 民家園の体験学習機能の充実
- 長期的視点に立った民家園の機能の再整備

図表 5-10 旧安藤家住宅（次大夫堀公園民家園）



図表 5-11 民家園での体験事業



課題4 代官屋敷の保存・活用の推進

代官屋敷（大場家住宅）は彦根藩世田谷領の代官であった大場家の役宅で、主屋と表門は区内唯一の国重要文化財建造物であり、敷地は東京都指定史跡になっています。代官屋敷の敷地内には郷土資料館が併設されており、世田谷の歴史と文化を学ぶ拠点施設として位置付けられています。

現在、代官屋敷は代官の生活をうかがい知ることのできる貴重な場として、敷地と主屋の土間部分を一般公開しています。今後、近世の世田谷の歴史や、代官の仕事、生活について、より深く理解していくためには、内部の公開や、代官屋敷での事業の充実を図ることが必要です。

代官屋敷を中心として、世田谷の中世から近世にかけての様々な文化財が残されており、周辺環境を含め一体的に活用する取り組みについて検討するほか、代官屋敷の保存活用計画の策定を積極的に進めていく必要があります。

取り組みの方向性

- 代官屋敷と郷土資料館による学びの拠点としての連携強化
- 代官屋敷の歴史・文化的価値の普及啓発
- 代官屋敷を中心とした周辺環境を活かす保存・活用

図表 5-12 世田谷代官屋敷（大場代官屋敷）



図表 5-13 せたがやホテル祭りとサギ草市



課題5 地域の文化財の継承と伝統文化の担い手の育成

第2次世田谷区教育ビジョンでは郷土「せたがや」の豊かな歴史・文化を次代へ継承していく取り組みを推進することとしていますが、地域社会のありかたも大きく変容し、地域の文化財を保存するための人材確保が難しくなっています。そのため、文化財の担い手の育成が急務です。

特に無形文化財は、継承者の不在が深刻であるため、後継者の育成が急がれます。さらに、無形文化財の映像による記録の作成も同様に必要となります。

また、路傍の石造物も、維持管理が負担となり、次世代への継承が難しくなっており、後世に伝えるための仕組みづくりが課題となっています。

区では、文化財や伝統文化の担い手の育成に向けた取り組みとして、小学校への出前事業など様々な事業を行っています。しかし、若い世代においては地域の文化財に触れる機会は決して多くない中で、地域の文化財に触れる機会を継続的に提供していくことが必要です。

また、区の文化財に関する活動に関わりたい、という需要に対して、ボランティアとして活躍できるフィールドを提供することのできる仕組みづくりが求められています。

取り組みの方向性

- 有形・無形文化財の担い手育成の促進
- 若い世代への継承機会の増加
- 無形文化財の映像化による記録の作成
- 地域の文化財に関する情報提供のしくみづくり

図表 5-14 喜多見氷川神社の節分祭行事と神前神楽



図表 5-15 奥沢神社の大蛇お練り行事



課題6 世田谷の歴史・文化の魅力を広く伝えるための情報発信

世田谷には多くの文化財があり、その歴史・文化の魅力を伝えていくための情報を発信していく必要があります。東京23区には、国内外から多くの人を訪れることから、その中で世田谷区の歴史・文化における魅力を伝えていくことが重要です。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会においては、区内にある馬事公苑が馬術の競技場として、また、アメリカ選手団のキャンプ地として世田谷区が選ばれています。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、世田谷を訪れる日本人、外国人の増加が見込まれます。これを契機として、区の歴史文化を積極的に発信することで、区を訪れる外国人に世田谷の文化を知ってもらおうとともに、区を訪れる日本人にも、改めて郷土「せたがや」の歴史・文化を伝えていくことが重要です。

また、増加傾向にある訪日外国人向けへの文化財の情報発信のためには、多言語化の充実などを図ることも必要です。さらに、情報発信のみではなく、民家園や郷土資料館等において、世田谷の特色を生かした文化のイベント等を実際に体験してもらう機会を設けることも検討していく必要があります。

取り組みの方向性

- 文化財に関するPRの強化
- 世田谷の歴史・文化の特色を捉えた多言語化の充実
- 世田谷の特色を生かした文化の体験

図表 5-16 旧清水家住宅書院活用事業



図表 5-17 民家園のボランティア活用事業



課題7 新しい区史編さんに向けた取り組み

世田谷区では昭和26年に『世田谷区史』、昭和37年に『新修世田谷区史』、昭和51年に『世田谷近・現代史』を刊行し、区史編さん事業に取り組んできました。これまでの区史編さんに伴う文化財調査では、民俗調査、古民家・近代建築調査、社寺調査、石造遺物調査などを実施してきましたが、年月が経ち、文化財を取り巻く状況が大きく変わっていることから、過去の調査で対象とした文化財を含めた現状把握のための調査が必要です。

区史は歴史や文化を次世代に伝える最も基礎的な資料であり、区の歴史・文化の正しい理解のため必要不可欠です。区史刊行後、様々な分野で調査研究が進み、区の歴史・文化について研究も深められていることから、最新の研究結果を情報発信していく必要があり、新たな区史編さんが求められています。

区史編さんのベースとなる各分野の調査活動は、昭和50年代から平成4年にかけて総合調査を実施しましたが、現状を改めて把握し直すために、追跡調査を実施する必要があります。埋蔵文化財についても調査が進んでおり、調査結果をまとめる必要があります。

未調査分野である天然記念物や風景、戦争遺跡、近代土木建築、映像、写真資料などの分野についても現状把握に努める必要があります。

各種調査の実績は、区史などの書籍だけではなく、ICTの活用など従来の手段にとらわれない、子どもから大人まで分かりやすく、親しみやすい情報発信を心がけていくことが重要です。

取り組みの方向性

- 継続的な追跡調査による現状把握
- 天然記念物、風景、近代遺産、戦争遺跡など未調査分野の現状把握
- アーカイブ化、ICTの活用を通じた情報の管理及び発信

図表 5-18 稲荷塚古墳の出土品



図表 5-19 区内旧家に残る古文書（旧多摩郡大蔵村井山家文書）



課題8 文化財の保存活用のための体制の整備

世田谷区では、専門的知識に基づいた文化財の適切な保存に取り組んできました。今後区の歴史・文化を後世に伝えていくためには、指定文化財だけでなく未指定の文化財も対象に、幅広い保存・活用を行っていく必要があります。そのためには、行政と区民が協働して、地域ぐるみで取り組む必要があります。

地域で文化財を守っていくための体制をつくるためには、行政にも専門職員が必要です。そのため行政の専門職員の育成に取り組み、行政と地域住民や地域文化財保存団体等が協働できる仕組みをつくり、文化財の保存・活用のための体制の整備を行うとともに、専門職員による文化財に関する教育・普及への取り組みが必要です。特に、次世代を担う子どもたちに対しては、地域の歴史・文化を伝えていくための学校教育と連携した取り組みが強く求められています。

また、より効果的に周辺環境まで含めた保存・活用を行うために、庁内関係所管との連携を強化していく必要があります。庁内関係所管との連携のみならず、大学・周辺自治体との連携した取り組みを実施していくことも重要です。

取り組みの方向性

- 文化財の保存・活用の担い手の育成
- 専門職員の確保・育成
- 庁内関係所管・大学・周辺自治体との連携
- 地域住民や地域文化財保存団体等との協働のための仕組みづくり

図表 5-20 区民参加の文化財保存活動



図表 5-21 郷土資料館の展示



6 世田谷区の文化財保存・活用の基本的な考え方

(1) 文化財保存・活用の基本理念

文化財は、長い時間をかけて人々の継続的な営みの中で創出され、自然や風土、社会や生活を反映しながら今日まで継承されてきたものであることから、地域にとってのかけがえのない財産であるとともに、区民の生活環境を構成する不可欠な要素でもあります。また、文化財は、地域の歴史・文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであるとともに、将来の文化の向上発展の基礎をなすものです。

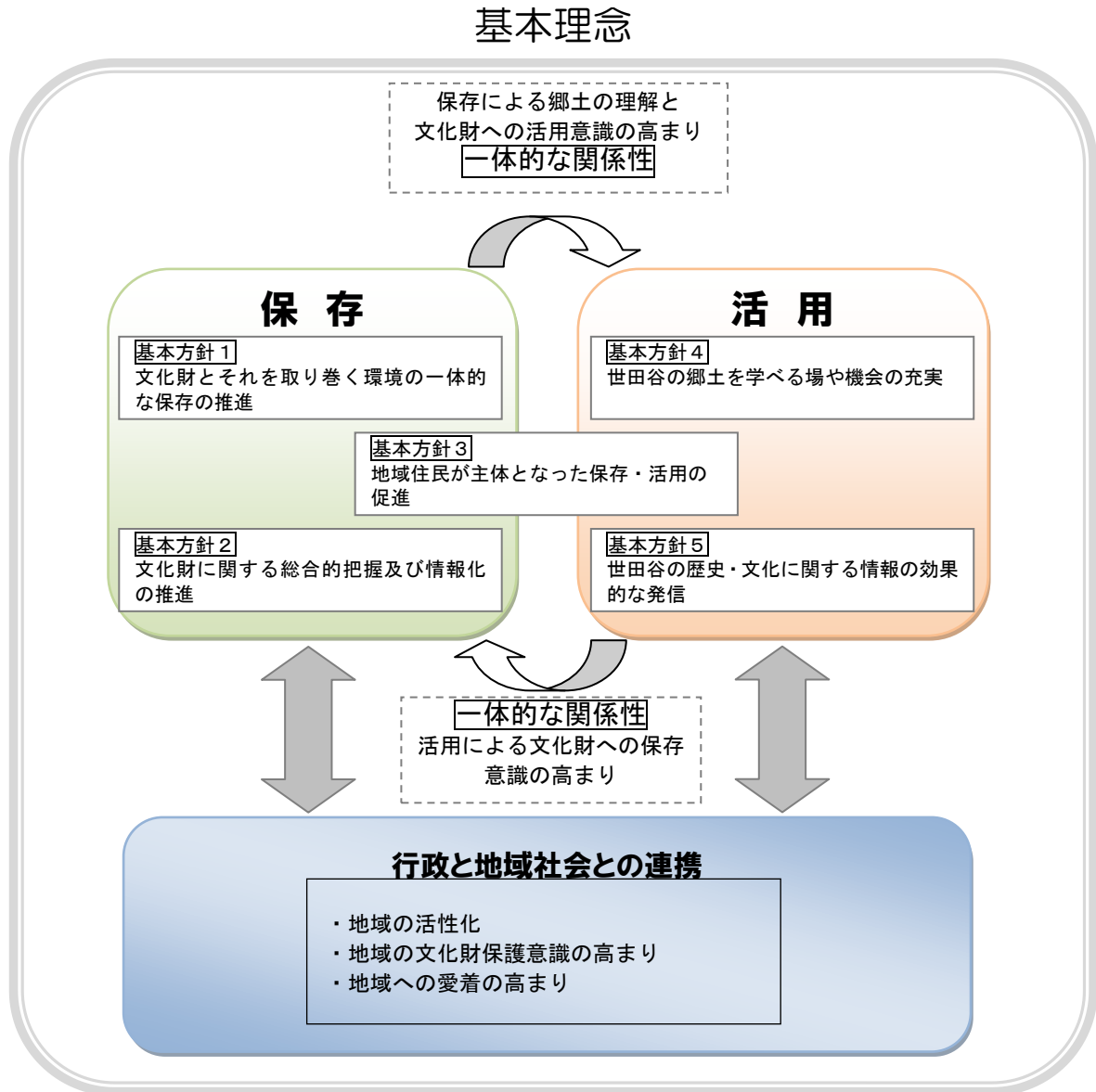
祖先の歴史的、文化的業績のかけがえのない遺産である文化財を保護し、次の世代に伝えていくことは現代に住む人々にとって、大切な責務であると考えられます。

世田谷区においては、郷土の歴史・文化を伝える文化財が多く存在していますが、都市部における経済活動優先の開発の中でかつての風景や文化は次第に失われつつあり、文化財の保護はますます難しくなっています。地域における固有の歴史・文化、風景をはじめとする資源が、その価値を十分に把握されないまま姿を消していくことは、現在及び将来にわたって地域に住む人々にとって大きな損失です。

世田谷区においては、地域の歴史や文化を伝える文化財やそれを取りまく風景・自然環境を次の世代へと継承していくため、現状や課題を踏まえ、今後の文化財保存・活用に関する基本理念を以下の通り定めます。基本理念は、今後の文化財施策のあり方を考えるうえでの基礎となるとともに、長期的な視点で一貫して施策展開していくための大きな考え方とします。

- 文化財やそれを取りまく環境が失われることのないよう、幅広い視点で把握し、適切な保存を行うことを目指します。
- 郷土「せたがや」を次世代へ継承していくため、地域の歴史や文化を学び、暮らしの中で活用しながら、地域の手で守り伝えていくことを目指します。
- 保存は郷土の理解と、文化財への活用意識の高まりにつながり、活用は文化財への保存意識の高まりを生みだします。保存と活用が表裏一体となるよう、相互に関係性をもった施策展開を目指します。
- 保存及び活用の取り組みを支えるため、行政と地域社会との連携による体制づくりを目指します。

■基本理念の関係性イメージ



(2) 文化財保存・活用の基本方針

世田谷区文化財保存活用基本方針の基本理念は、今後の文化財施策のあり方を考える上での基礎とするとともに、長期的な視点で一貫して施策展開していくための大きな考え方として据えました。

また、基本理念の中では、文化財の保存は文化財やそれを取りまく風景・自然環境が開発の中で失われることのないよう幅広い視点で把握し、適切な保存を目指しています。さらに、郷土「せたがや」を次世代へ継承していくため、地域の歴史や文化を学び、暮らしの中で活用しながら、地域の手で守り伝えていくことを目指すことを示しています。

同じく基本理念の中においては、保存と活用は一体的なものであるとの考えに基づき、保存と活用が表裏一体となるよう、相互に関係性をもった施策展開を目指してしていくことも示しています。

ここでは、世田谷の文化財施策の課題として挙げた、「文化財とそれを取り巻く環境の保存」、「郷土資料館を核とした郷土学習ネットワークの充実」、「民家園の事業の充実と次大夫堀公園民家園の再整備」、「代官屋敷の保存・活用の推進」、「地域の文化財の継承と伝統文化の担い手の育成」、「世田谷の歴史・文化の魅力を広く伝えるための情報発信」、「新しい区史編さんに向けた取り組み」「文化財の保存・活用のための体制の整備」の8つの課題解決を図るとともに、基本理念の考え方を踏まえつつ、次の通り5つの基本方針を定めます。

基本方針

基本方針1 文化財とそれを取り巻く環境の一体的な保存の推進

地域に存在する文化財等、特に指定などがなされていない文化財等は価値を十分に把握されずに失われてしまうことが多いことから、共通の歴史背景を伝える一つのまとまりとしての保存や、文化財をとりまく風景・自然環境の視点を取り込んだ保存及び規制により、それらを一体的に捉え、失われやすい未指定の文化財等を含めた複合的保存を図っていくことで文化財等の喪失を未然に防いでいく必要があります。

個々の文化財やそれをとりまく風景・自然環境を適切に把握し、複合的保存を図ることで、それらを面として捉えることが可能となり、保存管理において継続性のある保存施策の展開につなげていきます。

また、文化財を適切に保存管理するための収蔵施設の確保にも取り組んでいきます。

【取組方針】

- 歴史的背景を伝える一つのまとまりを適切に保存します
- 文化財をとりまく風景・自然環境の保存を推進します
- 身近にある様々な文化財を含めた長期的な視点に基づく保存を推進します

【想定される主な取組事例】

- 世田谷の歴史・文化を物語る文化財群を一体としてとらえる取り組み
- 地域風景資産の選定
- 世田谷・みどりのフィールドミュージアム
- 周辺環境まで記載した文化財カルテの作成
- 文化財防火デーでの取り組みの強化
- 防災・防犯向けの資料保存のためのネットワークづくり
- 一元的な収蔵施設の確保

図表 6-1 旧小坂家別邸と崖線庭園（地域風景資産）



図表 6-2 須賀神社とムクノキ（地域風景資産）



基本方針2 文化財に関する総合的把握及び情報化の推進

文化財等の喪失を防ぎ、適切に保存していくためには、現在区内において存在する文化財等を総合的に把握していく必要があります。

これまでの文化財調査の追跡調査を行い、現状把握を行うとともに、未調査分野についての調査も行い、広く文化財の現状把握に努めていきます。また、未指定分野を含め、文化財の指定・未指定にとらわれない、文化財としての価値を踏まえた総合的調査を推進します。これらの調査結果は、区内に存在する文化財等を地域の財産として区民に知ってもらうとともに、それらの価値を深く理解してもらうための様々な活用につなげていくための情報資源として活かしていきます。

さらに、新たな区史の編さんを視野に入れた調査を検討し、住民への情報提供への機会へとつなげていきます。

調査成果については、データ管理・利用における利便性の向上を図るため、ICT技術を活用し、デジタル化、データ一元化を推進します。その一環として、無形文化財においては、デジタルによる映像記録化を順次進めていきます。

また、一元化されたデータは、地域住民、関係各課等と共有し郷土学習や都市整備、大規模災害時の状況把握になどにおいて活用していきます。

【取組方針】

- 文化財への理解につながる追跡調査及び未調査分野の調査を推進します
- 身近な文化財の価値の掘り起こしにつながる様々な分野の文化財の総合的把握を推進します
- 新たな区史の編さんに向けた調査を検討します
- 調査成果のデジタル化、データの一元化を推進します（無形文化財の映像記録など）
- 一元化されたデータ情報を地域住民、関係各課等と共有し有効に活用します

【想定される主な取組事例】

- 「(仮称) 世田谷デジタルミュージアム」の開設
- 文化財に関する各種調査の実施
- 区史編さん事業に向けた調査の実施
- 未指定の文化財まで含めた総合的な文化財リストの作成
- デジタルアーカイブの活用
- 区の歴史・文化に関する図書等の刊行

図表 6-3 木造阿弥陀如来（九品）坐像



図表 6-4 区の歴史・文化に関する図書



基本方針3 地域住民が主体となった保存・活用の促進

地域の中で文化財等を保存・活用してゆくためには、地域住民の存在が不可欠です。

保存の面においては、地域住民との情報交換及び協力関係を通じて、地域の身近な文化財の保存・継承を推進します。また、小・中学生をはじめとする若い世代において、地域の文化行事などの参加を促すなどし、文化財に接する機会を切れ目なく提供することで、継承機会の増加を図ります。

活用の面においても、地域の文化財に関する情報を積極的に区民に提供し、地域の中で行われる歴史・文化に関するイベントの実施等につなげていきます。

さらに、地域住民や地域文化財保存団体等による保存・活用に関する活動に対しては、専門職員によるアドバイスをはじめとする行政によるサポートを通じ、地域の手による保存・活用への取り組みを継続的に支えていきます。

【取組方針】

- 地域の身近な文化財の保存・継承を推進します
- 若い世代への継承機会の増加を図ります
- 地域の文化財に関する情報を、積極的に区民に提供します
- 地域住民・地域文化財保存団体等による保存・活用に関する活動をサポートします

【想定される主な取組事例】

- 住民による伝統行事の活動支援
- 住民主体のまちの魅力再発見活動の実施
- みかん狩り等の等々力溪谷事業の実施
- 「大場代官屋敷」や「常盤塚」での保存継承活動のサポート
- 「世田谷のポロ市」などでの住民と行政の連携強化
- 野毛古墳まつり

図表 6-5 世田谷のポロ市



図表 6-6 文化財保護強調週間 等々力溪谷見学会



基本方針4 世田谷の郷土を学べる場や機会の充実

郷土学習においては、各所管との連携を強化していくとともに、学校教育を通じて郷土を学べる機会の充実を図ります。

さらに、世田谷のかつての風景、風俗慣習の継承を図るため、様々な体験学習を通じて、郷土文化に触れる機会の充実を図ります。その他、区内において、郷土文化について理解を深める多くの機会を設け、多面的な視点による郷土学習を展開します。

実際に文化財に触れる機会を増やし、世田谷の文化財の歴史・文化的価値の普及啓発を推進します。あわせて、文化財を中心とする環境を活かした学びの場づくりを推進します。

これらを通じ、かつての世田谷の生活文化への理解を促し、世田谷の文化の次世代への継承にもつなげていきます。また、一方で、生涯を通じての生涯学習にもつなげ、地域の歴史・文化を知りたいという声に応えていきます。

さらに、世田谷区の郷土学習等に関する情報をこれまで以上に得やすくするため、郷土学習等に関する総合的な情報提供におけるネットワークの核となるデジタルミュージアムを構築します。

【取組方針】

- 各所管との連携を強化します
- 学校教育を通じた郷土学習の充実を図ります
- 世田谷のかつての風景、風俗慣習の継承を図ります
- 体験学習による郷土文化に触れる機会の充実を図ります
- 多面的な視点による総合的な郷土学習を展開します
- 文化財の歴史・文化的価値の普及啓発を推進します
- 文化財を中心とする環境を活かした学びの場づくりを推進します

【想定される主な取組事例】

- 郷土資料館を核とした郷土学習のネットワーク形成
- 民家園における風俗慣習等の体験学習の強化
- 民家園での体験事業の充実
- 民家園の整備
- 代官屋敷における体験事業
- 「(仮称) 世田谷デジタルミュージアム」による情報提供
- 郷土「せたがや」学習スタンプラリーの実施
- 郷土歴史文化特別授業をはじめとした出前事業

図表 6-7 郷土歴史文化特別授業



基本方針5 世田谷の歴史・文化に関する情報の効果的な発信

情報発信においては、新たな情報ツールを活用して、文化財に関する情報を効果的に発信し、区内に向けて郷土「せたがや」の魅力を伝えていきます。

また、多言語化をすすめ、外国人向けの情報発信を強化するとともに、外国人向けの文化体験の機会の充実を図るなどし、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を一つのきっかけとした世田谷区の歴史・文化の発信を進めていきます。

各年齢層、各目的に絞った情報発信を行うとともに、まちなか観光などと連携し、効果的に区の魅力を発信します。

さらに、ホームページなどの媒体においては、世田谷の歴史・文化に関する情報を集約しデジタルミュージアムとしてプラットフォーム化をすすめていくことで、情報のアクセシビリティを高めていきます。デジタルミュージアムでは指定文化財だけでなく、未指定の文化財についても積極的にデジタル化し、情報発信していきます。

また、案内・表示等については、ユニバーサルデザインの視点から、誰もが快適に利用できるよう工夫します。

【取組方針】

- 情報ツールを活用して文化財に関する情報を効果的に発信します
- 多言語化をすすめ外国人向けの情報発信を強化します
- 外国人向けの文化体験の機会の充実を図ります
- まちなか観光などと連携し、効果的に区の魅力を発信します
- 世田谷の歴史・文化に関する情報のアクセシビリティを高めます
- ユニバーサルデザインの視点から案内・表示の整備を推進します

【想定される主な取組事例】

- 「(仮称)世田谷デジタルミュージアム」における文化財のコンテンツの充実
- 外国人向けのホームページ、パンフレットの作成
- 外国人観光客に対するせたがや体験のコンテンツの充実
- 「ふるさと世田谷を語る」の頒布
- 「せたがや iMAP」でのコンテンツ充実
- 文化財標識等の整備
- 郷土資料館での展示の充実
- 「せたがや文化マップ」の発行

図表 6-8 野毛古墳まつり



図表 6-9 せたがや文化マップ



7 重点取り組み

世田谷区文化財保存活用基本方針の基本理念や5つの基本方針を踏まえ、重点的に取り組む事業を以下のとおり、設定しました。

(1) (仮称) 世田谷デジタルミュージアムの構築

現在、郷土資料館では世田谷の歴史や文化の調査研究活動、数多くの収蔵文化財の展示などを行うとともに、民家園では伝統的な生活文化を体験できる事業などを実施しています。また区長部局所管では「世田谷・みどりのフィールドミュージアム（屋外で文化財や自然等に触れられる体験型事業）」など文化財に関連した事業も行っています。

区民が世田谷の魅力を再認識し、郷土「せたがや」に愛着を持ち、文化財保護の意識を醸成するためには、限られた財源を有効に活用しながら、こうした文化財行政に関連した情報を一元的にわかりやすく情報発信し、文化財に関連した資源を有効に活用する必要があります。

こうした背景と観点から、ICT技術を活用した情報発信のしくみ「(仮称) 世田谷デジタルミュージアム」を構築し、広く区民への情報発信に努めるとともに、子どもたちの学習支援の仕組みとしても活用を図っていきます。

実施にあたっては東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や国際化の状況なども踏まえ、多言語化やバリアフリーにも配慮した仕組みとし、こうした情報が現場の文化財と簡便に結びつく仕組みとしてICTタグの活用なども視野に入れたシステムを構築していきます。

○郷土学習ネットワークの構築を通じた情報一元化を図ります

- ・文化財係、郷土資料館、民家園等の郷土学習に関する様々な情報を集約することで、郷土学習ネットワークを構築します
- ・また、地域風景資産等様々な所管と連携することで、一元的な情報発信を行います。

○学校教育のサポートに役立てます

- ・郷土「せたがや」の情報にアクセスしやすくなることで、児童・生徒が世田谷の文化に身近に接することができるようにします。
- ・教師が学校教育で使える郷土学習の素材を提供します。
- ・副読本など、学校教育の現場で使える素材も提供していきます。

○区の魅力発信の充実を図ります

- ・展示スペースの制限を受けないので、普段は見ることのできない資料に関する公開していきます。
- ・まち歩きをサポートとして、スマートフォンやタブレットから世田谷の文化財に関する

る情報を参照することができるようにします。

○多言語化に対応します

- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、多言語化に対応したコンテンツを設け、I Cタグやビーコン等を活用してスマートフォンやタブレット等から文化財に関する情報にアクセスできるようにします。
- ・郷土資料館や民家園の展示解説についても同様のシステムにより多言語化に対応します。
- ・世田谷のまち歩きの際に、外国人へのサポートコンテンツとなるものにします。

○身近にある様々な文化財について積極的に情報発信します

- ・指定・登録文化財だけでなく、未指定の文化財についてもデジタル化し、情報公開していきます。

(2) 民家園の機能の再検討と事業の充実

現在、民家園では伝統的な生活文化を体験できる事業に取り組んでおり、民家園が実施する年中行事や民間暦のほかにも、様々な民家園ボランティアによるかつての生活文化や伝統技術の再現に取り組んでいます。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、区内を訪れる外国人を対象に、広く世田谷の魅力や発信していくことが求められています。

さらに、平成 29 年度以降に、次大夫堀公園民家園用地の拡張が予定されています。

こうした点を踏まえ、民家園での体験事業の一層の充実を図るとともに、次大夫堀公園民家園の施設の再整備を検討していきます。

○次大夫堀公園周辺の歴史・文化に関する事業の充実を図ります

- ・民家園ボランティアの活動の充実と新たな民家園ブランドを創出します。
- ・畑を活用した農業体験事業を展開します。
- ・外国人向けの体験事業を検討します。
- ・郷土資料館と連携した体験事業などの充実を図ります。
- ・民家園での生活（衣食住）体験の充実を図ります。

○次大夫堀公園民家園の施設の再整備を検討します

- ・民家園ボランティアなどの事業の充実に伴うフィールド全体の見直しを行います。

（3）地域の文化財保護の担い手の育成

郷土「せたがや」の歴史・文化を次世代に継承していくためには、地域社会全体で、文化財の保存・活用に取り組むことが重要です。

このために、地域で文化財の保存や活用に取り組み、伝統的な文化を次世代に継承していく担い手を育成し、活動の場をつくることが求められます。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、世田谷区の歴史・文化を発信していく人材としても活躍が期待されます。

現在、民家園で活動している民家園ボランティアを含め、人材の育成・活用を充実していくための施策を推進します。

○文化財に関するボランティアを育成・配置します

- ・区内の古墳や社寺・名勝など、歴史や文化についての解説・案内ボランティアを育成していきます。
- ・文化財パトロールのボランティアを育成していきます。
- ・埋蔵文化財関係のボランティア（出土遺物の整理作業、遺跡の解説・案内等）を育成していきます。
- ・区内の歴史的建造物の維持管理のボランティアを育成していきます。
- ・伝統技術を習得しながら、催しに携わる民家園ボランティアを育成していきます。
- ・せたがや文化創造塾と連携したボランティア養成講座を実施していきます。

○地域の文化財保護の担い手を育成します

- ・育成のための講習会を開催します。
- ・無形民俗文化財の広報を強化します。
- ・地域住民や地域文化財保存団体との連携を図ります。
- ・無形民俗文化財に関する講演・講習の支援を行います。

(4) 新たな区史編さんに向けた調査・研究の推進

世田谷区では昭和26年に『世田谷區史』、昭和37年に『新修世田谷区史』、昭和51年に『世田谷近・現代史』を刊行する区史編さん事業に取り組んできました。

区史刊行後、様々な分野で調査研究が進み、区の歴史・文化について研究も深められていることから、最新の研究結果を情報発信していく必要があり、新たな区史編さんが求められています。

新たな区史編さんに向け、文化財の現状把握を行うとともに、戦争遺跡や近代土木遺産など、未調査分野についての調査を行うことで、区史編さんに向けた歴史・文化の調査・研究を推進します。

○区の歴史・文化の調査・研究を推進します

- ・埋蔵文化財を含めこれまでの調査結果をまとめるとともに、新たな文化財調査を検討していきます。

○未調査分野の調査を推進します

- ・未調査分野である天然記念物や風景、戦争遺跡、近代土木建築、映像、写真資料などの分野について調査を検討します。

○追跡調査の実施を検討します

- ・これまで民俗調査、古民家・近代建築調査、社寺調査、石造遺物調査などを実施してきましたが、年月が経ち、文化財を取り巻く状況が大きく変わっていることが予想されます。過去の調査で対象とした文化財を含めた現状把握のための調査を検討していきます。

○調査結果のデジタル化、データ一元化を推進します

- ・調査成果については、データ管理・利用における利便性の向上を図るため、ICT技術を活用し、デジタル化、データ一元化を図ります。また、一元化されたデータは、地域住民、関係各課等と情報を共有し、郷土学習や都市整備、大規模災害時の状況把握などににおいて有効に活用していきます。

(5) せたがや歴史文化物語の取り組みの推進

文化財の魅力を高め、分かりやすく価値を伝えていくため、建造物や美術工芸品などの有形文化財、伝統芸能などの無形文化財を指定・未指定にかかわらず、様々な文化財等の歴史的なストーリーや周辺環境との関係性を踏まえたうえで、必要に応じて、関連ある文化財群を一体としてとらえることで、適切な保存及び活用を推進していきます。文化財群を一体として捉えるためのモデルを設定することで、テーマごとに郷土を学びやすくするとともに、まちなか観光にも活かし、区内外に世田谷の魅力を分かりやすく発信していきます。

また、モデルの設定やそのための文化財等の掘り起こし、さらには郷土学習やまちなか観光などへの活用においては、区民と協働して取り組みを進めていきます。

この取り組みの事例としては、以下のイメージが考えられます。

世田谷の歴史・文化を物語る文化財群のモデルイメージ

①次大夫堀公園周辺の農村風景と民俗文化財

喜多見地域には、多くの史跡とともに、世田谷のかつての農村の風景が残っています。また、多くの民俗行事が今でも地域の人々によって支えられ、伝えられているとともに古い道筋や風景、かつての農村を再現した民家園により生活文化が伝えられています。

【構成する文化財等】

- 次大夫堀公園民家園
- 喜多見氷川神社
- 慶元寺
- 多くの無形民俗文化財（大黒舞・双盤念仏・湯花神事等）
- かつての農村の風景
- いかだ道 等

②せたがやの中世・近世の歴史をたどる

中世、世田谷領を支配した吉良氏は世田谷城を本拠としました。世田谷城跡周辺には吉良氏ゆかりの社寺や文化財が多く存在します。また、近世には、彦根藩代官の大場家が代官屋敷を構えており、現在は敷地内に区立郷土資料館もあります。代官屋敷には近世の世田谷を知る上で重要な資料が多く伝えられるとともに、社寺や史跡が多く残され、中世の楽市に由来するボロ市も今に伝えられています。

【構成する文化財等】

- 世田谷城跡
- 勝光院（吉良氏墓所）
- 豪徳寺
- 勝国寺
- 大場家住宅主屋と代官屋敷
- 世田谷のボロ市
- 常盤塚 等

③多摩川流域の古墳群

水利に恵まれた多摩川沿いには、古墳時代の南武蔵の大首長の墓と考えられる野毛大塚古墳などの多くの遺跡が確認されています。大田区、世田谷区、狛江市（国分寺市）にかけての一連の古墳群は、世田谷区の周辺地域一体の古代の歴史を伝えています。

【構成する文化財等】

- 野毛大塚古墳
- 狐塚古墳
- 野毛古墳群
- 上野毛稲荷塚古墳
- 等々力溪谷横穴墓群
- 御岳山古墳
- 第六天塚古墳
- 稲荷塚古墳
- 砧中学校古墳群 等

④住宅街として発展してきた世田谷の近代遺産

東京の近郊農村であった世田谷地域に明治以降、最初に郊外住宅を建設したのは、役人や軍人、大企業の社員、学者といった人々でした。その後、関東大震災後に下町の人々が近郊へ移住する中で、世田谷も急激に人口が増え、鉄道の沿線は住宅地に変貌していきました。世田谷区内の近代建築はこれら世田谷における住宅街としての発展の歴史を伝えています。

【構成する文化財等】

- 旧清水家住宅書院
- 旧小坂家住宅
- 志村家住宅
- 旧山田家住宅
- 猪俣庭園 等
- 成城学園分譲地
- 新町分譲地のまちなみ、
- 奥沢海軍村

⑤ 国分寺崖線の自然と文化財

多摩川が100万年以上の歳月をかけて武蔵野台地を削り取ってきた段丘とその周辺に残る樹林や湧水などの「みどりの生命線」といわれる自然環境によって古くから人々の生活があり、近世ごろからは風光明媚な観光地としても発展しました。周辺に立地する五島美術館や静嘉堂文庫・静嘉堂文庫美術館などのかつての政財界人の別邸をしのぶ施設が多く、所蔵される多くの貴重な文化財によって、国分寺崖線周辺は自然と文化の複合的魅力を醸し出しています。

【構成する文化財等】

- ・五島美術館
- ・静嘉堂文庫・静嘉堂文庫美術館
- ・国分寺崖線沿いに存在する遺跡
- ・岡本公園民家園
- ・旧小坂家住宅
- ・神明の森みつ池
- ・等々力溪谷
- ・野毛大塚古墳 等

⑥ 烏山寺町と武蔵野のおもかげ

明治40年（1907）、千歳村粕谷に移り住んだ明治、大正期の文豪・徳富蘆花は、著書『みみずのたはこと』のなかで「東京が寄ってくる」と表現しました。烏山は東西に貫通する甲州街道の宿場のあいだに位置する「間宿（あいのしゅく）」で、街道沿いには茶屋や宿屋も点在する場所でした。「世田谷の小京都」とも呼ばれる烏山寺町は、昭和初期頃には鉄道など交通も便利な東京の郊外地であったことから、26の寺院が移転することとなりました。

【構成する文化財等】

- ・烏山寺町
- ・妙壽寺客殿
- ・高源院の弁天池
- ・蘆花恒春園
- ・ケヤキのあるまちなみ
- ・旧甲州街道 等

8 文化財保存・活用の体制整備

(1) 推進体制

①専門的保存体制の整備

文化財保存・活用の体制整備においては、専門職員の知識や経験を活かし、体制の基礎づくりを進めます。そのためには専門的知識を持つ人材の確保が長期的に必要となるため、学芸員をはじめとした文化財の専門職員の育成にもあわせて取り組みます。

②庁内連携の強化

今後の文化財の保存・活用においては、文化財保護の視点に加え、まちづくりや風景などの分野との連携も必要です。関係所管との連携を強化し、水平的視野で幅広く保存・活用の取り組みを支える体制づくりにつなげていきます。文化財を含めた歴史・文化の調査・研究結果を関係各課と情報共有し、教育、まちづくり、防災などの分野において有効に活用していきます。

③教育環境の整備

文化財を保存・活用していくためには、区の歴史・文化を学べる場を整備することが重要です。区内において郷土学習の機能を充実させていくため、区内での教育環境を整備し、区民が郷土「せたがや」の歴史・文化を学ぶことのできる場づくりを進めます。また郷土学習のベースとなる文化財の適切な保存管理体制の整備にも取り組んでいきます。

④研究機関との連携

大学などの研究機関等との協議連携を行い、情報交換等を通じて、最新知識を継続的に更新していくとともに、効率的に専門的知識の蓄積を図っていきます。

資料編

資料1 検討の経緯

平成28年	1月15日	第1回検討部会 世田谷区の文化財に関する現状と課題について
	3月9日	平成28年第1回世田谷区文化財保護審議会 (仮称)世田谷区文化財保存活用基本方針策定にあたっての考え方についての諮問
	5月6日	第2回検討部会 進捗状況の報告及び骨子案の検討
	13日	平成28年第2回世田谷区文化財保護審議会 (仮称)世田谷区文化財保存活用基本方針策定にあたっての考え方についての審議
	30日	第1回検討委員会 進捗状況の報告及び関連事業の調査について
	7月22日	平成28年第3回世田谷区文化財保護審議会 (仮称)世田谷区文化財保存活用基本方針(素案)についての検討
	25日	第3回検討部会 (仮称)世田谷区文化財保存活用基本方針(素案)に向けた検討
	9月9日	第2回検討委員会 (仮称)世田谷区文化財保存活用基本方針中間報告について
	10月14日	平成28年第4回世田谷区文化財保護審議会 (仮称)世田谷区文化財保存活用基本方針(素案)についての審議
	19日	第4回検討部会 (仮称)世田谷区文化財保存活用基本方針(素案)についての審議
	11月9日	第3回検討委員会 (仮称)世田谷区文化財保存活用基本方針(素案)について
	11月17日 ～ 12月8日	パブリックコメントの実施
	12月21日	第5回検討部会 (仮称)世田谷区文化財保存活用基本方針パブリックコメントの結果について
平成29年	1月17日	平成29年第1回世田谷区文化財保護審議会 (仮称)世田谷区文化財保存活用基本方針(案)についての審議 (仮称)世田谷区文化財保存活用基本方針(案)答申(案)の審議
	2月17日	第4回検討委員会 (仮称)世田谷区文化財保存活用基本方針(案)について

資料2 世田谷区文化財保護審議会委員名簿

(50音順)

	氏名	現職
副会長	あいざわ まさひこ 相澤 正彦	成城大学教授（日本美術史）
	いしの りっこ 石野 律子	神奈川大学日本常民文化研究所 客員研究員(民具学)
	いなぎ よしかず 稲木 吉一	女子美術大学教授（日本美術史学）
	うちだ けいち 内田 啓一	早稲田大学教授（日本美術史学）
	きおとめ まさひろ 早乙女 雅博	東京大学大学院教授（考古学）
	しげえだ ゆたか 重枝 豊	日本大学理工学部教授（建築学）
※	といけ のぼる 外池 昇	成城大学文芸学部教授（日本文化史）
	はっとり つとむ 服部 勉	東京農業大学教授（造園学）
	ふじわら ひでゆき 藤原 秀之	早稲田大学戸山図書館担当課長（歴史学）
	ほりうち まさあき 堀内 正昭	昭和女子大学大学院教授（建築史）
	やまもと ただもと 山本 質素	日本大学文理学部教授（民俗学）
会長	やまもと てるひさ 山本 暉久	昭和女子大学大学院教授（考古学）

任 期

平成28年1月27日から平成30年1月26日まで

※外池委員は平成28年2月9日から平成30年2月8日まで

資料3 文化財保護審議会答申

1. 世田谷区の文化財施策の課題

(1) 世田谷区の文化財施策に関する現状

世田谷区は、昭和52年に文化財保護条例を定め、有形・無形の様々な文化財について調査を行うとともに、指定や登録を通じてその保存と活用に努めてきた。区の指定文化財は79件、登録文化財は7件（平成28年3月現在）にのぼり、これらの所有者や管理者と連携して保存に取り組むとともに、様々な啓発事業を行い、文化財保護の意識の醸成を図っている。

世田谷区は、かつては江戸の近郊農村であったが、明治以降になると次第に東京近郊の住宅都市へと発展し、市街化が進んできた。区の西部を中心に農地が残され、昔ながらの社寺や街路など、かつての世田谷を思い起こさせる風景や文化財も多く見られた。しかしながら、住宅地としての開発等が進む中で、それらの風景や文化財も大きく変容し、世田谷の歴史や文化を次世代に伝えることが難しくなりつつある。

江戸期から続く農村を思い起こさせる風景、明治から昭和初期にかけて発展した東京近郊の住宅都市の風景、この2つの要素は高度経済成長期以前までは、世田谷特有の風景として長く区民に親しまれてきた。社寺と緑が豊かに残り、かつて農村であったことを思い起こさせる風景と住宅都市の風景が共存していた時代の記憶は、今でも区民に愛されているとともに、世田谷区の発展の歴史において重要な意味を持っている。区民の記憶の中にある「かつての世田谷」とは、農村であったことを思い起こさせる風景と住宅都市が共存していた、明治から昭和初期にかけての風景であるといえる。

現在も「かつての世田谷」の風景を思い起こさせる文化財や景観は、まだ残っている。しかし近年、宅地化がますます進む中で「かつての世田谷」を思い起こさせる文化財や景観は失われつつあり、現在に残る文化財や景観も保存が困難になりつつある。

区内には指定や登録を受けていない文化財も多く点在している。宅地化の進行にあわせて、居住人口も増加し、新しい区民と古くからの区民との間に郷土に対する意識の格差も広がるなど、文化財が守られにくくなっている現状があり、特に失われやすい未指定の文化財ではそれらが顕著である。さらに、このような意識の格差は地域の伝統的な行事や社寺の祭礼、古くからの習俗・慣習などを継承していくための動機が弱まっていくことも考えられる。

以上の現状を踏まえ、世田谷区の文化財に関する課題を考えることが必要となる。

(2) 世田谷区の文化財施策における課題

上記のような現状においては文化財を単体として保存しても、その周辺環境及び背景まででは伝えきれない。文化財を単体としてではなく、その性格や周辺環境までを含めて複合的・総合的に捉えることで、群として文化財を捉え、保存するとともに、その背景まで伝えていくことが重要である。また、保存においては、滅失及び毀損を防ぐための文化財の

防災・防犯の視点も必要となる。

また、文化財を伝えていくため、世田谷の歴史や文化を知るための郷土学習の機会や場づくりも必要である。教育・普及の分野において、郷土学習等を通じ、これまで守り伝えられてきた、文化財や歴史・文化の価値への認識を深めてもらう取り組みが大切になる。

これからの郷土学習には、体験することにより、区の歴史・文化を深く理解することが求められている。そのためには、伝統的な生活文化を体験することができる民家園の事業の充実と再整備により効果の高い郷土学習を提供していくことが大切である。

国指定重要文化財である代官屋敷をさらに活用し、事業の充実を図るほか、保存活用計画の策定が必要である。

文化財の価値や魅力を、子どもたちに対しては学校教育等、地域住民においてはまちなか観光等を通じて伝えることで、地域への理解や愛着の醸成を図っていくことにつながる。また、祭りなどの地域行事への参加を促し、世代間や地域間のつながりを養うとともに、伝統行事等の無形文化財への価値を認識してもらうことで、伝統文化を継承する人材の育成につなげていくことが必要である。さらに、地域ぐるみによる文化財保護への取り組みが地域の活性化につながり、文化財保護への意識が一層高まっていくという好循環を生み出していくことが大切になる。

これまで世田谷区では文化財の保護とともに、自然環境の保全や風景の保全など、様々な分野で地域の自然・文化遺産を活かした街づくりに取り組んできた。今後もこうした取り組みを踏まえたうえで、文化財とその周辺環境を総合的・一体的に保全し、それぞれの関連を理解した上で、文化財を活用し、地域のまちづくりに活かしていくことが重要である。

また、文化財を活用していくためには、積極的な情報発信が欠かせない。世田谷区内のみならず、区外に向けた情報発信を検討する必要がある。

これまで文化財の保護の対象として捉えられてこなかった、近・現代の歴史遺産や土木遺産、戦争遺跡などについても、文化財の保護の取り組みを進めるという動きになっており、新たな視点から地域の文化財を総合的に把握し、情報発信を通じて広く区民に文化財として認識してもらうことが重要である。

これらの取り組みを支えるため、専門職員の配置や住民、関係所管、大学との連携を通じて文化財の保存活用の体制を整備していくことがあわせて重要である。

以上を踏まえ、次の項目のとおり、課題を整理する。

課題1 文化財とそれを取り巻く環境の保存

世田谷区では、昭和37年に刊行した『新修世田谷区史』の編纂事業を契機として、郷土史の資料の収集・研究に取り組み、昭和39年には区立郷土資料館を開設し、昭和52年には「世田谷区文化財保護条例」を制定するなど、様々な形で文化財の保存・活

用を推進してきた。

しかし、近年の宅地の細分化や宅地化による農地の減少、団地や社宅の建替えによる高層化や大規模な低・未利用地のマンションなどへの土地利用の転換、道路網の整備や拡幅、区画整理や市街地再開発などの影響により、かつての世田谷の姿を思い起こさせる資料や環境が少なくなっている。

これまで文化財を保存することを通じて、地域の歴史や文化を次世代に伝えていく取り組みを行ってきた。しかし文化財を取り巻く状況が大きく変わってしまったために、文化財だけでなく、周辺環境を含めて総合的かつ計画的に保存・活用していくことが求められている。

郷土の歴史や文化を次世代へと伝えていくためには、文化財が伝える歴史や伝統、生活文化、さらにはそれらを取り巻く環境などを複合的に捉え、継承すべき歴史や文化を一体的に把握できる様々な要素を総合的に保全していく必要がある。

課題2 郷土資料館を核とした郷土学習ネットワークの充実

第2次世田谷区教育ビジョンでは郷土「せたがや」の豊かな歴史・文化を次代へ継承していく取り組みを推進することとしている。

世田谷区では、これまで郷土資料館における展示や岡本公園民家園・次大夫堀公園民家園での体験学習、文化財の保護、啓発事業などを通じて、地域の歴史・文化を学ぶ機会を設けてきた。生涯学習への意欲の高まりの中、地域史を学びたいというニーズがある一方で、かつての世田谷を思い起こさせる資料が少なくなり、郷土「せたがや」を身近に感じる場や資料が少なくなっている。

地域の歴史や伝統的な文化を次世代に継承していくためには、子どもたちの郷土学習の機会や伝統的な行事などに参加する機会を充実させる必要がある。

そのためには、区内様々な場所での、より効率的な郷土学習機能を実現することで、区民の郷土「せたがや」への愛着を深めていく必要がある。

郷土資料館を核とした郷土学習のネットワークを構築し、コンテンツの充実を図っていくべきである。さらに、庁内連携のみならず、広く美術館・大学などとの連携を深めていくことも必要となる。

また、学校教育のサポートのために、学校教育の現場で使える素材も提供していくことが重要である。

課題3 民家園の事業の充実と次大夫堀公園民家園の再整備

世田谷区では「生きている古民家」をテーマに、かつての世田谷の農村風景を再現した岡本公園民家園・次大夫堀公園民家園を開設し、郷土の暮らしについての学習を取り

入れた体験型施設として活用を図ってきた。

しかし、ライフスタイルが大きく変化し、かつての生活文化に触れる機会が少なくなったため、展示だけでは伝統的な文化を伝えていくことは困難である。展示だけでなく、体験してもらうことで、より効果的にかつての歴史・文化を伝えることができることから、民家園の体験学習機能を充実させる必要性が高まっている。そのため、民家園の体験事業のより一層の充実を図っていく必要がある。

また、次大夫堀公園民家園では民家園ボランティアなどの事業の充実に伴い、フィールド全体の見直しを行う必要がある。公園の拡張に伴い、民家園の機能の検証を行うとともに、新たなゾーニングの検討など、配置計画を含めた園全体の再整備計画を進めていく必要がある。

民家園の事業の充実と次大夫堀公園民家園の再整備の検討にあたっては、農業公園との連携を強化していくとともに、ICTの活用などを図りながら、新たな事業展開を検討する必要がある。

課題4 代官屋敷の保存・活用の推進

代官屋敷（大場家住宅）は彦根藩世田谷領の代官であった大場家の役宅で、主屋と表門は区内唯一の国重要文化財建造物であり、敷地は東京都指定史跡になっている。代官屋敷の敷地内には郷土資料館が併設されており、世田谷の歴史と文化を学ぶ拠点施設として位置付けられている。

現在、代官屋敷は代官の生活をうかがい知ることのできる貴重な場として、敷地と主屋の土間部分を一般公開している。今後、近世の世田谷の歴史や、代官の仕事、生活について、より深く理解していくためには、内部の公開や、代官屋敷での事業の充実を図ることが必要である。

代官屋敷を中心として、世田谷の中世から近世にかけての様々な文化財が残されており、周辺環境を含め一体的に活用する取り組みについて検討するほか、代官屋敷の保存活用計画の策定を積極的に進めていく必要がある。

課題5 地域の文化財の継承と伝統文化の担い手の育成

第2次世田谷区教育ビジョンでは郷土「せたがや」の豊かな歴史・文化を次代へ継承していく取り組みを推進することとしているが、地域社会のありかたも大きく変容し、地域の文化財を保存するための人材確保が難しくなっている。そのため、文化財の担い手の育成が急務である。

特に無形文化財は、継承者の不在が深刻であるため、後継者の育成が急がれる。さらに、無形文化財の映像による記録の作成も同様に必要となる。

また、路傍の石造物も、維持管理が負担となり、次世代への継承が難しくなっており、後世に伝えるための仕組みづくりが課題となっている。

区では、文化財や伝統文化の担い手の育成に向けた取り組みとして、小学校への出前事業など様々な事業を行っている。しかし、若い世代においては地域の文化財に触れる機会は決して多くない中で、地域の文化財に触れる機会を継続的に提供していくことが必要である。

また、区の文化財に関する活動に関わりたい、という需要に対して、ボランティアとして活躍できるフィールドを提供することのできる仕組みづくりが求められている。

課題6 世田谷の歴史・文化の魅力を広く伝えるための情報発信

世田谷には多くの文化財があり、その歴史・文化の魅力を伝えていくための情報を発信していく必要がある。東京23区には、国内外から多くの人を訪れることから、その中で世田谷区の歴史・文化における魅力を伝えていくことが重要である。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会においては、区内にある馬事公苑が馬術の競技場として、また、アメリカ選手団のキャンプ地としても世田谷区が選ばれている。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、世田谷を訪れる日本人、外国人の増加が見込まれている。これを契機として、区の歴史文化を積極的に発信することで、区を訪れる外国人に世田谷の文化を知ってもらうとともに、区を訪れる日本人にも、改めて郷土せたがやの歴史・文化を伝えていくことが重要である。

また、増加傾向にある訪日外国人向けへの文化財の情報発信のためには、多言語化の充実などを図ることも必要である。さらに、情報発信のみではなく、民家園や郷土資料館等において、世田谷の特色を生かした文化のイベント等を実際に体験してもらう機会を設けることも検討していく必要がある。

課題7 新しい区史編纂に向けた取り組み

世田谷区では昭和26年に『世田谷区史』、昭和37年に『新修世田谷区史』、昭和51年に『世田谷近・現代史』を刊行し、区史編纂事業に取り組んできた。これまでの区史編纂に伴う文化財調査では、民俗調査、古民家・近代建築調査、社寺調査、石造遺物調査などを実施してきたが、年月が経ち、文化財を取り巻く状況が大きく変わっていることから、過去の調査で対象とした文化財を含めた現状把握のための調査が必要である。

区史は歴史や文化を次世代に伝える最も基礎的な資料であり、区の歴史・文化の正しい理解のため必要不可欠である。区史刊行後、様々な分野で調査研究が進み、区の歴史・文化について研究も深められていることから、最新の研究結果を情報発信していく必要がある、新たな区史編纂が求められている。

区史編纂のベースとなる各分野の調査活動は、昭和50年代から平成4年にかけて総合調査を実施したが、現状を改めて把握し直すために、追跡調査を実施する必要がある。埋蔵文化財についても調査が進んでおり、調査結果をまとめる必要がある。

未調査分野である天然記念物や景観、戦争遺跡、近代土木建築、映像、写真資料などの分野についても現状把握に努める必要がある。

各種調査の実績は、区史などの書籍だけではなく、ICTの活用など従来の手段にとられない、子供から大人まで分かりやすく、親しみやすい情報発信を心がけていくことが重要である。

課題8 文化財の保存活用のための体制の整備

世田谷区では、専門的知識に基づいた文化財の適切な保存に取り組んできた。今後区の歴史・文化を後世に伝えていくためには、指定文化財だけでなく未指定の文化財も対象に、幅広い保存活用を行っていく必要があり、そのためには、行政と区民が協働して、地域ぐるみで取り組む必要がある。

地域で文化財を守っていくための体制をつくるためには、行政にも専門職員が必要である。そのため行政の専門職員の育成に取り組み、行政と地域住民や地域文化財保存団体等が協働できる仕組みをつくり、文化財の保存活用のための体制の整備を行うとともに、専門職員による文化財に関する教育・普及への取り組みが必要である。特に、次世代を担う子どもたちに対しては、地域の歴史・文化を伝えていくための学校教育と連携した取り組みが強く求められている。

また、より効果的に周辺環境まで含めた保存活用を行うために、庁内関係所管との連携を強化していく必要がある。庁内関係所管との連携のみならず、大学・周辺自治体との連携した取り組みを実施していくことも重要である。

2. 世田谷区の文化財保存活用の基本的な考え方

(1) 文化財保存活用の基本理念

文化財は、長い時間をかけて人々の継続的な営みの中で創出され、自然や風土、社会や生活を反映しながら今日まで継承されてきたものであることから、地域にとってのかけがえのない財産であるとともに、区民の生活環境を構成する不可欠な要素でもある。また、文化財は、地域の歴史・文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであるとともに、将来の文化の向上発展の基礎をなすものである。

祖先の歴史的、文化的業績のかけがえのない遺産である文化財を保護し、次の世代に伝えていくことは現代に住む人々にとって、大切な責務であると考えられる。

世田谷区においては、郷土の歴史・文化を伝える文化財が多く存在しているが、都市

部における経済活動優先の開発の中でかつての風景や文化は次第に失われつつあり、文化財の保護はますます難しくなっている。地域における固有の歴史・文化、風景をはじめとする資源が、その価値を十分に把握されないまま姿を消していくことは、現在及び将来にわたって地域に住む人々にとって大きな損失である。

世田谷区においては、地域の歴史や文化を伝える文化財やそれを取りまく景観・自然環境を次の世代へと継承していくため、現状や課題を踏まえ、基本理念は、今後の文化財施策のあり方を考えるうえでの基礎となるとともに、長期的な視点で一貫して施策展開していくための大きな考え方とすること。

<基本理念とすべき事項>

- ・文化財やそれを取りまく環境が失われることのないよう、幅広い視点で把握し、適切な保存を行うことを目指す。
- ・郷土「せたがや」を次世代へ継承していくため、地域の歴史や文化を学び、暮らしの中で活用しながら、地域の手で守り伝えていくことを目指す。
- ・保存は文化財を通じた郷土理解への活用につながり、活用は文化財への保存意識の高まりを生み出すものである。保存と活用が表裏一体となるよう、相互に関係性をもった施策展開を目指す。
- ・保存及び活用の取り組みを支えるための行政と地域社会との連携による体制づくりを目指す。

(2) 文化財保存活用の基本方針

前述の課題解決を図るとともに、基本理念の考え方を踏まえつつ、基本方針として以下の内容を検討すること。

基本方針1 文化財とそれを取り巻く環境の一体的な保存の推進

地域に存在する文化財等は開発の中で失われやすく、特に指定などがなされていない文化財等は価値を十分に把握されずに失われてしまうことが多いことから、共通の歴史背景を伝える一つのまとまりとしての保存や、文化財を取りまく景観・自然環境の視点を取り込んだ保存及び規制により、それらを一体的に捉え、失われやすい未指定の文化財等を含めた複合的保存を図っていくことで文化財等の喪失を未然に防いでいく必要がある。

個々の文化財やそれを取りまく景観・自然環境を適切に把握し、複合的保存を図ることで、それらを面として捉えることが可能となり、保存管理において継続性のある保存施策の展開につなげていくこと。

また、文化財を適切に保存管理するための収蔵施設の確保にも取り組んでいくこと。

基本方針2 文化財に関する総合的把握及び情報化の推進

文化財等の喪失を防ぎ、適切に保存していくためには、現在区内において存在する文化財等を総合的に把握していく必要がある。

これまでの文化財調査の追跡調査を行い、現状把握を行うとともに、未調査分野についての調査も行い、広く文化財の現状把握に努めること。また、未指定分野を含め、文化財の指定・未指定にとらわれない、文化財としての価値を踏まえた総合的調査を推進すること。これらの調査結果は、区内に存在する文化財等を地域の財産として区民に知ってもらうとともに、それらの価値を深く理解してもらうための様々な活用につなげていくための情報資源として活かしていくこと。

さらに、新たな区史の編纂を視野に入れた調査を検討し、住民への情報提供への機会へとつなげていくこと。

調査成果については、データ管理・利用における利便性の向上を図るため、ICT技術を活用し、デジタル化、データ一元化を推進すること。その一環として、無形文化財においては、デジタルによる映像記録化を順次進めていくこと。

また、一元化されたデータは、地域住民、関係各課等と共有し郷土学習や都市整備、大規模災害時の状況把握になどにおいて活用していくこと。

基本方針3 地域住民が主体となった保存・活用の促進

地域の中で文化財等を保存・活用してくためには、地域住民の存在が不可欠である。

保存の面においては、地域住民との情報交換及び協力関係を通じて、地域の身近な文化財の保存・継承を推進すること。また、小・中学生をはじめとする若い世代において、地域の文化行事などの参加を促すなどし、文化財に接する機会を切れ目なく提供することで、継承機会の増加を図ること。

活用の面においても、地域の文化財に関する情報を積極的に区民に提供し、地域の中で行われる歴史・文化に関するイベントの実施等につなげていくこと。

さらに、地域住民や地域文化財保存団体等による保存・活用に関する活動に対しては、専門職員によるアドバイスをはじめとする行政によるサポートを通じ、地域の手による保存・活用への取り組みを継続的に支えていくこと。

基本方針4 世田谷の郷土を学べる場や機会の充実

郷土学習においては、各所管との連携を強化していくとともに、学校教育を通じて郷土を学べる機会の充実を図ること。

さらに、世田谷のかつての風景、習俗の継承を図るため、様々な体験学習を通じて、郷土文化に触れる機会の充実を図ること。その他、区内において、郷土文化について理解を深める多くの機会を設け、多面的な視点による郷土学習を展開していくこと。

実際に文化財に触れる機会を増やし、世田谷の文化財の歴史・文化的価値の普及啓発を推進すること。あわせて、文化財を中心とする環境を活かした学びの場づくりを推進すること。

これらを通じ、かつての世田谷の生活文化への理解を促し、世田谷の文化の次世代への継承にもつなげていくこと。また、一方で、生涯を通じての生涯学習にもつなげ、地域の歴史・文化を知りたいという声に応えていくこと。

さらに、世田谷区の郷土学習等に関する情報をこれまで以上に得やすくするため、郷土学習等に関する総合的な情報提供におけるネットワークの核となるデジタルミュージアムを構築すること。

基本方針5 世田谷の歴史・文化に関する情報の効果的な発信

情報発信においては、新たな情報ツールを活用して、文化財に関する情報を効果的に発信し、区内に向けて郷土「せたがや」の魅力を伝えていくこと。

また、多言語化をすすめ、外国人向けの情報発信を強化するとともに、外国人向けの文化体験の機会の充実を図るなどし、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を一つのきっかけとした世田谷区の歴史・文化の発信を進めていくこと。

各年齢層、各目的に絞った情報発信を行うとともに、まちなか観光などと連携し、効果的に区の魅力を発信すること。

さらに、ホームページなどの媒体においては、世田谷の歴史・文化に関する情報を集約しデジタルミュージアムとしてプラットフォーム化をすすめていくことで、情報のアクセシビリティを高めていくこと。デジタルミュージアムでは指定文化財だけでなく、未指定の文化財についても積極的にデジタル化し、情報発信していくこと。

また、案内・表示等については、ユニバーサルデザインの視点から、誰もが快適に利用できるよう工夫すること。

3. 文化財保存活用の体制整備

(1) 推進体制

①専門的保存体制の整備

文化財保存活用の体制整備においては、専門職員の知識や経験を活かし、体制の基礎づくりを進めること。そのためには専門的知識を持つ人材の確保が長期的に必要となるため、学芸員をはじめとした文化財の専門職員の育成にもあわせて取り組むこと。

②庁内連携の強化

今後の文化財の保存活用においては、文化財保護の視点に加え、まちづくりや景観などの分野との連携も必要となる。関係所管との連携を強化し、水平的視野で幅広く保存活用の取り組みを支える体制づくりにつなげていくこと。文化財を含めた歴史・文化の調査・研究結果を関係各課と情報共有し、教育、まちづくり、防災などの分野において有効に活用していくこと。

③教育環境の整備

文化財を保存活用していくためには、区の歴史・文化を学べる場を整備することが重要である。区内において郷土学習の機能を充実させていくため、区内での教育環境を整備し、区民が郷土「せたがや」の歴史・文化を学ぶことのできる場づくりを進めること。また郷土学習のベースとなる文化財の適切な保存管理体制の整備にも取り組むこと。

④研究機関との連携

大学などの研究機関等との協議連携を行い、情報交換等を通じて、最新知識を継続的に更新していくとともに、効率的に専門的知識の蓄積を図っていくこと。

資料4 世田谷区文化財に関する区民意識・実態調査

(世田谷区民意識調査 2016 より)

①調査の概要

- 調査対象 世田谷区在住の満 18 歳以上の男女
- 対象数 4,000 人 (内訳/日本国籍 3,910 人、外国籍 90 人)
- 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- 調査方法 郵送配布・郵送回収
- 調査期間 平成 28 年 5 月 23 日～6 月 6 日
- 有効回収数 2,355 人 (内訳/日本国籍 2,329 人、外国籍 26 人)
- 有効回収率 58.9%

②グラフの見方

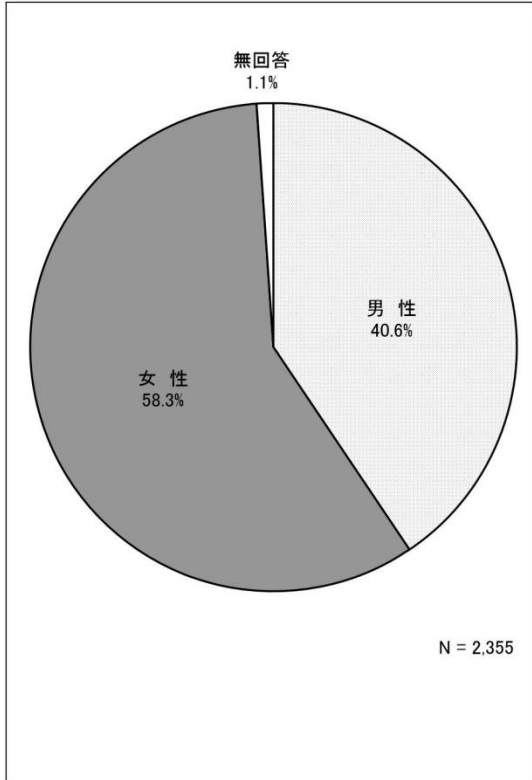
- 百分比は回答者数(該当設問においては該当者数)を 100%として算出し、本文及び図表の数字はすべて小数点第 2 位を四捨五入してある。したがって、比率の合計が必ずしも 100.0%にならない場合がある。
- 設問中に特に指示がない限り、回答は 1 つである。
- 複数回答の設問は、すべての比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- 設問に対して無回答があったクロス集計による分析では、各回答者数の合計が全体の回答者数と一致していない。

③調査の項目等(※世田谷区民意識調査 2016 より抜粋)

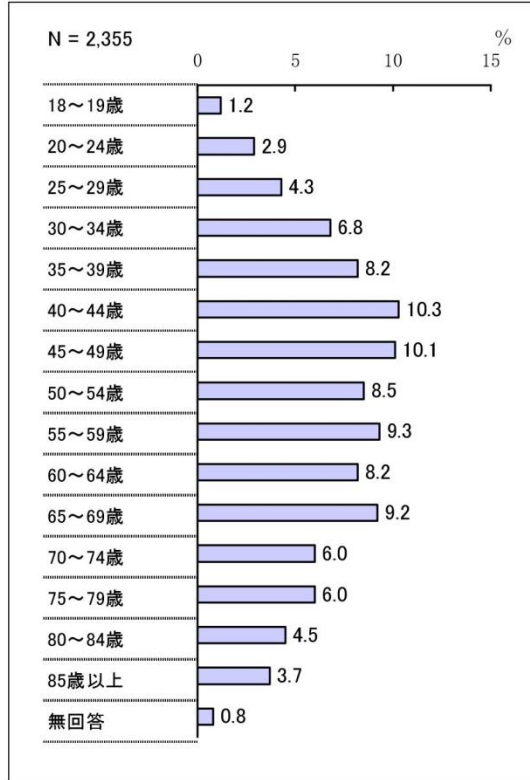
1. 標本構成
2. 世田谷区の文化財

1. 標本構成

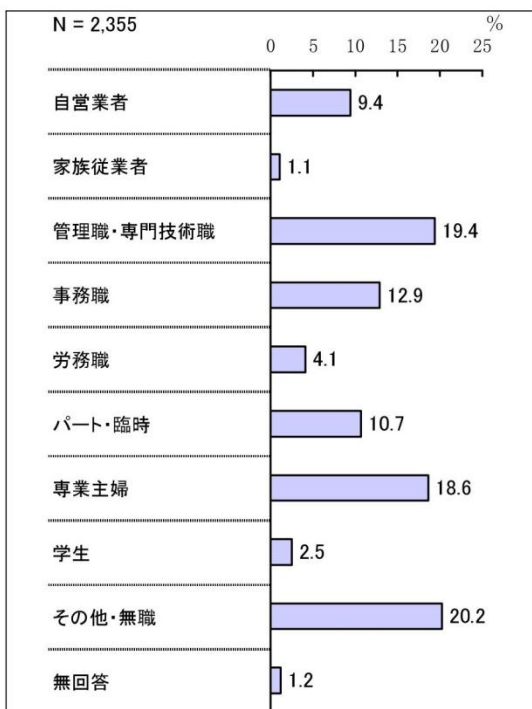
(1) 性別



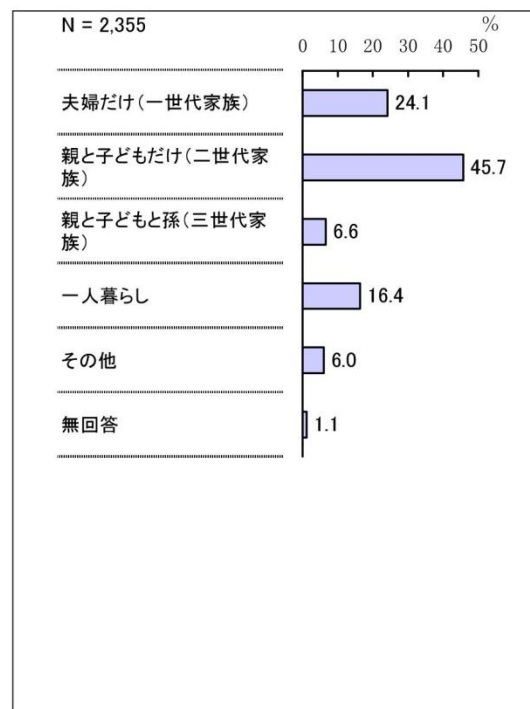
(2) 年齢



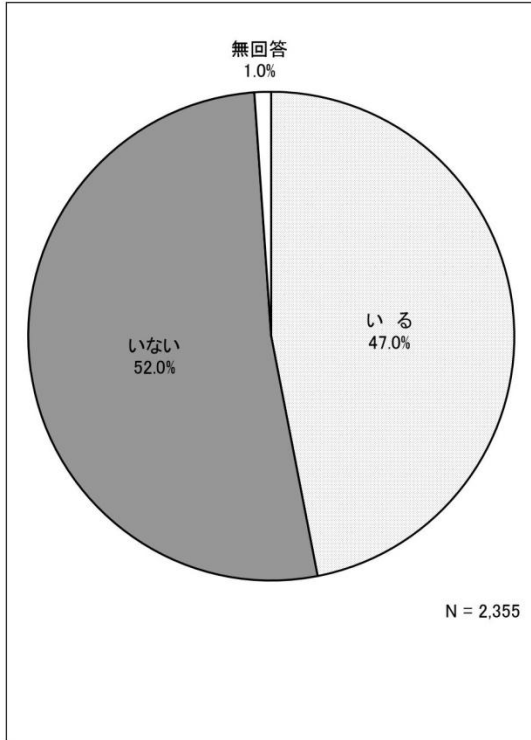
(3) 職業



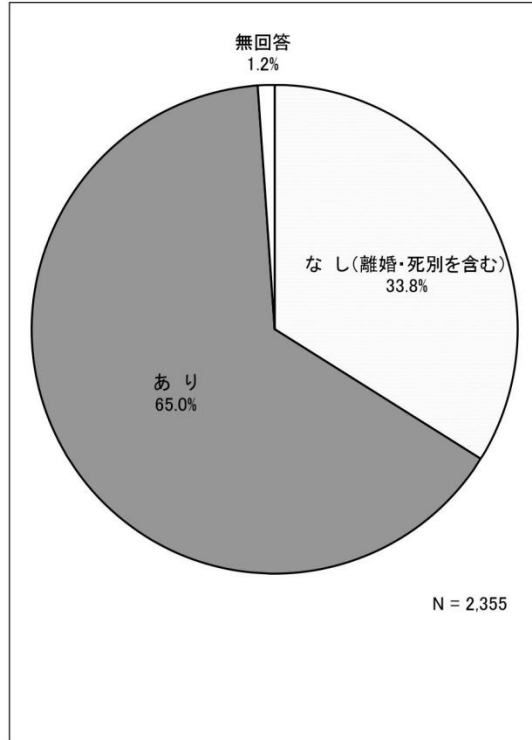
(4) 家族構成



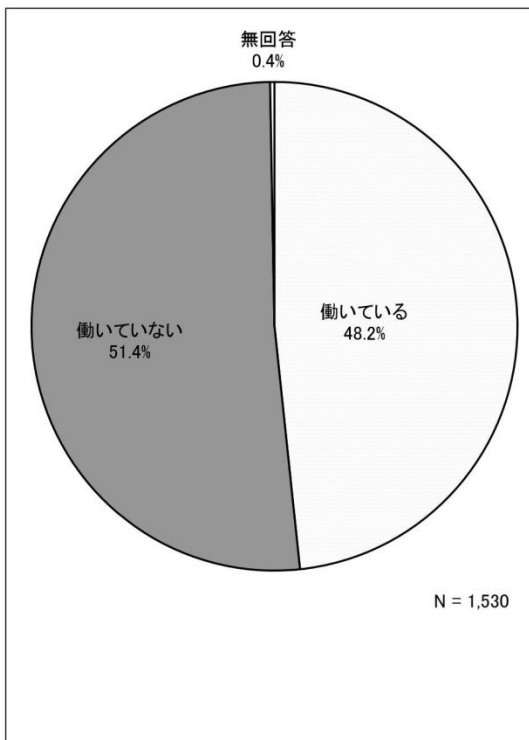
(5) 同居家族における高齢者の有無



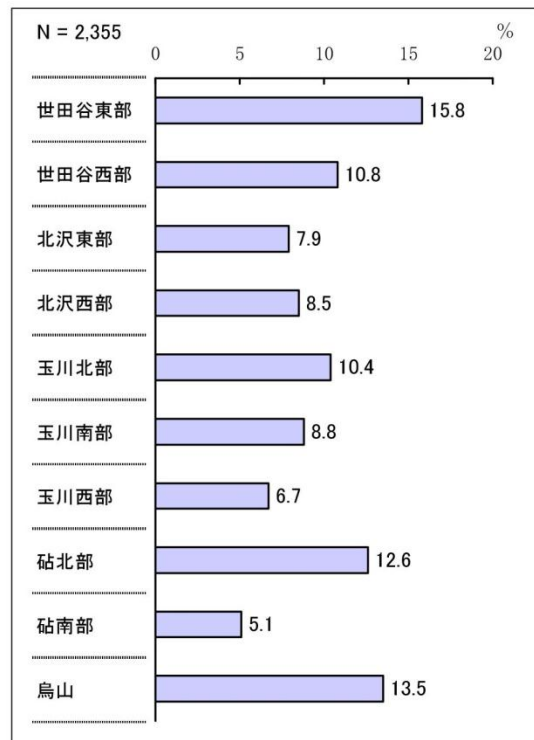
(6) 配偶者の有無



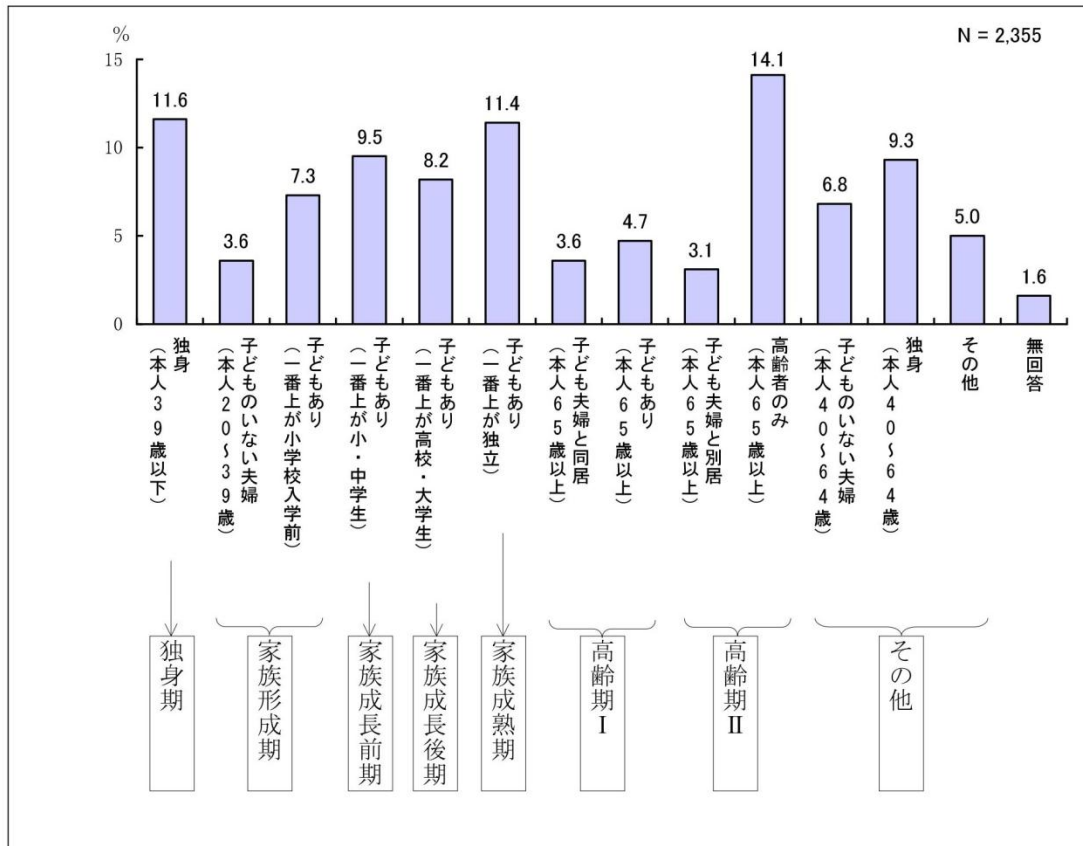
(7) 共働きの有無



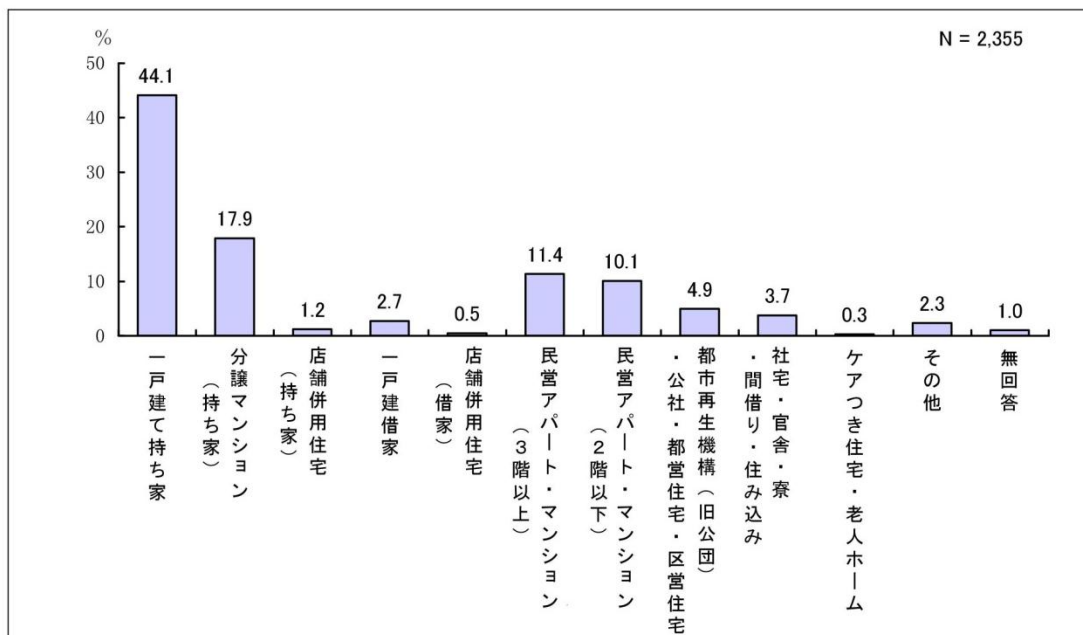
(8) 居住地区



(9) ライフステージ



(10) 住居形態



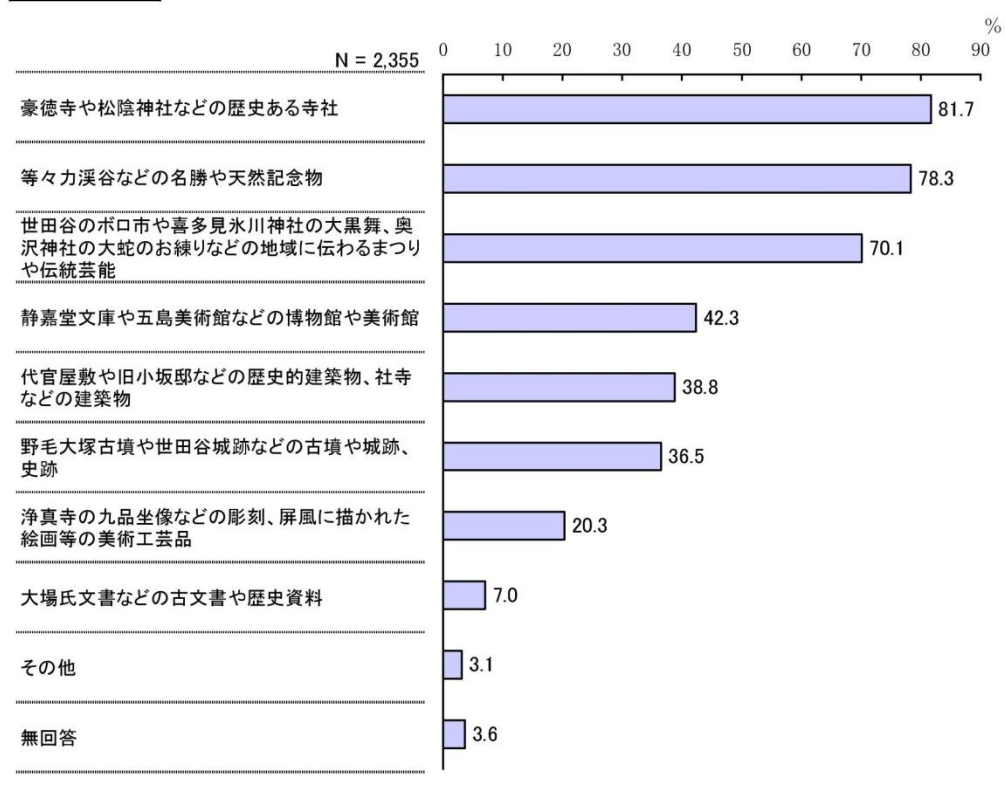
2. 世田谷区の文化財

(1) 世田谷区の文化財に対する認知度

◎「豪徳寺や松陰神社などの歴史ある寺社」が8割を超える

問 48 区内には世田谷の歴史や文化をあらわす文化財がありますが、どのようなものを知っていますか。(〇はいくつでも)

図 19-1-1



<調査結果>

世田谷区の文化財に対する認知度を聞いたところ、「豪徳寺や松陰神社などの歴史ある寺社」(81.7%)が8割を超え最も高く、以下、「等々力溪谷などの名勝や天然記念物」(78.3%)、「地域に伝わるまつりや伝統芸能」(70.1%)などと続く。(図 19-1-1)

表 19-1-1 世田谷区の文化財に対する認知度（性・年齢別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	豪徳寺や松陰神社などの歴史ある寺社	等々力溪谷などの名勝や天然記念物	世田谷のポロ市や喜多見氷川神社の大黒舞、奥沢神社の大蛇のお練りなどの地域に伝わるまつりや伝統芸能	静嘉堂文庫や五島美術館などの博物館や美術館	代官屋敷や旧小坂邸などの歴史的建築物、社寺などの建築物	野毛大塚古墳や世田谷城跡などの古墳や城跡、史跡	浄真寺の九品坐像などの彫刻、屏風に描かれた絵画等の美術工芸品	大場氏文書などの古文書や歴史資料	その他	無回答	
全 体	2,355	81.7	78.3	70.1	42.3	38.8	36.5	20.3	7.0	3.1	3.6	
性・年齢別	男性全体	957	81.1	77.4	67.1	40.4	38.9	39.5	19.1	7.6	3.6	4.0
	10・20歳代	78	67.9	66.7	50.0	14.1	29.5	37.2	9.0	6.4	7.7	7.7
	30歳代	137	69.3	64.2	48.9	18.2	23.4	21.2	8.8	2.2	3.6	6.6
	40歳代	178	80.3	80.9	65.7	37.6	25.3	41.6	12.9	4.5	4.5	3.9
	50歳代	170	84.1	83.5	78.2	49.4	43.5	42.9	21.2	7.6	2.9	1.2
	60歳代	198	88.4	80.3	73.2	52.5	50.0	47.0	27.3	9.1	1.0	2.5
	70歳代	120	86.7	81.7	75.8	49.2	56.7	39.2	25.8	15.8	1.7	2.5
	80歳以上	76	82.9	76.3	65.8	48.7	40.8	43.4	26.3	9.2	7.9	7.9
	女性全体	1,373	83.1	79.7	73.0	44.0	39.0	34.7	21.5	6.7	2.9	2.2
	10・20歳代	121	66.9	52.9	53.7	14.9	18.2	23.1	9.9	2.5	9.1	5.8
	30歳代	215	76.7	71.6	63.3	27.0	25.6	22.3	8.8	4.2	3.7	3.3
	40歳代	301	85.4	85.0	73.8	41.5	36.2	37.9	15.3	3.0	3.0	1.7
	50歳代	250	85.6	85.2	80.4	49.2	42.8	41.6	22.0	6.0	1.6	1.6
	60歳代	210	86.7	86.7	79.0	59.5	50.0	41.9	32.4	8.6	1.4	1.9
	70歳代	162	90.7	84.6	78.4	57.4	53.7	35.8	35.2	13.0	2.5	0.6
	80歳以上	114	83.3	77.2	74.6	54.4	44.7	32.5	33.3	14.9	0.9	1.8

<調査結果>

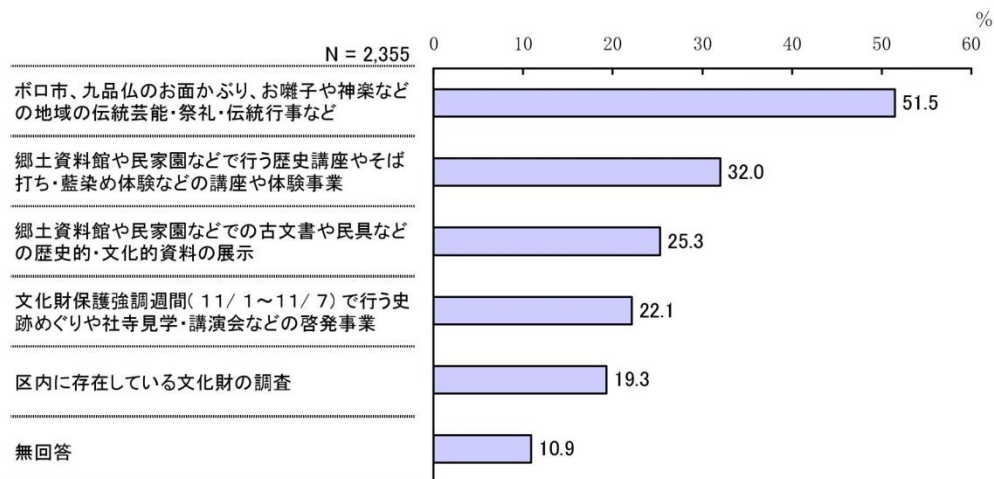
性・年齢別にみると、「豪徳寺や松陰神社などの歴史ある寺社」は女性の70歳代でほぼ9割となっており、男性の60歳代、70歳代、女性の60歳代で9割近くとなっている。「等々力溪谷などの名勝や天然記念物」は女性の60歳代で9割近くとなっており、女性の50歳代、40歳代、70歳代で8割半ばとなっている。（表 19-1-1）

(2) 文化財に対する区の実施について興味があるもの

◎「地域の伝統芸能・祭礼・伝統行事など」が5割を超える

問 49 現在、世田谷区では文化財に関するさまざまな取り組みを行っています。どのようなものについて、興味がありますか。(〇は3つまで)

図 19-2-1



<調査結果>

文化財に対する区の実施について興味があるものを聞いたところ、「地域の伝統芸能・祭礼・伝統行事など」(51.5%)が5割を超え最も高く、以下、「歴史講座や体験事業」(32.0%)、「歴史的・文化的資料の展示」(25.3%)などと続く。(図 19-2-1)

表 19-2-1 文化財に対する区の取組みについて興味があるもの（性・年齢別）

単位：％

区分	有効回答数 (件)	ポロ市、九品仏のお面かぶり、お囃子や神楽などの地域の伝統芸能・祭礼・伝統行事など	郷土資料館や民家園などで行う歴史講座やそば打ち・藍染め体験などの講座や体験事業	郷土資料館や民家園などでの古文書や民具などの歴史的・文化的資料の展示	郷土資料館や民家園などでの文化財保護強調週間(11/15/17)で行う史跡めぐりや社寺見学・講演会などの啓発事業	文化財保護強調週間(11/15/17)で行う史跡めぐりや社寺見学・講演会などの啓発事業	区内に存在している文化財の調査	無回答
全体	2,355	51.5	32.0	25.3	22.1	19.3	10.9	
性・年齢別	男性全体	957	47.1	24.8	29.8	20.1	24.2	12.4
	10・20歳代	78	43.6	23.1	28.2	12.8	20.5	14.1
	30歳代	137	53.3	26.3	24.8	17.5	10.9	13.1
	40歳代	178	45.5	29.8	23.6	12.4	18.0	14.0
	50歳代	170	44.1	28.2	28.2	27.1	23.5	12.9
	60歳代	198	49.5	22.7	32.8	21.2	30.3	9.6
	70歳代	120	48.3	18.3	41.7	26.7	40.8	6.7
	80歳以上	76	42.1	19.7	31.6	21.1	26.3	21.1
	女性全体	1,373	55.1	37.4	22.6	23.8	16.2	8.7
	10・20歳代	121	57.0	38.8	18.2	17.4	7.4	8.3
	30歳代	215	57.7	42.8	16.7	14.4	10.2	9.8
	40歳代	301	62.5	44.9	17.6	20.3	11.6	7.6
	50歳代	250	54.4	36.4	20.8	28.4	13.6	5.6
	60歳代	210	49.0	33.8	25.7	30.5	23.8	7.6
	70歳代	162	46.9	33.3	32.7	35.8	25.3	9.3
	80歳以上	114	52.6	21.1	35.1	18.4	27.2	17.5

<調査結果>

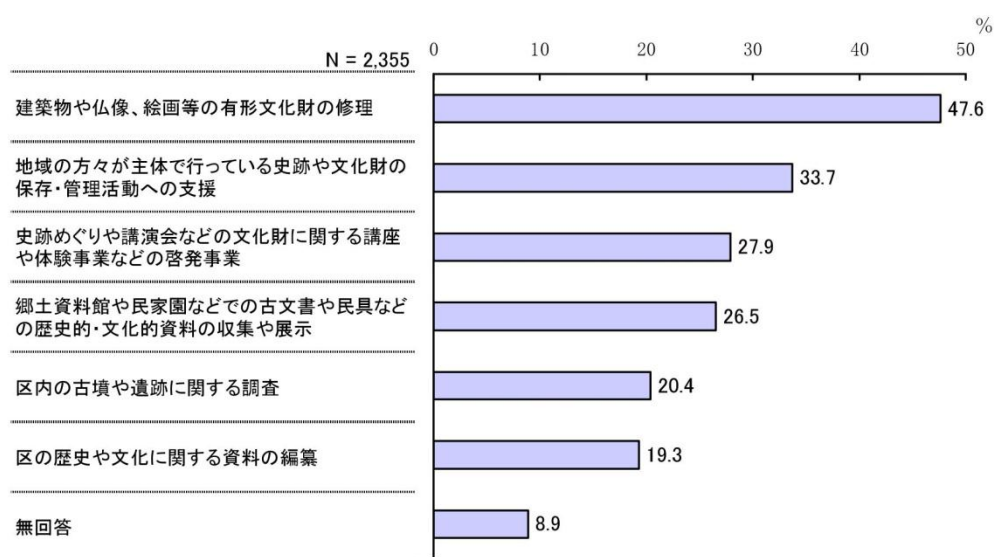
性・年齢別にみると、「ポロ市、九品仏のお面かぶり、お囃子や神楽などの地域の伝統芸能・祭礼・伝統行事など」は女性の40歳代で6割を超えており、女性の30歳代、10・20歳代で6割近くとなっている。「郷土資料館や民家園などで行う歴史講座やそば打ち・藍染め体験などの講座や体験事業」は女性の40歳代で4割半ばとなっており、女性の30歳代で4割を超えている。(表 19-2-1)

(3) 文化財保護の取組みについて重要だと思うこと

◎「有形文化財の修理」が5割近く

問 50 世田谷区で実施する文化財保護の取組みについて、どういった取組みが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

図 19-3-1



<調査結果>

世田谷区で実施する文化財保護の取組みについて重要だと思うことを聞いたところ、「有形文化財の修理」(47.6%)が5割近くと最も高く、以下、「史跡や文化財の保存・管理活動への支援」(33.7%)、「文化財に関する講座や体験事業などの啓発事業」(27.9%)、「歴史的・文化的資料の収集や展示」(26.5%)などと続く。(図 19-3-1)

表 19-3-1 文化財保護の取組みについて重要だと思うこと（性・年齢別）

単位：％

区分	有効回答数 (件)	建築物や仏像、絵画等の有形文化財の修理	支援 の保存・管理活動への	地域の方々为主体で行っている史跡や文化財	発事業 座や体験事業などの啓	史跡めぐりや講演会などの文化財に関する講座	郷土資料館や民家園などの古文書や民具などの歴史的・文化的資料の収集や展示	区内の古墳や遺跡に関する調査	区の歴史や文化に関する資料の編纂	無回答
全体	2,355	47.6	33.7	27.9	26.5	20.4	19.3	8.9		
性・年齢別	男性全体	957	44.9	32.8	23.8	27.4	23.3	24.9	9.0	
	10・20 歳代	78	33.3	30.8	24.4	20.5	25.6	25.6	9.0	
	30 歳代	137	46.0	29.9	26.3	22.6	19.0	20.4	10.2	
	40 歳代	178	36.0	38.2	20.2	21.9	19.1	15.2	12.9	
	50 歳代	170	50.6	32.9	29.4	26.5	26.5	25.3	5.3	
	60 歳代	198	53.0	31.3	20.2	35.9	22.7	30.3	6.6	
	70 歳代	120	48.3	33.3	30.0	33.3	30.8	30.8	2.5	
	80 歳以上	76	36.8	30.3	14.5	26.3	21.1	30.3	22.4	
	女性全体	1,373	50.1	34.9	31.1	26.1	18.6	15.6	7.6	
	10・20 歳代	121	44.6	33.1	28.9	28.9	14.0	13.2	5.8	
	30 歳代	215	45.6	35.3	34.0	23.3	13.5	7.4	9.8	
	40 歳代	301	50.2	33.2	36.5	21.6	20.3	11.6	6.0	
	50 歳代	250	56.0	38.0	28.0	22.0	19.2	16.4	4.4	
	60 歳代	210	55.2	34.3	29.0	28.6	19.0	21.4	6.7	
	70 歳代	162	48.1	36.4	33.3	36.4	21.6	22.2	8.0	
	80 歳以上	114	44.7	32.5	21.1	30.7	22.8	21.9	17.5	

<調査結果>

性・年齢別にみると、「建築物や仏像、絵画等の有形文化財の修理」は女性の50歳代、60歳代で5割半ばとなっており、男性の60歳代で5割を超えている。「地域の方々为主体で行っている史跡や文化財の保存・管理活動への支援」は男性の40歳代、女性の50歳代が4割近くとなっている。「史跡めぐりや講演会などの文化財に関する講座や体験事業などの啓発事業」は女性の40歳代で4割近くとなっている。(表 19-3-1)

資料5 世田谷区文化財に関する区政モニターアンケート

(平成28年度 区政モニターアンケート報告書より)

①調査の概要

- 調査対象 第16期区政モニター
- 対象数 194人
- 調査方法 郵送配布・郵送回収法及びEメールによる送受信
- 調査期間 平成28年7月27日から8月10日
- 有効回答数 168人
- 回収率 86.6%

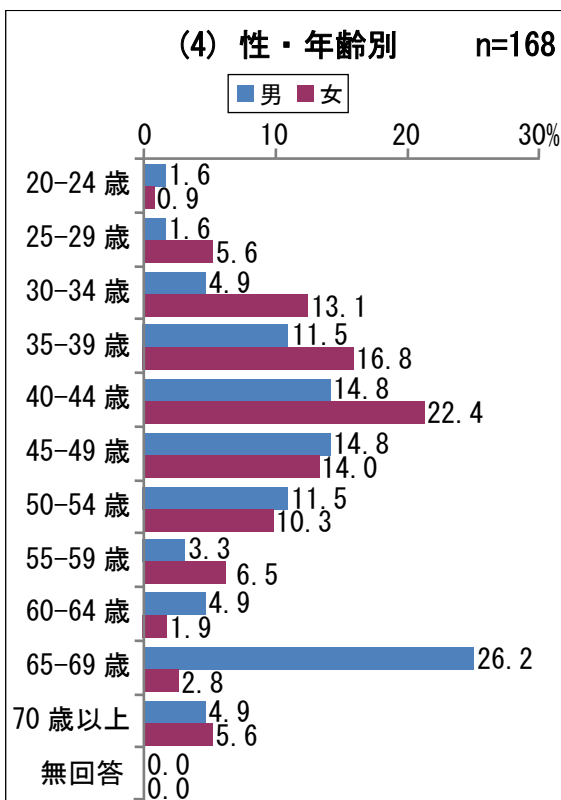
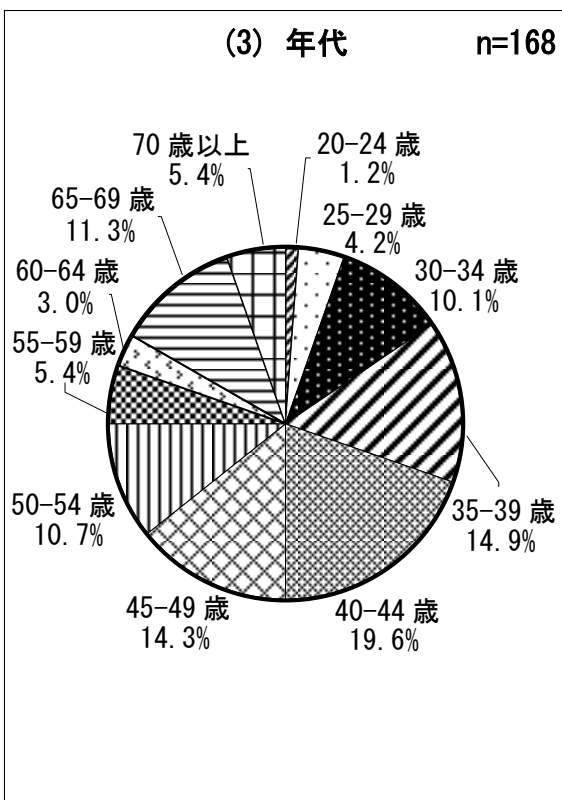
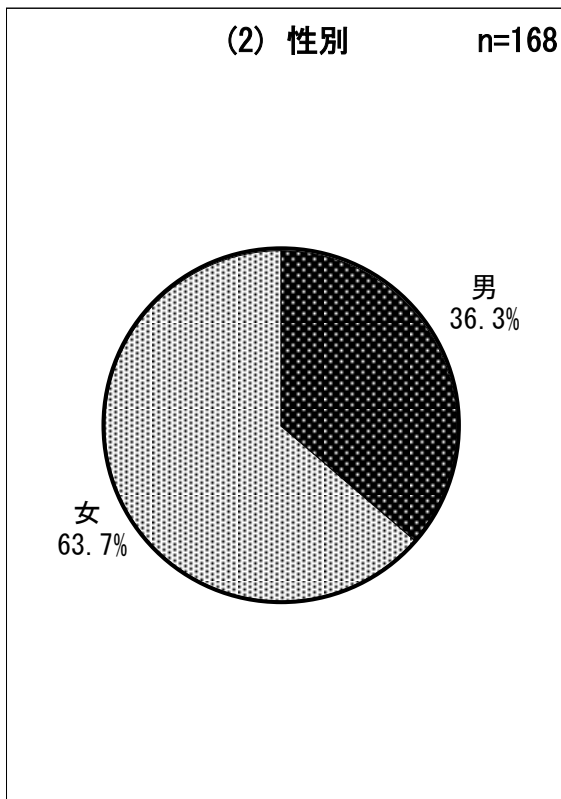
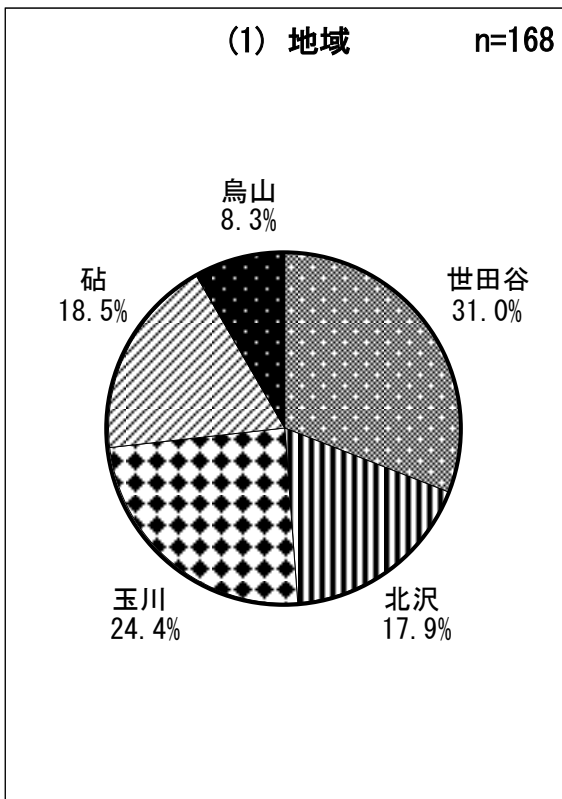
②グラフの見方

- 数値についてはすべて百分比(%)で表示する。
- 百分比は回答者数(該当設問においては該当者数)を100%として算出し、本文および図表の数字はすべて小数点第2位を四捨五入してある。したがって比率の合計が必ずしも100%にならない場合がある。同様にいくつかの選択肢の小計が、本文中の数字と合致しない場合がある。
- 複数回答の設問は、すべての比率が100%を超えることがある。
- 特に断りがない場合、すべての設問のn値は168である。
※n値とはサンプル数(アンケート回答件数)

③調査の項目等(※平成28年度 区政モニターアンケート報告書より抜粋)

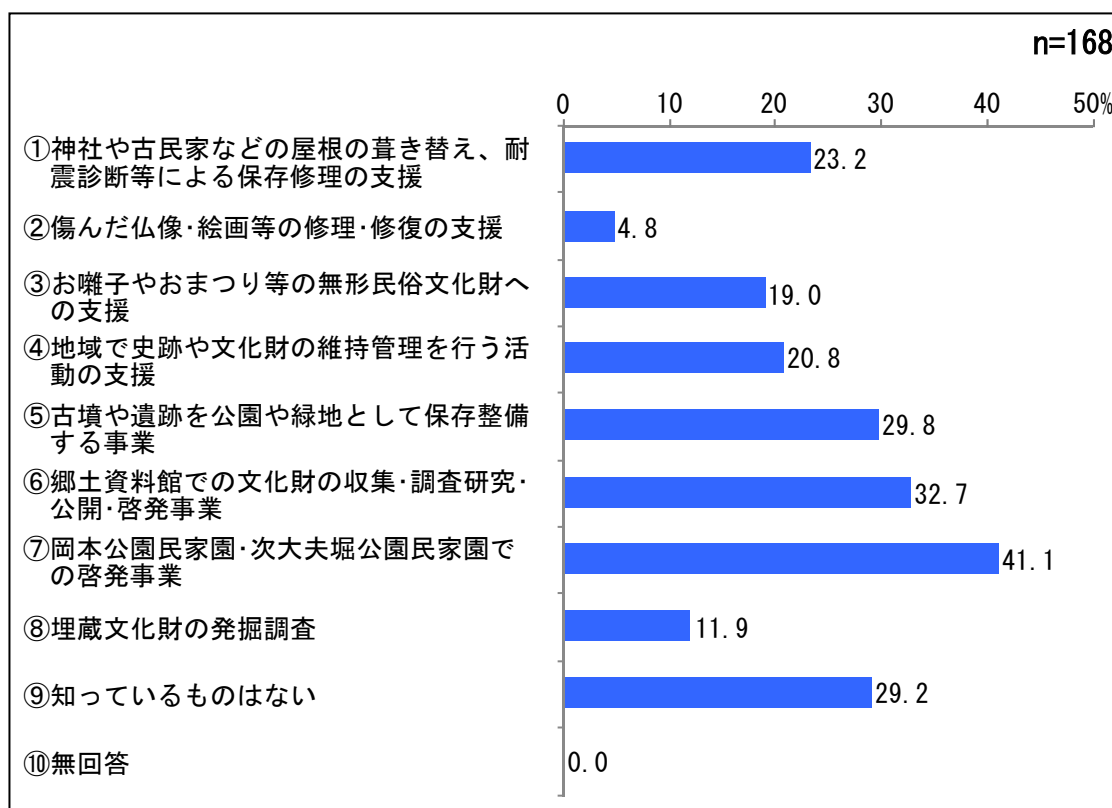
1. 標本構成
2. 世田谷区の文化財について

1. 標本構成



2. 世田谷区の文化財について

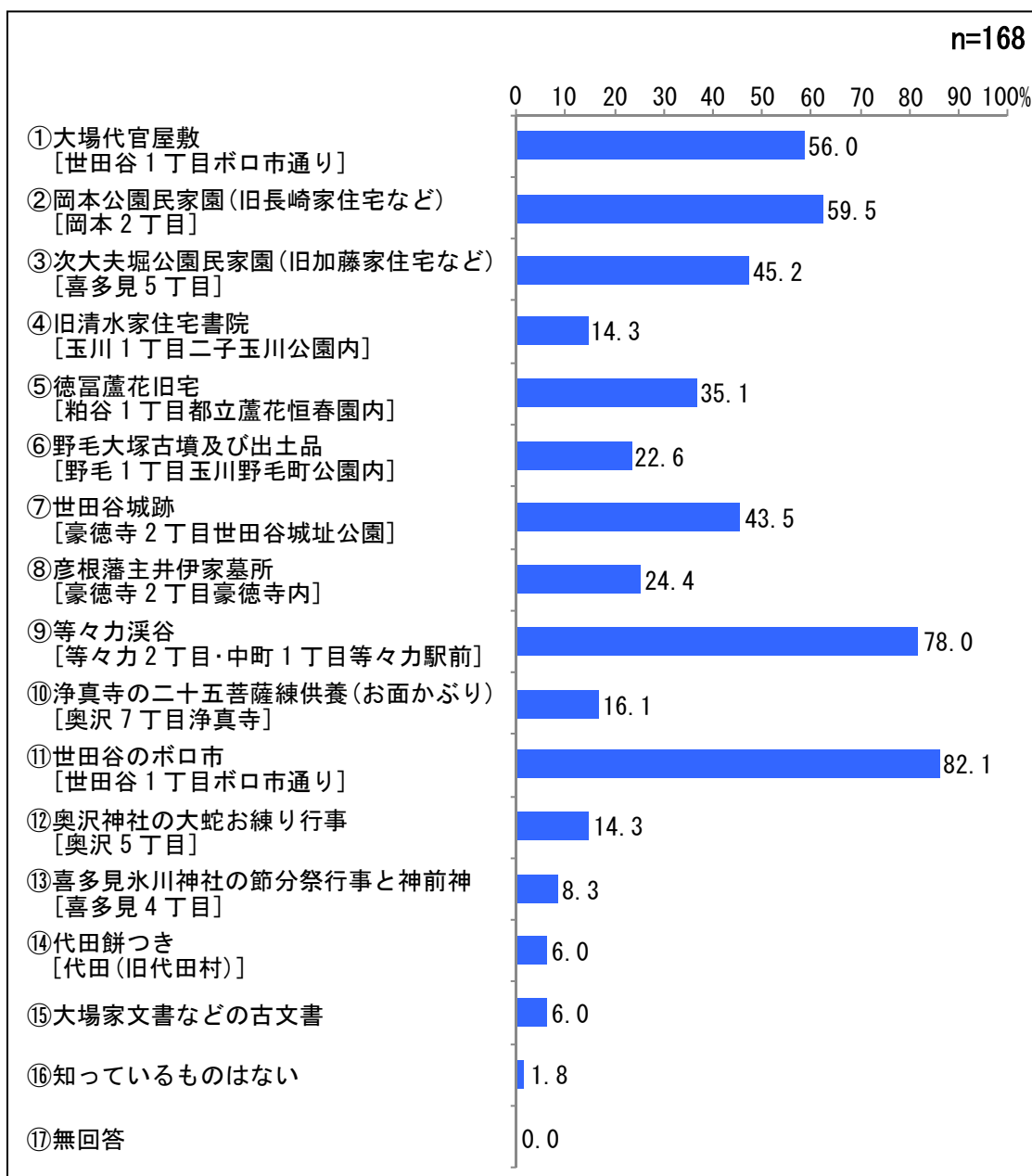
(1) 区では文化財の保存・活用について様々な取り組みを行っています。
知っているものはどれですか。(〇は該当するもの全て)



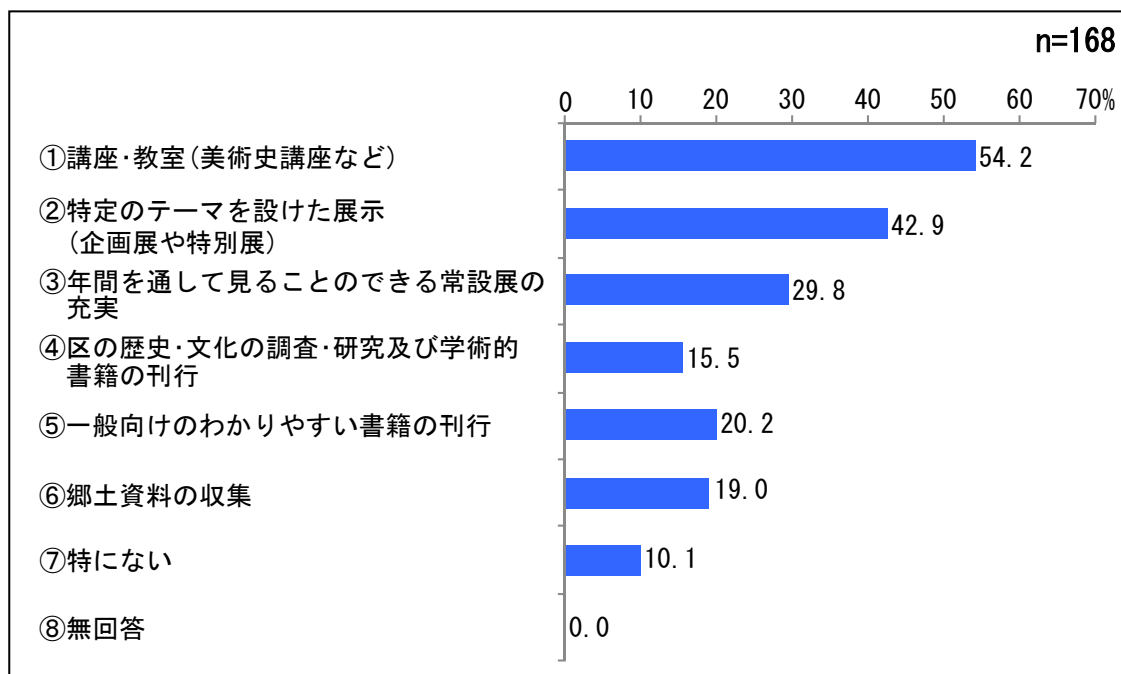
(2) 区内にある主な文化財として以下のようなものがあります。

以下の文化財の中で、知っているものはどれですか。

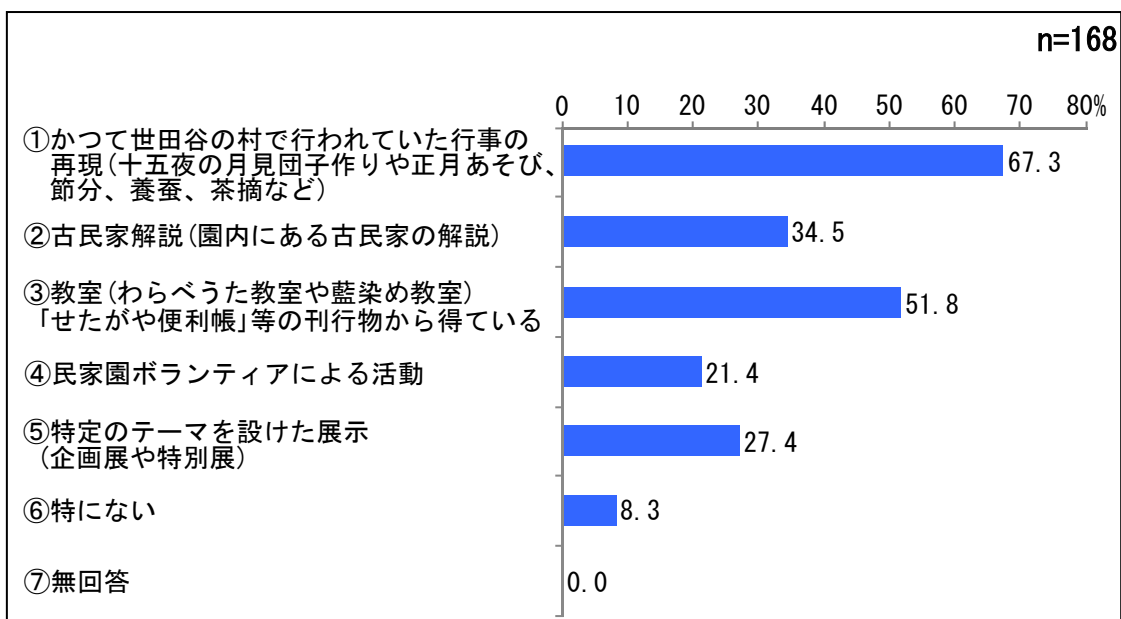
(○は該当するもの全て)



(3) 郷土資料館では、区の歴史・文化に関する研究、展示、情報発信を行っています。今後、郷土資料館ではどのような取り組みに力を入れていくのが良いと思いますか。(〇は該当するもの全て)

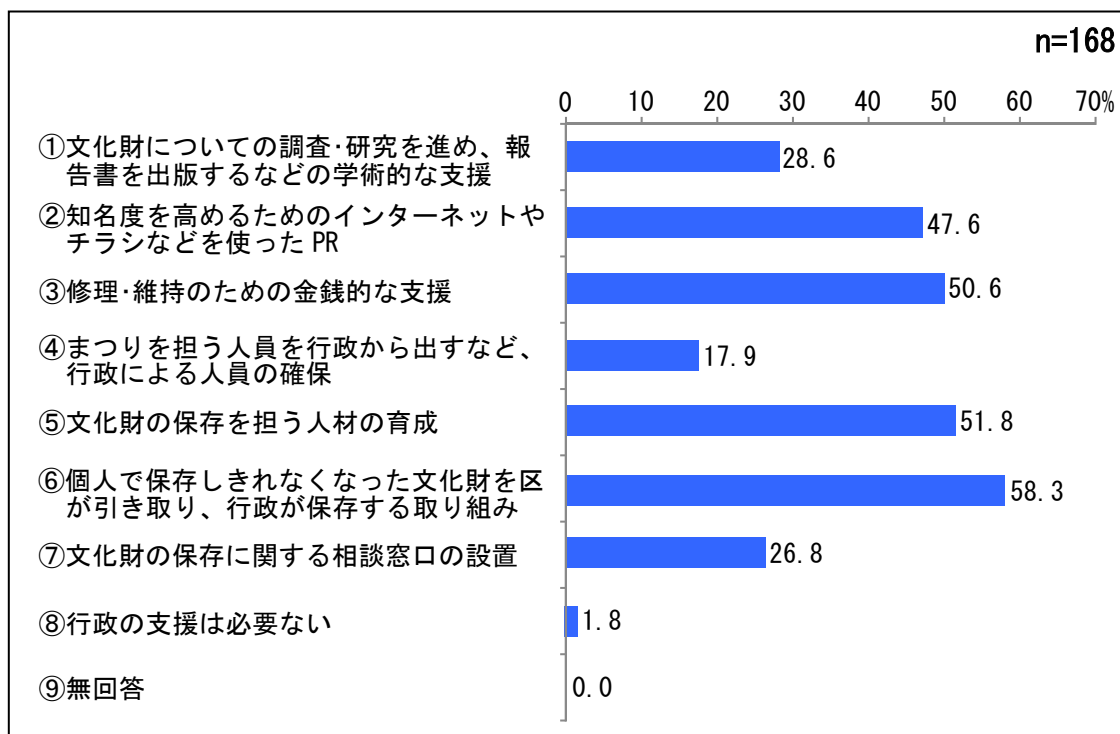


(4) 岡本公園民家園・次大夫堀公園民家園では『生きてる古民家』をテーマに、世田谷のかつての農村風景を再現するとともに、様々な体験型の事業を行っています。今後、民家園ではどのような取り組みに力を入れていくのが良いと思いますか。(〇は該当するもの全て)

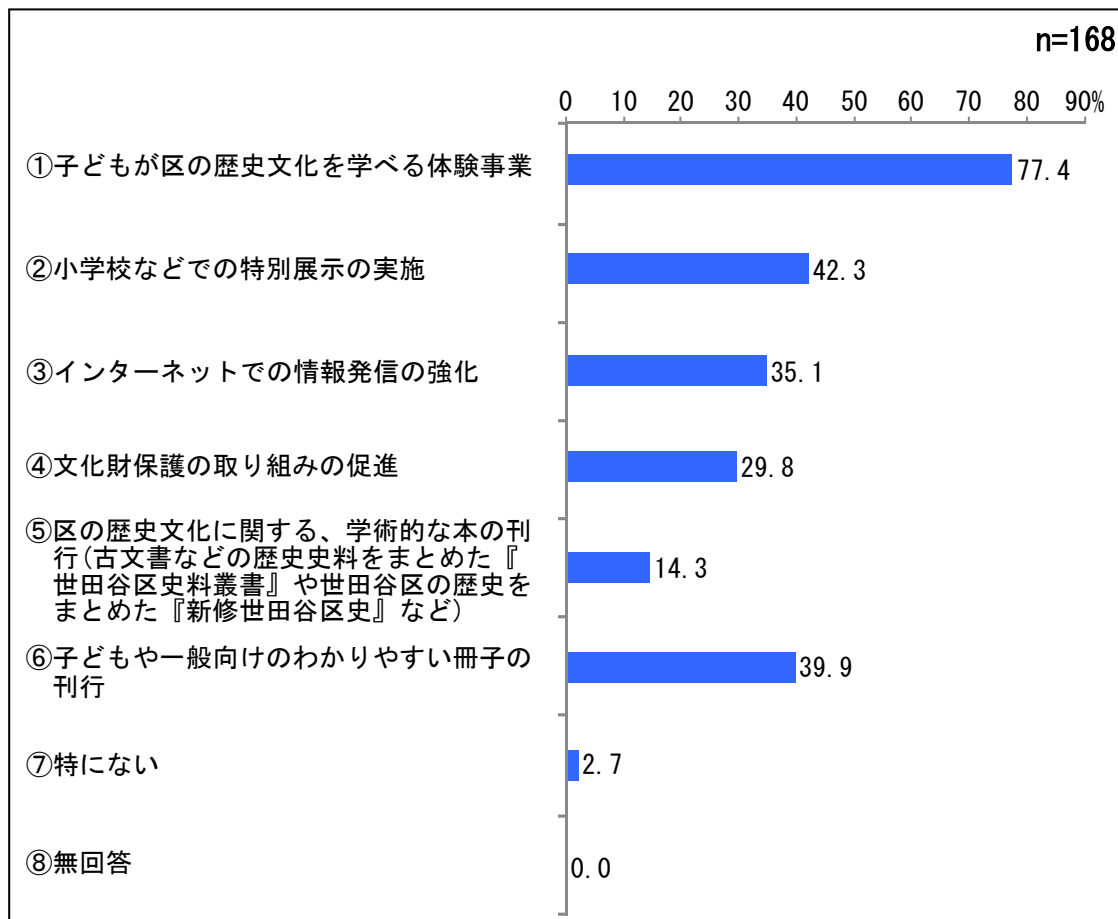


(5) 世田谷区内には、様々な文化財が存在しています。

文化財を地域で守っていくためには、行政はどのような支援をするべきだと思いますか。(〇は該当するもの全て)



(6) 世田谷区の歴史文化を次世代に伝えていくために、どのような取り組みが有効だと思いますか。(○は該当するもの全て)



資料6 世田谷区内社寺一覧

区内地域	寺院・神社	
世田谷地域	<ul style="list-style-type: none"> ・円泉寺 ・教学院 ・真龍庵 ・正蓮寺 ・常在寺 ・実相院 ・浄光寺 ・大吉寺 ・円光院 ・勝国寺 ・勝光院 ・常德院 ・成勝寺 ・久成院 ・浄立寺 ・福昌寺 ・光輪成院 ・西澄寺 ・教学院教会 ・世田谷山観音寺 ・龍雲寺 ・宗円寺 	<ul style="list-style-type: none"> ・感応寺 ・稲荷神社(池尻稲荷) ・栄珠稲荷神社 ・稲荷神社 ・三宿神社 ・太子堂八幡神社 ・伊勢丸稲荷神社 ・稲荷神社(福寿稲荷) ・北野神社(牛の天神) ・松陰神社 ・天祖神社 ・満桜稲荷神社 ・弦巻神社 ・八幡神社 ・世田谷八幡宮(宮坂の八幡様) ・稲荷森稲荷神社 ・太陽稲荷 ・稲荷神社(宇山神社) ・天祖神社(伊勢宮) ・駒繫神社(子の明神) ・稲荷神社(野沢稲荷) ・駒留八幡神社(若宮八幡)
北沢地域	<ul style="list-style-type: none"> ・満足院 ・念空寺 ・善性寺 ・豪徳寺 ・円乗院 ・森巖寺 ・龍王寺 ・真竜寺 ・永正寺 ・専光寺 ・妙楽寺 ・延重寺 ・勝林寺 ・正法寺 	<ul style="list-style-type: none"> ・常念寺 ・浄徳寺 ・三界寺 ・西福寺 ・密蔵院 ・八幡神社(代田八幡) ・稲荷神社(杓子稲荷) ・北沢八幡神社(北沢八幡宮) ・羽根木神社(北原の稲荷さん) ・稲荷神社(大原稲荷) ・菅原神社 ・松羽稲荷神社 ・六所神社 ・八幡神社(勝利八幡神社)

区内地域	寺院・神社	
玉川地域	<ul style="list-style-type: none"> ・浄行寺 ・大音寺 ・源照寺 ・妙光寺 ・究竟寺 ・浄真寺 ・伝乗寺 ・満願寺別院等々力不動尊 ・満願寺 ・専浄寺 ・金剛寺 ・覚願寺 ・善宗寺 ・善養寺 ・真福寺 ・無量寺 ・法徳寺 ・行善寺 ・慈眼寺 ・深澤神社 	<ul style="list-style-type: none"> ・玉川寺 ・玉真密院 ・大空閣寺 ・医王寺 ・善養院 ・東玉川神社 ・奥澤神社 ・宇佐神社 ・玉川神社(おくまんさま) ・天祖神社 ・稻荷神社 ・六所神社 ・諏訪神社 ・用賀神社 ・瀬田玉川神社(おみたけさん) ・瘡守稻荷神社 ・下山稻荷神社 ・稻荷神社(久富稻荷) ・稻荷神社(伊富稻荷)
砧地域	<ul style="list-style-type: none"> ・圓光寺 ・東覚院 ・善福寺 ・慶元寺 ・祖師谷観世音 ・船橋観音堂 ・宝性寺 ・慶元寺 ・宝寿院 ・知行院 ・吉祥院 ・常光寺 ・観音寺 ・長圓寺 ・円光寺 ・妙法寺 	<ul style="list-style-type: none"> ・永安寺 ・実相寺 ・耕雲寺 ・神明社 ・神明神社 ・稻荷神社 ・天神社 ・諏訪神社 ・須賀神社 ・氷川神社(※喜多見) ・氷川神社(※宇奈根) ・八幡神社 ・氷川神社(※大蔵) ・大六天社 ・三峯神社

区内地域	寺院・神社	
烏山地域	<ul style="list-style-type: none"> ・長徳寺 ・安穩寺 ・真光寺 ・給田観音堂 ・薬師堂(念仏堂) ・西蓮寺 ・常福寺 ・順正寺 ・妙揚寺 ・源良院 ・多聞院 ・常栄寺 ・源正寺 ・存明寺 ・妙祐寺 ・永隆寺 ・玄照寺 ・専光寺 ・永願寺 	<ul style="list-style-type: none"> ・高源院 ・乗満寺 ・入楽寺 ・幸龍寺 ・称往院 ・宗福寺 ・浄因寺 ・妙善寺 ・万福寺 ・善行寺 ・妙寿寺 ・妙高寺 ・光母寺 ・八幡社 ・神明社 ・八幡神社 ・六所神社 ・烏山神社

資料 7 指定文化財一覧

世田谷区登録・指定文化財一覧

NO	名称	指定区分	所在地 1	所在地 2	所有者等	年代	西暦
1	旧長崎家住宅	有形文化財(建造物)	岡本	2-19-1(区立岡本公園内)	世田谷区	18世紀末頃	
2	武家屋敷門	有形文化財(建造物)	岡本	1-3	多摩川テラス	江戸時代中期	
3	旧加藤家住宅主屋	有形文化財(建造物)	喜多見	5-27-14(区立次大夫堀公園内)	世田谷区	安政2年以前	1855以前
4	旧秋山家住宅土蔵	有形文化財(建造物)	喜多見	5-27-14(区立次大夫堀公園内)	世田谷区	文政13年頃	1830頃
5	勝光院書院	有形文化財(建造物)	桜	1-26-35	勝光院	文政6年	1823
6	喜多見水川神社石居居	有形文化財(建造物)	喜多見	4-26-1	水川神社	承応3年	1654
7	浄真寺三仏堂(上・中・下品堂)	有形文化財(建造物)	奥沢	7-41-3	浄真寺	元禄11年	1698
8	浄真寺仁門	有形文化財(建造物)	奥沢	7-41-3	浄真寺	寛政5年	1793
9	豪徳寺仏殿	有形文化財(建造物)	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	延宝5年	1677
10	旧谷岡家表門	有形文化財(建造物)	喜多見	5-27-14(区立次大夫堀公園内)	世田谷区	天保9年	1838
11	桜上水・八幡神社旧本殿	有形文化財(建造物)	桜上水	3-21-6	八幡神社	天明8年	1788
12	旧安藤家住宅	有形文化財(建造物)	喜多見	5-27-14(区立次大夫堀公園内)	世田谷区	天明8年頃	1834
13	大蔵水川神社本殿並びに棟札	有形文化財(建造物)	大蔵	6-6-7	水川神社	明暦2年～文政7年	1656～1824
14	齋田家住宅	有形文化財(建造物)	代田	3	個人	昭和9年	1934
15	旧小坂家住宅	有形文化財(建造物)	瀬田	4-41-21(区立瀬田四丁目旧小坂緑地)	世田谷区	昭和12年	1937
16	妙壽寺客殿	有形文化財(建造物)	北高山	5-15-1	妙壽寺	明治37年 昭和2年移築	1904・1927
17	東玉川神社社殿★	有形文化財(建造物)	東玉川	1-32-9	東玉川神社	昭和15年移築再建	1940
18	善養院本堂並びに庫裏★	有形文化財(建造物)	新町	2-5-12	善養院	本堂昭和10年・庫裏昭和12年	1935・1937
19	鈴木家住宅穀倉	有形文化財(建造物)	等々力	2	個人	明治8年	1875
20	志村家住宅	有形文化財(建造物)	成城	3	個人	昭和14年頃	1939頃
21	船橋観音堂厨子★	有形文化財(建造物)	船橋	1	個人		
22	代田八幡神社石居	有形文化財(建造物)	代田	3-57-1	八幡神社	天明5年	1785
23	旧清水家住宅書院★	有形文化財(建造物)	玉川	1-6	世田谷区	明治43年・大正8年移転	1910・1919
24	旧棚網家住宅板倉	有形文化財(建造物)	宇奈根	1-8-21(宇奈根考古資料室)	世田谷区	明治44年	1911
25	旧山田家住宅	有形文化財(建造物)	成城	(区立成城みつ池緑地)	世田谷区	昭和12年	1937
26	木造薬師如来立像	有形文化財(絵画・彫刻)	赤堤	3-28-29	西福寺	平安時代末期～鎌倉時代初期	
27	木造阿彌陀如来坐像	有形文化財(絵画・彫刻)	喜多見	5-3-10	宝寿院	平安時代末期～鎌倉時代初期	
28	木造十一面観音立像	有形文化財(絵画・彫刻)	宇奈根	2-24-2	観音寺	平安時代後期	
29	板絵青色大蔵水川神社奉納絵図	有形文化財(絵画・彫刻)	大蔵	6-6-7	水川神社	明治7年	1874
30	乾漆珂碩上人倚像	有形文化財(絵画・彫刻)	奥沢	7-41-3	浄真寺	元禄5年頃	1692頃
31	木造五劫思惟阿彌陀如来坐像	有形文化財(絵画・彫刻)	奥沢	7-41-3	浄真寺	宝永5年頃	1708頃
32	豪徳寺仏殿像	有形文化財(絵画・彫刻)	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	延宝5年	1677
33	遊芸人図屏風	有形文化財(絵画・彫刻)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	大場代官屋敷保存会	元禄年間頃	
34	勝國寺の木造薬師如来及脇侍日光菩薩立像	有形文化財(絵画・彫刻)	世田谷	4-27-4	勝國寺	室町時代	
35	知行院の木造十一面観音菩薩立像	有形文化財(絵画・彫刻)	喜多見	5-19-2	知行院	室町時代	
36	豪徳寺の梵鐘	有形文化財(工芸品)	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	延宝7年	1679
37	勝光院の梵鐘	有形文化財(工芸品)	桜	1-26-35	勝光院	元禄11年	1698
38	阿彌陀三尊種子板碑／阿彌陀一尊種子板碑	有形文化財(古文書)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	世田谷区	永徳元年・明徳2年	1381・1391
39	阿彌陀三尊種子板碑	有形文化財(古文書)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	世田谷区		
40	阿彌陀三尊種子板碑／阿彌陀三尊種子板碑	有形文化財(古文書)	上相師谷	6-12-1(上相師谷阿彌陀堂)	個人	文和4年・室町時代	1355・
41	阿彌陀三尊画像板碑	有形文化財(古文書)	深沢	1-40	個人	15世紀	
42	阿彌陀一尊画像板碑	有形文化財(古文書)	赤堤	3-28-29	西福寺	鎌倉時代	
43	旧荏原郡太子堂村名主森家文書	有形文化財(古文書)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	個人		1638～1943
44	旧多摩郡鎌田村名主橋本家文書	有形文化財(古文書)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	個人		1646～1907
45	旧荏原郡上野村名主田中家文書	有形文化財(古文書)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	個人		1594～1907
46	大平家文書	有形文化財(古文書)	等々力	7	個人	天文20年～天文6年	1551～1835
47	荏原小学校沿革誌(甲・乙号)	有形文化財(古文書)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	世田谷区	明治22年	1889
48	旧多摩郡船橋村名主鈴木家文書	有形文化財(古文書)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	個人	江戸時代	

世田谷区登録・指定文化財一覧

NO	名称	指定区分	所在地 1	所在地 2	所有者等	年代	西暦
49	旧荏原郡代田村名主齋田家文書	有形文化財(古文書)	代田	3	個人		
50	北条幻庵覚書	有形文化財(古文書)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	個人		
51	旧多摩郡大蔵村井山家文書	有形文化財(古文書)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	世田谷区		
52	石井家文書	有形文化財(古文書)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	個人	江戸～明治期	
53	宇津木家文書	有形文化財(古文書)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	個人	文禄元年～昭和10年	1592～1935
54	旧奥沢村原家文書★	有形文化財(古文書)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	個人	元文元年～大正8年	1736～1919
55	稲荷塚古墳出土品	有形文化財(考古資料)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	世田谷区	7世紀初頭	
56	八幡塚古墳北主体部出土品	有形文化財(考古資料)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	世田谷区	古墳時代中期～後期	
57	喜多見中通遺跡出土馬具	有形文化財(考古資料)	宇奈根	1-8-21(宇奈根考古資料室)	世田谷区	古墳時代中期5世紀中頃	
58	榎木遺跡出土の縄文時代遺物一括	有形文化財(考古資料)	宇奈根	1-8-21(宇奈根考古資料室)	世田谷区		
59	瀬田遺跡環濠出土の古墳時代土器一括	有形文化財(考古資料)	宇奈根	1-8-21(宇奈根考古資料室)	世田谷区	古墳時代前期の3世紀後半	
60	瀬田遺跡環濠出土の注口土器	有形文化財(考古資料)	宇奈根	1-8-21(宇奈根考古資料室)	世田谷区	縄文時代晩期	
61	奥沢谷遺跡出土の注口土器	有形文化財(考古資料)	宇奈根	1-8-21(宇奈根考古資料室)	世田谷区	縄文時代後期	
62	円葉院遺跡出土の弥生土器一括	有形文化財(考古資料)	宇奈根	1-8-21(宇奈根考古資料室)	世田谷区	弥生時代後期	
63	斎藤寛斎関係史料	有形文化財(歴史資料)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	個人	明治時代	
64	井伊直弼画像	有形文化財(歴史資料)	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	明治中期頃	
65	木造岡本黄石正座像	有形文化財(歴史資料)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	豪徳寺	明治16年	1883
66	旧荏原郡用賀村名主飯田家関係資料	有形文化財(歴史資料)	世田谷	1-29-18(区立郷土資料館)	個人	万治4年～昭和33年	1661～1958
67	有栖川宮幟仁親王原書「攻玉」木額★	有形文化財(歴史資料)	中町	2-29-1(区立玉川小学校)	世田谷区	明治15年	1882
68	井伊直弼銅像	有形文化財(歴史資料)	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	明治40～41年	1907～1908
69	山岡鐵舟書「深澤豊」扁額★	有形文化財(歴史資料)	新町	1-4-24(区立深沢小学校)	世田谷区	明治初期	
70	旧浦野家土蔵	有形民俗文化財	岡本	2-19-1(区立岡本公園民家園内)	世田谷区	嘉永～安政年間頃	1848～59頃
71	旧城田家住宅主屋	有形民俗文化財	喜多見	5-27-14(区立次次大夫堀公園民家園)	世田谷区	弘化3年以前	1846以前
72	須賀神社の湯花神事	無形民俗文化財(風俗慣習)			須賀神社		
73	喜多見のまむしよけ	無形民俗文化財(風俗慣習)			喜多見 高藤家		
74	喜多見慶元寺双盤念仏行事	無形民俗文化財(風俗慣習)			喜多見 双盤念仏講		
75	森藤寺の針供養	無形民俗文化財(風俗慣習)			森藤寺		
76	喜多見氷川神社の節分祭行事と神前神楽	無形民俗文化財(民俗芸能)			喜多見 楽友会		
77	代田餅搗き	無形民俗文化財(民俗芸能)			三士代会		
78	粘中学校古墳群 4号墳	史跡	成城	1-10-1(区立粘中学校)	世田谷区	5世紀中頃	
79	稲荷塚古墳	史跡	喜多見	4-7(区立稲荷塚古墳緑地)	世田谷区	7世紀初頭	
80	第六天塚古墳	史跡	喜多見	4-3	世田谷区	6世紀前半	
81	常盤塚	史跡	上馬	5-30-19	個人		
82	奥沢城跡	史跡	奥沢	7-41-3	浄真寺	16世紀	
83	上野毛稲荷塚古墳	史跡	上野毛	2-12(区立上野毛2丁目緑地)	世田谷区	4世紀後半	
84	喜多見氏(江戸氏)墓所	史跡	喜多見	4-17-1	慶元寺		
85	吉良氏墓所	史跡	桜	1-26-35	勝光院		
86	柱太郎墓	史跡	若林	4-35	個人	大正3年	1914

★…登録のみ

国・都登録・指定文化財一覧

番号	種類	名称	所在地1	所在地2	所有者
1	重要文化財(建造物)	大塚家住宅主屋及び表門	世田谷	1-29-18	大塚代官屋敷保存会
2	重要文化財(彫刻)	木造不動明王及八大童子像	下馬	4-9-4	世田谷山観音寺
3	重要文化財(考古資料)	東京都野毛大塚古墳出土品	世田谷	1-29-18	区立郷土資料館
4	国史跡	細井広沢墓	等々力	3-15-1	満願寺
5	国史跡	彦根藩主井伊家墓所	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺
6	国史跡	五川上水	大原	2-13ほか	東京都
7	都指定有形文化財(建造物)	武家屋敷門	下馬	2-11-6	西澄寺
8	都指定有形文化財(絵画彫刻)	木造五百羅漢坐像	下馬	4-9-4	世田谷山観音寺
9	都指定有形文化財(絵画彫刻)	絹本着色阿彌上人像	奥沢	7-41-3	浄真寺
10	都指定有形文化財(絵画彫刻)	木造阿彌陀如来(九品)坐像及び釈迦如来坐像	奥沢	7-41-3	浄真寺
11	都指定有形文化財(絵画彫刻)	木造阿彌上人坐像	奥沢	7-41-3	浄真寺
12	都指定有形文化財(工芸品)	笄纏	奥沢	7-41-3	浄真寺
13	都指定有形文化財(工芸品・考古資料)	七鎧鏡	等々力	3-15-1	満願寺
14	都指定有形文化財(古文書)	大塚氏文書記録	世田谷	1-29-18	大塚代官屋敷保存会
15	都指定無形民俗文化財(民俗芸能)	浄真寺の二十五菩薩縁供養	奥沢	7-41-3	浄真寺
16	都指定無形民俗文化財(風俗慣習)	世田谷のボロ市	世田谷	1	世田谷ボロ市保存会
17	都指定無形民俗文化財(風俗慣習)	奥沢神社の大蛇のお練り行事	奥沢	5-22-1	奥沢神社氏子中
18	都指定史跡	世田谷代官屋敷	世田谷	1-29-18	大塚代官屋敷保存会
19	都指定史跡	野毛大塚古墳	野毛	1-25	世田谷区
20	都指定史跡	等々力溪谷三号横穴	等々力	1-22	世田谷区
21	都指定史跡	御岳山古墳	等々力	1-18	満願寺
22	都指定史跡	徳富蘆花旧宅	粕谷	1-20-1	東京都
23	都指定旧跡	世田谷城跡	豪徳寺	2	世田谷区・豪徳寺・都住宅供給公社
24	都指定旧跡	伊勢貞丈墓	世田谷	4-7-9	大吉寺
25	都指定旧跡	広沢貞臣墓	若林	4-35-1	松陰神社
26	都指定旧跡	喜多川歌麿墓	北高山	4-28-1	尊光寺
27	都指定名勝	等々力溪谷	等々力、中野、野毛		世田谷区・満願寺
28	都指定天然記念物	九品仏のカヤ	奥沢	7-41-3	浄真寺
29	都指定天然記念物	上野毛のコブシ	上野毛	3-9-25	五島美術館
30	都指定天然記念物	九品仏のイチヨウ	奥沢	7-41-3	浄真寺
31	都指定天然記念物	善養寺のカヤ	野毛	2-7-11	善養寺
32	都指定天然記念物	桜小学校のオオアカガシ	世田谷	2-4-15	世田谷区
33	国登録有形文化財(建造物)	H家住宅	三宿	1	個人
34	国登録有形文化財(建造物)	H家住宅	代田	6	個人
35	国登録有形文化財(建造物)	日本基督教団富士見丘教会	代沢	2-32-2	日本基督教団富士見丘教会
36	国登録有形文化財(建造物)	S家住宅主屋	下馬	6	個人
37	国登録有形文化財(建造物)	I家住宅主屋	桜	1	個人
38	国登録有形文化財(建造物)	S家住宅門及び石垣	成城	3	個人
39	国登録有形文化財(建造物)	K家住宅主屋	成城	3	個人
40	国登録有形文化財(建造物)	T家住宅主屋	砧	8	個人
41	国登録有形文化財(建造物)	T家住宅門	砧	8	個人
42	国登録有形文化財(建造物)	T家住宅石垣	砧	8	個人
43	国登録有形文化財(建造物)	T家住宅水運池	砧	8	個人
44	国登録有形文化財(建造物)	日本学園一号館	松原	2-7-34	学校法人日本学園
45	国登録有形文化財(建造物)	K家住宅主屋	梅丘	1	個人
46	国登録有形文化財(建造物)	K家住宅離れ	梅丘	1	個人
47	国登録有形文化財(建造物)	K家住宅門及び塀	梅丘	1	個人
48	国登録有形文化財(建造物)	柳澤家住宅主屋	大原	1-26-1	一般財団法人柳澤君江文化財団
49	国登録有形文化財(建造物)	A家住宅主屋	粕谷	2	個人
50	国登録有形文化財(建造物)	A家住宅土蔵	粕谷	2	個人

資料8 文化財リスト

NO	名称	所在地 1	所在地 2	所有者	建築年代	西暦	備考	出典
1	西澄寺薬師堂	下馬	2-11-6	西澄寺	昭和2年	1927		世田谷区社寺史料第二集 建築編
2	西澄寺書院	下馬	2-11-6	西澄寺	明治期か		伝旧西園寺公邸	世田谷区社寺史料第二集 建築編
3	教学院不動堂	太子堂	4-15-1	教学院	化政期から天保期頃			世田谷区社寺史料第二集 建築編
4	森蔵寺淡島堂	代沢	3-27-1	森蔵寺	天保7年	1836		世田谷区社寺史料第二集 建築編
5	感心寺待合及び茶席(小間)	上馬	4-30-1	感心寺				世田谷区社寺史料第二集 建築編
6	感心寺茶席(広間)	上馬	4-30-1	感心寺	元治元年	1864		世田谷区社寺史料第二集 建築編
7	勝院寺白山堂	世田谷	4-27-4	勝院寺	江戸時代中期			世田谷区社寺史料第二集 建築編
8	常徳院本堂	宮坂	2-1-11	常徳院	文化・文政期以前			世田谷区社寺史料第二集 建築編
9	常徳院鐘樓	宮坂	2-1-11	常徳院	天保5年	1834		世田谷区社寺史料第二集 建築編 / 勝光院文化財総合調査報告
10	勝光院本堂	桜	1-26-35	勝光院	天保5年	1834		勝光院文化財総合調査報告
11	勝光院庫裡	桜	1-26-35	勝光院	天保5年	1834		世田谷区社寺史料第二集 建築編
12	西福寺本堂	赤塚	3-28-29	西福寺	文化元年	1804		世田谷区社寺史料第二集 建築編
13	密蔵院百観音堂	桜上水	2-24-6	密蔵院	享保頃			世田谷区社寺史料第二集 建築編
14	幸龍寺大書院	北烏山	5-8-1	幸龍寺	明治後期(推定)		昭和初期に移築	世田谷区社寺史料第二集 建築編
15	妙高寺書院	北烏山	6-23-1	妙高寺	明治初期(推定)		昭和初期に移築	世田谷区社寺史料第二集 建築編
16	安禪寺山門	上祖師谷	2-3-6	安禪寺	18世紀中頃(推定)			世田谷区社寺史料第二集 建築編
17	祖師谷観音堂	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	18世紀初頃(推定)			世田谷区社寺史料第二集 建築編
18	祖師谷観音堂 薬師堂	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	享保11年頃	1766		世田谷区社寺史料第二集 建築編
19	慶元寺本堂	喜多見	4-17-1	慶元寺	享保元年	1716		世田谷区社寺史料第二集 建築編
20	慶元寺山門	喜多見	4-17-1	慶元寺	宝暦5年	1755		世田谷区社寺史料第二集 建築編
21	慶元寺鐘樓	喜多見	4-17-1	慶元寺	宝暦年間			世田谷区社寺史料第二集 建築編
22	知行院山門	喜多見	5-19-2	知行院	明治3年	1766	昭和32年頃火災により修理	世田谷区社寺史料第二集 建築編
23	宝寿院本堂	喜多見	5-13-10	宝寿院	寛延3年	1750		世田谷区社寺史料第二集 建築編
24	宝寿院庫裡	喜多見	5-13-10	宝寿院	寛延3年	1750		世田谷区社寺史料第二集 建築編
25	宝寿院山門	喜多見	5-13-10	宝寿院	嘉永2年	1849		世田谷区社寺史料第二集 建築編
26	永安寺本堂	大蔵	6-4-1	永安寺	享保2年	1742		世田谷区社寺史料第二集 建築編
27	永安寺山門	大蔵	6-4-1	永安寺	享保7年	1722		世田谷区社寺史料第二集 建築編
28	吉祥院地蔵堂	鎌田	4-11-18	吉祥院	安政元年	1854		世田谷区社寺史料第二集 建築編
29	無量寺観音堂	用賀	4-20-1	無量寺	天保元年	1830		世田谷区社寺史料第二集 建築編
30	真福寺本堂	用賀	4-14-4	真福寺	文政年間以降			世田谷区社寺史料第二集 建築編
31	行善寺山門	瀬田	1-12-23	行善寺	江戸時代末期(推定)			世田谷区社寺史料第二集 建築編
32	寛福寺本堂	上野毛	2-15-15	寛福寺	天保3年	1832		世田谷区社寺史料第二集 建築編
33	寛福寺観音堂	上野毛	2-15-15	寛福寺	天保12年	1841		世田谷区社寺史料第二集 建築編
34	医王寺薬師堂	深沢	6-14-2	医王寺	宝永8年	1707		世田谷区社寺史料第二集 建築編
35	伝乗寺山門	尾山台	2-10-3	伝乗寺	江戸時代後期(推定)			世田谷区社寺史料第二集 建築編
36	豪徳寺表門	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	明治17年			豪徳寺文化財総合調査報告
37	豪徳寺鐘樓	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	文化・文政期以前			豪徳寺文化財総合調査報告
38	豪徳寺赤門	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	明治18年			豪徳寺文化財総合調査報告
39	豪徳寺書院	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	江戸時代末期頃			豪徳寺文化財総合調査報告
40	浄真寺本堂	奥沢	7-41-3	浄真寺	元禄11年	1698		浄真寺文化財総合調査報告
41	浄真寺鐘樓	奥沢	7-41-3	浄真寺	文政年間以前			浄真寺文化財総合調査報告
42	観音堂(興澤神社旧々本殿)	奥沢	7-41-3	浄真寺	天保~江戸時代末期			浄真寺文化財総合調査報告
43	五社様(興澤神社旧本殿)	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代末期			浄真寺文化財総合調査報告
44	本殿	野沢	2-2-13	稻荷神社(野沢)	明治33年	1900		世田谷区社寺史料第二集 建築編
45	旧本殿	世田谷	1-23-5	天祖神社	天保7年	1836		世田谷区社寺史料第二集 建築編
46	本殿	宮坂	1-26-3	世田谷八幡宮	文政8年	1825		世田谷区社寺史料第二集 建築編
47	石鳥居	宮坂	1-26-3	世田谷八幡宮	文化14年	1817		世田谷区社寺史料第二集 建築編
48	稻荷神社社殿	桜上水	3-21-6	八幡神社(桜上水)	文政7年	1860		世田谷区社寺史料第二集 建築編
49	本社	大蔵	6-6-7	水川神社	文政3年	1820		世田谷区社寺史料第二集 建築編
50	社殿	鎌田	4-11-19	天神社(鎌田)	嘉永元年~慶応元年	1846~1865		世田谷区社寺史料第二集 建築編

NO	名称	所在地 1	所在地 2	所有者	建築年代	西暦	備考	出典
51	本殿	鎌田	4-11-19	天神社(鎌田)	江戸時代末期以降			世田谷区社寺史料第二集 建築編
52	八幡宮社殿	岡本	2-21-2	八幡神社(岡本)	江戸時代末期			世田谷区社寺史料第二集 建築編
53	天満宮	岡本	2-21-2	八幡神社(岡本)	不明			世田谷区社寺史料第二集 建築編
54	愛宕宮	岡本	2-21-2	八幡神社(岡本)	文久4年	1864		世田谷区社寺史料第二集 建築編
55	仙元宮	岡本	2-21-2	八幡神社(岡本)	文久4年	1864		世田谷区社寺史料第二集 建築編
56	三峯宮	岡本	2-21-2	八幡神社(岡本)	明治20年			世田谷区社寺史料第二集 建築編
57	拜殿	玉川	3-26-5	諏訪神社(玉川)	江戸時代後期			世田谷区社寺史料第二集 建築編
58	本殿	野沢	2-2-13	稻荷神社(野沢)	明治33年	1900		世田谷区社寺史料第二集 建築編
59	旧本殿	世田谷	1-23-5	稻荷神社	天保7年	1836		世田谷区社寺史料第二集 建築編
60	本殿	宮坂	1-26-3	世田谷八幡宮	文政8年	1825		世田谷区社寺史料第二集 建築編
61	石鳥居	宮坂	1-26-3	世田谷八幡宮	文化14年	1817		世田谷区社寺史料第二集 建築編
62	稻荷神社社殿	桜上水	3-21-6	八幡神社(桜上水)	文政7年	1860		世田谷区社寺史料第二集 建築編
63	本社	大蔵	6-6-7	永川神社	文政3年	1820		世田谷区社寺史料第二集 建築編
64	社殿	鎌田	4-11-19	天神社(鎌田)	嘉永元年~慶応元年	1846~1865		世田谷区社寺史料第二集 建築編
65	本殿	鎌田	4-11-19	天神社(鎌田)	江戸時代末期以降			世田谷区社寺史料第二集 建築編
66	八幡宮社殿	岡本	2-21-2	八幡神社(岡本)	江戸時代末期			世田谷区社寺史料第二集 建築編
67	天満宮	岡本	2-21-2	八幡神社(岡本)	不明			世田谷区社寺史料第二集 建築編
68	愛宕宮	岡本	2-21-2	八幡神社(岡本)	文久4年	1864		世田谷区社寺史料第二集 建築編
69	仙元宮	岡本	2-21-2	八幡神社(岡本)	文久4年	1864		世田谷区社寺史料第二集 建築編
70	三峯宮	岡本	2-21-2	八幡神社(岡本)	明治20年			世田谷区社寺史料第二集 建築編
71	拜殿	玉川	3-26-5	諏訪神社(玉川)	江戸時代後期			世田谷区社寺史料第二集 建築編

NO	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
1	絵馬(扁額)	一面	深沢	6-14-2	医王寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
2	宇佐神社境内図扁額	一面	尾山台	2-11-3	宇佐神社(尾山台)	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
3	不動明王像	一幅	大蔵	6-4-1	永安寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
4	浄土七高僧像	一幅	北烏山	4-29-1	永願寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
5	聖徳太子像	一幅	北烏山	4-29-1	永願寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
6	教如上人像	一幅	北烏山	4-29-1	永願寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
7	親鸞上人像	一幅	北烏山	4-29-1	永願寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
8	親鸞上人像	一幅	松原	5-43-5	延重寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
9	本如上人像	一幅	松原	5-43-5	延重寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
10	築地御坊御上棟儀式之図	一面	松原	5-43-5	延重寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
11	竹林七賢図	一面	代田	2-17-3	円乘院	江戸時代~明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
12	十三仏・真言八祖像	三幅	太子堂	3-30-8	円泉寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
13	弘法大師像	一幅	鎌田	4-11-18	吉祥院	室町時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
14	六字経曼荼羅図	一幅	鎌田	4-11-18	吉祥院	室町時代~江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
15	雲龍図	一幅	太子堂	4-15-1	教学院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
16	達磨図	一幅	太子堂	4-15-1	教学院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
17	杉戸絵	四幅	太子堂	4-15-1	教学院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
18	当麻曼荼羅図	一幅	太子堂	4-15-1	教学院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
19	涅槃図	一幅	太子堂	4-15-1	教学院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
20	涅槃図	一幅	太子堂	4-15-1	教学院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
21	十三仏図	一幅	桜丘	4-13-4	久成院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
22	当麻曼荼羅図	一幅	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
23	涅槃図	一幅	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
24	閻魔王図	一幅	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
25	聖徳太子像	一幅	北烏山	4-14-1	源正寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
26	浄土七高僧像	一幅	北烏山	4-14-1	源正寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
27	蓮如上人像	一幅	北烏山	4-14-1	源正寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
28	蓮如上人像	一幅	北烏山	4-10-1	源良院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
29	清正出陣図扁額	七十八面	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
30	天井板絵	一面	北烏山	5-8-1	幸龍寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
31	童子読書手習図扁額	四幅	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
32	大書院杉戸絵・草花図	二面	北烏山	5-8-1	幸龍寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
33	大書院杉戸絵・草花図	二面	北烏山	5-8-1	幸龍寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
34	大書院杉戸絵・草花図	二面	北烏山	5-8-1	幸龍寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
35	大書院杉戸絵・白鷺図	二面	北烏山	5-8-1	幸龍寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
36	大書院杉戸絵・虎図	二面	北烏山	5-8-1	幸龍寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
37	大書院杉戸絵・草花図	二面	北烏山	5-8-1	幸龍寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
38	大書院杉戸絵・麒麟図	二面	北烏山	5-8-1	幸龍寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
39	大書院杉戸絵・波濤図	二面	北烏山	5-8-1	幸龍寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
40	大書院杉戸絵・鳳凰図	二面	北烏山	5-8-1	幸龍寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
41	大書院杉戸絵・白鷺図	二面	北烏山	5-8-1	幸龍寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
42	愛染明王像	一幅	中町	2-20-11	金剛寺	室町時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
43	狩場明神像	一幅	中町	2-20-11	金剛寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
44	一如上人像	一幅	北烏山	2-7-1	西蓮寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編

NO	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
46	親鸞上人像	一幅	砧	2-10-11	実相寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
47	浄土七高僧像	一幅	砧	2-10-11	実相寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
48	聖徳太子像	一幅	砧	2-10-11	実相寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
49	親鸞上人像		北烏山	5-11-1	浄因寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
50	浄土七高僧像		北烏山	5-11-1	浄因寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
51	広如上人像		北烏山	5-11-1	浄因寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
52	花鳥図扁額	一面	若林	4-35-1	松陰神社	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
53	築地本願寺図	横一枚	北烏山	4-13-1	常栄寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
54	花鳥図	対幅	北烏山	5-9-1	称往院	室町時代～桃山時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
55	龍虎図屏風	六曲一雙	北烏山	5-9-1	称往院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
56	圓光大師入滅図	一幅	北烏山	5-9-1	称往院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
57	高祖道元禪師行跡図	二幅一對	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
58	涅槃図	一幅	桜	1-26-35	勝光院	元禄4年	1691	勝光院文化財総合調査報告
59	杉戸絵・雪嵩図	四面	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
60	杉戸絵・蓮池図	四面	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
61	勝光院建形図版木	一面	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
62	千手観音図版木	一面	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
63	狐の嫁入り図	一面	桜	1-26-35	勝光院	明治40年	1907	勝光院文化財総合調査報告
64	釈迦十六善神画像	一幅	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
65	釈迦如来坐像	一幅	桜	1-26-35	勝光院	文化6年	1809	勝光院文化財総合調査報告
66	観音図	一幅	桜	1-26-35	勝光院	寛政12年	1800	勝光院文化財総合調査報告
67	行列図写し		桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
68	天井板絵	一一八面	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代～明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
69	駿馬図	双幅	宇奈根	2-21-2	常光寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
70	涅槃図	一軀	世田谷	4-27-4	勝国寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
71	波瀾目扁額	一面	弦巻	1-34-17	常在寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
72	扁額	一面	弦巻	1-34-17	常在寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
73	親鸞上人像	一幅	宮坂	2-24-5	成勝寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
74	聖徳太子像	一幅	宮坂	2-24-5	成勝寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
75	浄土七高僧像	一幅	宮坂	2-24-5	成勝寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
76	准如上人像	一幅	宮坂	2-24-5	成勝寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
77	良如上人像	一幅	宮坂	2-24-5	成勝寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
78	寂如上人像	一幅	宮坂	2-24-5	成勝寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
79	本如上人像	一幅	宮坂	2-24-5	成勝寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
80	文如上人像	一幅	宮坂	2-24-5	成勝寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
81	福祿寿図	一幅	宮坂	2-24-5	成勝寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
82	山水図	一幅	宮坂	2-24-5	成勝寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
83	親鸞上人絵伝	四幅	宮坂	2-24-5	成勝寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
84	阿弥陀如来像	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
85	阿弥陀三尊・四明王図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
86	阿弥陀如来像	一幀	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
87	阿弥陀来迎図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
88	阿弥陀二十五菩薩来迎図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	室町時代		浄真寺文化財総合調査報告
89	阿弥陀二十五菩薩来迎図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
90	阿弥陀三尊来迎図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告

NO	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
91	山越阿弥陀図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
92	阿弥陀三尊像	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
93	阿弥陀・浄土二相像	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
94	阿弥陀・浄土二相像	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
95	当麻曇荼羅図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
96	無量寿経曼荼羅図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
97	二河白道図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
98	円光大師入滅図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
99	法然上人絵伝	十七幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	文政4年	1821	浄真寺文化財総合調査報告
100	釈迦三尊図	三幅対	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
101	出山釈迦図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
102	文殊菩薩像	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
103	涅槃図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
104	羅漢図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
105	毘沙門天像	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	室町時代		浄真寺文化財総合調査報告
106	観音・不動・地藏図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺			浄真寺文化財総合調査報告
107	寧ろ大仏連絶図像記	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	嘉永7年	1854	浄真寺文化財総合調査報告
108	珂碩上人像	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
109	珂碩上人像	一幀	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
110	珂碩上人像	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
111	珂山大誓上人像	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
112	善導・法然上人像	二幅対	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
113	法然上人像	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
114	良忠上人像	一幀	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
115	高僧像	四幅対	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
116	一休宗純像	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
117	伝吉良氏像	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
118	陶淵明帰去来図	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	明時代		浄真寺文化財総合調査報告
119	雲龍図	二幅対	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
120	高士像	一幅	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
121	山水図巻	一卷	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
122	雲龍図	一	奥沢	7-41-3	浄真寺	大正9年	1920	浄真寺文化財総合調査報告
123	天井板絵	一四三面	宮坂	2-1-11	常徳院	江戸時代～明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
124	親鸞上人像	一	松原	5-46-11	浄徳寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
125	蓮如上人像	一	松原	5-46-11	浄徳寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
126	親鸞上人像	一幅	松原	5-46-8	常念寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
127	広如上人像	一幅	松原	5-46-8	常念寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
128	親鸞上人像	一幅	松原	5-43-30	正法寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
129	聖徳太子像	一幅	松原	5-43-30	正法寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
130	浄土七高僧像	一幅	松原	5-43-30	正法寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
131	良如上人像	一幅	松原	5-43-30	正法寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
132	玄奘法師像	一幅	松原	5-43-30	正法寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
133	布袋図	一幅	松原	5-43-30	正法寺	江戸時代～明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
134	猿田彦像	一点	松原	5-43-30	正法寺	江戸時代～明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
135	鯉魚図	一点	松原	5-43-30	正法寺	江戸時代～明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編

NO	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
136	山彦海彦図	一点	松原	5-43-30	正法寺	江戸時代～明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
137	人物図	一点	松原	5-43-30	正法寺	江戸時代～明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
138	永濯美人図下絵	一点	松原	5-43-30	正法寺	江戸時代～明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
139	雲龍図扁額	一幅	松原	5-43-30	正法寺	明治時代以後		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
140	虎溪三笑図	一幅	松原	5-43-30	正法寺	大正時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
141	元禄美人図	一幅	松原	5-43-30	正法寺	明治時代以後		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
142	童子図	四枚	松原	5-43-30	正法寺	昭和4年	1929	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
143	遊樂図	小襖二面	松原	5-43-30	正法寺	昭和4年	1929	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
144	親鸞上人像	一幅	北烏山	5-7-1	乗満寺	桃山時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
145	浄土七高僧像	一幅	北烏山	5-7-1	乗満寺	桃山時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
146	聖徳太子像	一幅	北烏山	5-7-1	乗満寺	桃山時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
147	受然像	一幅	北烏山	5-7-1	乗満寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
148	親鸞上人像	一幅	松原	5-43-8	勝林寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
149	蓮如上人像	一幅	松原	5-43-8	勝林寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
150	親鸞上人像	一幅	三軒茶屋	1-10-11	正蓮寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
151	親鸞上人像	一幅	北烏山	5-14-1	善行寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
152	浄土七高僧像	一幅	北烏山	5-14-1	善行寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
153	聖徳太子像	—	北烏山	5-14-1	善行寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
154	蓮如上人像	—	北烏山	5-14-1	善行寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
155	聖徳太子像	一幅	上野毛	4-25-7	善宗寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
156	方便法身像	一幅	上野毛	4-25-7	善宗寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
157	涅槃図	一幅	上野毛	2-7-11	善養寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
158	涅槃図	一幅	上野毛	4-25-7	善宗寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
159	涅槃図	一幅	上野毛	4-25-7	善宗寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
160	親鸞上人像	一幅	北烏山	4-15-1	存明寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
161	浄土七高僧像	一幅	北烏山	4-15-1	存明寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
162	聖徳太子像	一幅	北烏山	4-15-1	存明寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
163	方便法身像	一幅	北烏山	4-15-1	存明寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
164	親鸞上人像	一幅	北烏山	4-15-1	存明寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
165	蓮如上人像	一幅	北烏山	4-15-1	存明寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
166	善光寺三尊像	一幅	喜多見	5-19-2	知行院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
167	涅槃図	—	喜多見	5-19-2	知行院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
168	蛇退治神楽図扁額	一面	鎌田	4-11-19	天神社(鎌田)	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
169	天岩戸図扁額	一面	大蔵	6-6-7	水川神社(大蔵)	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
170	宇治川先陣争図扁額	一面	大蔵	6-6-7	水川神社(大蔵)	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
171	蓮如上人像	一幅	北烏山	5-13-1	万福寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
172	親鸞上人像	—	北烏山	5-13-1	万福寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
173	十三仏	一幅	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
174	弘法大師像	一幅	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
175	興教大師像	一幅	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
176	十三仏	一幅	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
177	弘法大師像	一幅	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
178	興教大師像	一幅	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
179	涅槃図	一幅	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
180	参詣図屏風	六曲一双	北烏山	6-23-1	妙高寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編

NO	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
181	覚如文如連坐像	一幅	北烏山	5-12-1	妙善寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
182	本如上人像	一幅	北烏山	5-12-1	妙善寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
183	湛如上人像	一幅	北烏山	5-12-1	妙善寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
184	親鸞上人絵伝	四幅	北烏山	5-12-1	妙善寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
185	浄土七高僧像	一幅	北烏山	4-16-1	妙祐寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
186	聖徳太子像	一幅	北烏山	4-16-1	妙祐寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
187	方便法身像	一幅	北烏山	4-16-1	妙祐寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
188	親鸞上人絵伝	四幅	北烏山	4-16-1	妙祐寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編

No	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
1	不動明王立像	一躯	松原	4-13-9	赤松不動	昭和12年	1937	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
2	不動明王坐像	一躯	松原	4-13-9	赤松不動	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
3	不動明王立像	一躯	松原	4-13-9	赤松不動	昭和時代初期か		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
4	大日如来坐像	一躯	上祖師谷	2-3-6	安禊寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
5	弘法大師坐像	一躯	上祖師谷	2-3-6	安禊寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
6	興教大師坐像	一躯	上祖師谷	2-3-6	安禊寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
7	兩宝童子立像	一躯	上祖師谷	2-3-6	安禊寺	天明7年	1787	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
8	大日如来坐像	一躯	深沢	6-14-2	医王寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
9	薬師如来坐像	一躯	深沢	6-14-2	医王寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
10	日光菩薩立像	一躯	深沢	6-14-2	医王寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
11	月光菩薩立像	一躯	深沢	6-14-2	医王寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
12	天台大師坐像	一躯	大蔵	6-4-1	永安寺	文化13年	1816	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
13	伝教大師坐像	一躯	大蔵	6-4-1	永安寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
14	薬師如来坐像	一躯	大蔵	6-4-1	永安寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
15	阿弥陀如来坐像	一躯	大蔵	6-4-1	永安寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
16	十一面観音菩薩坐像	一躯	大蔵	6-4-1	永安寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
17	不動明王立像	一躯	大蔵	6-4-1	永安寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
18	狩羯羅童子立像	一躯	大蔵	6-4-1	永安寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
19	制吒迦童子立像	一躯	大蔵	6-4-1	永安寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
20	阿弥陀如来立像	一躯	北烏山	4-29-1	永願寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
21	日蓮上人坐像	一躯	北烏山	4-17-1	永隆寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
22	日隆上人坐像	一躯	北烏山	4-17-1	永隆寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
23	大黒天立像(一)	一躯	北烏山	4-17-1	永隆寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
24	大黒天立像(二)	一躯	北烏山	4-17-1	永隆寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
25	訶利帝母立像	一躯	北烏山	4-17-1	永隆寺	明治時代か		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
26	不動明王立像	一躯	世田谷	4-7-12	円光院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
27	狩羯羅童子	一躯	世田谷	4-7-12	円光院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
28	制吒迦童子	一躯	世田谷	4-7-12	円光院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
29	弘法大師坐像	一躯	世田谷	4-7-12	円光院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
30	興教大師坐像	一躯	世田谷	4-7-12	円光院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
31	如意輪観音菩薩坐像	一躯	世田谷	4-7-12	円光院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
32	閻魔王坐像	一躯	世田谷	4-7-12	円光院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
33	大日如来坐像	一躯	相師谷	5-1-3	圓光寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
34	阿弥陀如来立像(一)	一躯	大蔵	2-2-1	円光寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
35	阿弥陀如来立像(二)	一躯	大蔵	2-2-1	円光寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
36	聖観音菩薩立像	一躯	大蔵	2-2-1	円光寺	大正8年	1919	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
37	阿弥陀如来立像	一躯	松原	5-43-5	延重寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
38	不動明王立像	一躯	代田	2-17-3	円乘院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
39	狩羯羅童子像	一躯	代田	2-17-3	円乘院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
40	制吒迦童子像	一躯	代田	2-17-3	円乘院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
41	弘法大師坐像	一躯	代田	2-17-3	円乘院	文政11年	1828	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
42	興教大師坐像	一躯	代田	2-17-3	円乘院	昭和37年	1962	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
43	不動明王立像	一躯	太子堂	3-30-8	円泉寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
44	狩羯羅童子像	一躯	太子堂	3-30-8	円泉寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
45	制吒迦童子像	一躯	太子堂	3-30-8	円泉寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
46	弘法大師坐像	一躯	太子堂	3-30-8	円泉寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
47	興教大師坐像	一躯	太子堂	3-30-8	円泉寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編

No	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
48	聖観音菩薩坐像	一躯	太子堂	3-30-8	巴泉寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
49	誕生釈迦仏立像	一躯	太子堂	3-30-8	巴泉寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
50	聖徳太子立像	一躯	上野毛	2-15-15	寛願寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
51	聖観音菩薩立像	一躯	上野毛	2-15-15	寛願寺	享保6年		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
52	興教大師坐像	一躯	上野毛	2-15-15	寛願寺	享保6年	1711	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
53	弘法大師坐像	一躯	上野毛	2-15-15	寛願寺	享保6年	1711	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
54	十一面観音菩薩立像	一躯	南烏山	2-21-1	烏山神社	寛延元年	1748	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
55	不動明王立像	一躯	南烏山	2-21-1	烏山神社	江戸時代か		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
56	薬師如来立像	一躯	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂(薬師堂)	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
57	阿弥陀如来立像	一躯	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂(薬師堂)	江戸時代~近代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
58	観音菩薩立像	一躯	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂(薬師堂)	江戸時代~近代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
59	勢至菩薩立像	一躯	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂(薬師堂)	江戸時代~近代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
60	阿弥陀如来坐像	一躯	上馬	4-30-1	感心寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
61	法上人坐像	一躯	上馬	4-30-1	感心寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
62	地藏菩薩立像	一躯	上馬	4-30-1	感心寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
63	不動明王坐像	一躯	宇奈根	2-24-2	観音寺	元文4年	1739	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
64	羯羯羅童子立像	一躯	宇奈根	2-24-2	観音寺	元文4年	1739	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
65	制吒迦童子立像	一躯	宇奈根	2-24-2	観音寺	元文4年	1739	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
66	薬師如来立像	一躯	宇奈根	2-24-2	観音寺	江戸時代~近代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
67	不動明王坐像	一躯	鎌田	4-11-18	吉祥院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
68	興教大師坐像	一躯	鎌田	4-11-18	吉祥院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
69	弘法大師坐像	一躯	鎌田	4-11-18	吉祥院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
70	釈迦如来坐像	一躯	給田	3-15-20	給田観音堂	室町時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
71	迦葉立像	一躯	給田	3-15-20	給田観音堂	室町時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
72	阿難立像	一躯	給田	3-15-20	給田観音堂	室町時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
73	千手観音菩薩立像	一躯	給田	3-15-20	給田観音堂	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
74	地藏菩薩立像	一躯	給田	3-15-20	給田観音堂	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
75	不動明王坐像	一躯	太子堂	4-15-1	教学院	明治時代か	1642	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
76	羯羯羅童子立像	一躯	太子堂	4-15-1	教学院	明治時代か		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
77	制吒迦童子立像	一躯	太子堂	4-15-1	教学院	明治時代か		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
78	閻魔王坐像	一躯	太子堂	4-15-1	教学院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
79	蓑衣婆坐像	一躯	太子堂	4-15-1	教学院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
80	聖観音菩薩立像	一躯	太子堂	4-15-1	教学院	元禄9年	1696	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
81	不動明王立像	一躯	太子堂	4-15-1	教学院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
82	地藏菩薩立像	一躯	太子堂	4-15-1	教学院	元文4年	1739	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
83	聖観音菩薩立像	一躯	下馬	2-39-12	教学院教会	平安時代末期~ 鎌倉時代初期		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
84	阿弥陀如来坐像	一躯	瀬田	1-12-23	行善寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
85	阿弥陀如来坐像	一躯	瀬田	1-12-23	行善寺	明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
86	弘法大師坐像	一躯	瀬田	4-13-3	玉真密院	天保14年	1843	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
87	阿弥陀如来立像	一躯	瀬田	4-13-3	玉真密院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
88	愛染明王坐像	一躯	瀬田	4-12-4	玉川寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
89	訶利帝母立像	一躯	瀬田	4-12-4	玉川寺	明治時代か		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
90	阿弥陀如来立像	一躯	奥沢	7-13-21	究竟寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
91	阿弥陀如来立像	一躯	奥沢	7-13-21	究竟寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
92	阿弥陀如来坐像	一躯	桜丘	4-13-4	久成院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
93	観音菩薩立像	一躯	桜丘	4-13-4	久成院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編

No	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
94	勢至菩薩立像	一躯	桜丘	4-13-4	久成院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
95	愛染明王坐像	一躯	桜丘	4-13-4	久成院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
96	不動明王立像	一躯	桜丘	4-13-4	久成院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
97	殆糺羅童子立像	一躯	桜丘	4-13-4	久成院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
98	制吒迦童子立像	一躯	桜丘	4-13-4	久成院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
99	阿彌陀如来坐像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
100	觀音菩薩立像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
101	勢至菩薩立像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
102	法然上人坐像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
103	地藏菩薩立像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
104	阿彌陀如来坐像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
105	阿彌陀如来立像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
106	千手觀音菩薩立像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
107	空掌上人坐像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
108	善道大師坐像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
109	地藏菩薩立像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
110	薬師如来坐像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
111	十一面觀音菩薩立像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
112	阿彌陀如来坐像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
113	地藏菩薩坐像	一躯	喜多見	4-17-1	慶元寺	明暦3年	1657	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
114	鬼子母神立像	一躯	北烏山	4-21-1	玄照寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
115	阿彌陀如来立像	一躯	北烏山	4-14-1	源正寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
116	阿彌陀如来立像	一躯	北烏山	4-14-1	源正寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
117	阿彌陀如来立像	一躯	北烏山	4-10-1	源良院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
118	聖觀音菩薩立像	一躯	北烏山	4-10-1	源良院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
119	如来形坐像	一躯	北烏山	4-10-1	源良院	江戸時代~近代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
120	羅刹天坐像	一躯	北烏山	4-10-1	源良院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
121	聖觀音菩薩立像	一躯	砧	7-12-22	耕雲寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
122	聖觀音菩薩立像	一躯	北烏山	4-30-1	高源院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
123	韋駄天立像	一躯	北烏山	4-30-1	高源院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
124	法忍禪師坐像	一躯	北烏山	4-30-1	高源院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
125	觀音菩薩立像	一躯	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	江戸時代		豪徳寺文化財総合調査報告
126	文殊菩薩坐像	一躯	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	江戸時代		豪徳寺文化財総合調査報告
127	地藏菩薩立像	一躯	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	江戸時代		豪徳寺文化財総合調査報告
128	聖徳太子倚像	一躯	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	江戸時代		豪徳寺文化財総合調査報告
129	韋駄天立像	一躯	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	江戸時代		豪徳寺文化財総合調査報告
130	跏趺羅尊者立像	一躯	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	江戸時代		豪徳寺文化財総合調査報告
131	觀音菩薩立像	一躯	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	江戸時代		豪徳寺文化財総合調査報告
132	秀道禪師(当寺四世)倚像	一躯	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	江戸時代		豪徳寺文化財総合調査報告
133	常濟大師(鑿山紹瑾)倚像	一躯	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	江戸時代		豪徳寺文化財総合調査報告
134	宗閔禪師(当寺開山)倚像	一躯	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	江戸時代		豪徳寺文化財総合調査報告
135	承陽大師(道元)倚像	一躯	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	江戸時代		豪徳寺文化財総合調査報告
136	日蓮上人坐像	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
137	鬼子母神半跏像	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
138	清正公坐像	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
139	柏原大明神坐像	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代~近代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
140	十羅刹女立像(一)	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編

No	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
141	十羅刹女立像(二)	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
142	十羅刹女立像(三)	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
143	十羅刹女立像(四)	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
144	十羅刹女立像(五)	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
145	十羅刹女立像(六)	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
146	十羅刹女立像(七)	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
147	十羅刹女立像(八)	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
148	十羅刹女立像(九)	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
149	十羅刹女立像(十)	一躯	北烏山	5-8-1	幸龍寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
150	隨身坐像(左)	一躯	上馬	5-35-3	駒留八幡神社	明治34年	1901	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
151	隨身坐像(右)	一躯	上馬	5-35-3	駒留八幡神社	明治34年	1901	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
152	小権公坐像	一躯	上馬	5-35-3	駒留八幡神社	昭和19年	1944	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
153	大日如来坐像	一躯	中町	2-20-11	金剛寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
154	不動明王立像	一躯	中町	2-20-11	金剛寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
155	興教大師坐像	一躯	中町	2-20-11	金剛寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
156	弘法大師坐像	一躯	中町	2-20-11	金剛寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
157	左脇侍像	一躯	中町	2-20-11	金剛寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
158	右脇侍像	一躯	中町	2-20-11	金剛寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
159	阿弥陀如来立像	一躯	北烏山	2-7-1	西蓮寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
160	阿弥陀如来立像	一躯	瀬田	4-10-3	慈眼寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
161	大日如来坐像	一躯	瀬田	4-10-3	慈眼寺	宝暦10年	1760	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
162	弘法大師坐像	一躯	瀬田	4-10-3	慈眼寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
163	興教大師坐像	一躯	瀬田	4-10-3	慈眼寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
164	不動明王立像	一躯	瀬田	4-10-3	慈眼寺	明治時代か		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
165	薬師如来坐像	一躯	弦巻	3-29-6	実相院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
166	観音菩薩像残欠	一躯	弦巻	3-29-6	実相院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
167	阿弥陀如来立像	一躯	砧	2-10-11	実相寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
168	阿弥陀如来立像	一躯	北烏山	5-11-1	淨因寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
169	聖徳太子立像	一躯	北烏山	5-11-1	淨因寺	昭和9年	1934	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
170	阿弥陀如来坐像	一躯	北烏山	5-11-1	淨因寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
171	阿弥陀如来立像(一)	一躯	北烏山	4-13-1	常栄寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
172	阿弥陀如来立像(二)	一躯	北烏山	4-13-1	常栄寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
173	菩薩形立像	一躯	北烏山	4-13-1	常栄寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
174	阿弥陀如来坐像	一躯	北烏山	5-9-1	称往院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
175	釋本其角坐像	一躯	北烏山	5-9-1	称往院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
176	阿弥陀如来坐像	一躯	北烏山	5-9-1	称往院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
177	十二神将立像(一)	一躯	東玉川	2-30-3	淨行寺	延宝6年	1678	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
178	十二神将立像(二)	一躯	東玉川	2-30-3	淨行寺	延宝6年	1678	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
179	虚空藏菩薩坐像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	安土桃山時代		勝光院文化財総合調査報告
180	釈迦如来坐像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	慶安2年	1649	勝光院文化財総合調査報告
181	伝葉師如来坐像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
182	蓮磨大師坐像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	安土桃山時代		勝光院文化財総合調査報告
183	大権修理菩薩坐像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
184	十二神将立像①	一躯	桜	1-26-35	勝光院	室町時代末～江戸時代初		勝光院文化財総合調査報告
185	十二神将立像②	一躯	桜	1-26-35	勝光院	室町時代末～江戸時代初		勝光院文化財総合調査報告
186	十二神将立像③	一躯	桜	1-26-35	勝光院	室町時代末～江戸時代初		勝光院文化財総合調査報告
187	十二神将立像④	一躯	桜	1-26-35	勝光院	室町時代末～江戸時代初		勝光院文化財総合調査報告

No	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
188	十二神将立像⑤	一躯	桜	1-26-35	勝光院	室町時代末～江戸時代初		勝光院文化財総合調査報告
189	十二神将立像⑥	一躯	桜	1-26-35	勝光院	室町時代末～江戸時代初		勝光院文化財総合調査報告
190	十二神将立像⑦	一躯	桜	1-26-35	勝光院	室町時代末～江戸時代初		勝光院文化財総合調査報告
191	十二神将立像⑧	一躯	桜	1-26-35	勝光院	室町時代末～江戸時代初		勝光院文化財総合調査報告
192	十二神将立像⑨	一躯	桜	1-26-35	勝光院	室町時代末～江戸時代初		勝光院文化財総合調査報告
193	十二神将立像⑩	一躯	桜	1-26-35	勝光院	室町時代末～江戸時代初		勝光院文化財総合調査報告
194	十二神将立像⑪	一躯	桜	1-26-35	勝光院	室町時代末～江戸時代初		勝光院文化財総合調査報告
195	十二神将立像⑫	一躯	桜	1-26-35	勝光院	室町時代末～江戸時代初		勝光院文化財総合調査報告
196	誕生釈迦立像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
197	千手観音菩薩坐像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
198	文殊菩薩坐像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
199	普賢菩薩坐像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
200	道元禅師坐像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
201	僧形坐像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
202	僧形坐像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
203	僧形坐像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
204	青面金剛立像及〇眷属像	十躯	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
205	阿難立像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
206	喜歡天立像	一躯	桜	1-26-35	勝光院	江戸時代		勝光院文化財総合調査報告
207	阿弥陀如来坐像	一躯	世田谷	1-38-20	浄光寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
208	聖観音菩薩立像	一躯	世田谷	1-38-20	浄光寺	江戸時代か		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
209	通了薩埵立像	一躯	世田谷	1-38-20	浄光寺	江戸時代～近代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
210	右脇侍立像	一躯	世田谷	1-38-20	浄光寺	江戸時代～近代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
211	左脇侍立像	一躯	世田谷	1-38-20	浄光寺	江戸時代～近代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
212	日蓮上人坐像(一)	一躯	宇奈根	2-21-2	常光寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
213	日蓮上人坐像(二)	一躯	宇奈根	2-21-2	常光寺	明和5年	1768	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
214	日蓮上人坐像	一躯	宇奈根	2-21-2	常光寺	昭和26年	1951	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
215	訶利帝母立像	一躯	宇奈根	2-21-2	常光寺	明治時代か		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
216	訶利帝母立像	一躯	宇奈根	2-21-2	常光寺	明治時代か		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
217	不動明王立像(一)	一躯	世田谷	4-27-4	勝国寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
218	不動明王立像(二)	一躯	世田谷	4-27-4	勝国寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
219	不動明王立像(三)	一躯	世田谷	4-27-4	勝国寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
220	菩薩形立像	一躯	弦巻	1-34-17	常在寺	平安時代末期		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
221	釈迦如来立像	一躯	弦巻	1-34-17	常在寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
222	增長天立像	一躯	弦巻	1-34-17	常在寺	明治時代か		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
223	阿弥陀如来立像	一躯	宮坂	2-24-5	成勝寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
224	善導大師坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
225	法然上人坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
226	阿弥陀如来立像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
227	観音菩薩立像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
228	勢至菩薩立像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
229	地藏菩薩立像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
230	寶頭盧尊者坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	明和3年か	1766	浄真寺文化財総合調査報告
231	千手観音菩薩坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
232	地藏菩薩立像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	平安時代末期		浄真寺文化財総合調査報告
233	珂珞上人坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	大正8年	1919	浄真寺文化財総合調査報告
234	珂珞上人坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	近代		浄真寺文化財総合調査報告

No	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
235	四天王立像	四躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
236	阿弥陀如来立像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	明治28年	1895	浄真寺文化財総合調査報告
237	阿弥陀如来坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
238	閻魔大王坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
239	奪衣婆坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
240	金剛力士立像(阿行)	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	寛政5年	1739	浄真寺文化財総合調査報告
241	金剛力士立像(吽行)	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	寛政5年	1739	浄真寺文化財総合調査報告
242	風神立像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	文化3年	1806	浄真寺文化財総合調査報告
243	雷神立像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	文化3年	1806	浄真寺文化財総合調査報告
244	阿弥陀如来及び二十五菩薩来迎像	二六躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	寛政5年	1793	浄真寺文化財総合調査報告
245	如意輪観音菩薩坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
246	如来坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
247	僧形坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
248	弘法大師坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
249	九体阿弥陀如来坐像	九躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
250	薬師如来坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
251	文殊菩薩立像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
252	如来坐像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
253	地藏菩薩半跏像	一躯	奥沢	7-41-3	浄真寺	天明3年	1783	浄真寺文化財総合調査報告
254	閻魔王坐像(十王像のうち)	一躯	奥沢	7-41-3	常徳院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
255	十王像(一)	一躯	宮坂	2-1-11	常徳院	江戸時代	1794	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
256	釈迦如来坐像	一躯	宮坂	2-1-11	常徳院	寛政6年		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
257	普賢菩薩半跏騎象像	一躯	宮坂	2-1-11	常徳院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻II・目録編
258	文殊菩薩半跏騎獅像	一躯	宮坂	2-1-11	常徳院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻II・目録編
259	阿弥陀如来立像	一躯	松原	5-46-11	浄徳寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻II・目録編
260	阿弥陀如来立像	一躯	松原	5-46-8	常念寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
261	阿弥陀如来立像	一躯	松原	5-43-30	正法寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
262	阿弥陀如来立像(一)	一躯	北烏山	5-7-1	乘満寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
263	阿弥陀如来立像(二)	一躯	北烏山	5-7-1	乘満寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
264	阿弥陀如来立像	一躯	松原	5-43-8	勝林寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
265	阿弥陀如来立像	一躯	三軒茶屋	1-10-11	正蓮寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
266	不動明王立像(一)	一躯	代沢	3-27-1	森蔵寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
267	不動明王立像(二)	一躯	代沢	3-27-1	森蔵寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
268	不動明王坐像	一躯	代沢	3-27-1	森蔵寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
269	十二神将立像(一)	一躯	代沢	3-27-1	森蔵寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
270	十二神将立像(二)	一躯	代沢	3-27-1	森蔵寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
271	如来形立像	一躯	代沢	3-27-1	森蔵寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻II・目録編
272	如来像頭部	一躯	給田	1-19-9	真光寺	江戸時代~明治時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
273	薬師如来立像	一躯	用賀	4-14-4	真福寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
274	大日如来坐像	一躯	北烏山	5-14-1	善行寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
275	阿弥陀如来立像	一躯	北沢	3-9-10	専光寺(北沢)	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
276	阿弥陀如来立像	一躯	北沢	3-9-10	専光寺(北沢)	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
277	阿弥陀如来立像	一躯	上野毛	4-25-7	善宗寺	江戸時代~近代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻II・目録編
278	阿弥陀如来立像	一躯	等々力	6-7-10	専浄寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
279	阿弥陀如来立像	一躯	野毛	2-7-11	普養寺	天正6年	1578	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
280	弘法大師坐像	一躯	野毛	2-7-11	普養寺	寛永11年	1634	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
281	興教大師坐像	一躯	野毛	2-7-11	普養寺	天和元年	1681	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編

No	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
282	大日如来坐像	一躯	野毛	2-7-11	善養寺	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
283	不動明王立像	一躯	野毛	2-7-11	善養寺	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
284	弥勒童子立像	一躯	野毛	2-7-11	善養寺	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
285	制吒迦童子立像	一躯	野毛	2-7-11	善養寺	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
286	釈迦如来坐像	一躯	上野毛	4-25-7	善宗寺	江戸時代		彫刻編
287	開山喜山正存大和尚坐像	一躯	上野毛	4-25-7	善宗寺	寛政9年 <small>办</small>	1797	彫刻編
288	十一面観音菩薩立像	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
289	観音菩薩立像	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代 <small>か</small>		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
290	不動明王立像	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	元禄10年	1697	絵画・彫刻Ⅱ・目録編
291	誕生釈迦仏立像	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	文化12年	1815	絵画・彫刻Ⅱ・目録編
292	薬師如来坐像	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	昭和35年	1960	絵画・彫刻Ⅱ・目録編
293	左脇侍立像	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
294	右脇侍立像	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
295	十二神将立像(西)	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
296	十二神将立像(子)	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
297	十二神将立像(成)	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
298	十二神将立像(丑)	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
299	十二神将立像(午)	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
300	十二神将立像(申)	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
301	十二神将立像(寅)	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
302	十二神将立像(未)	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
303	十二神将立像(巳)	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
304	十二神将立像(卯)	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
305	十二神将立像(辰)	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
306	十二神将立像(亥)	一躯	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
307	阿弥陀如来立像	一躯	北烏山	4-15-1	存明寺	正保4年	1647	彫刻編
308	阿弥陀如来立像	一躯	北烏山	4-15-1	存明寺	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
309	阿弥陀如来立像	一躯	奥沢	1-18-3	大吉寺	江戸時代		彫刻編
310	阿弥陀如来坐像	一躯	世田谷	4-7-9	大吉寺	享保8年	1723	彫刻編
311	善導大師坐像	一躯	世田谷	4-7-9	大吉寺	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
312	法然上人坐像	一躯	世田谷	4-7-9	大吉寺	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
313	誕生釈迦仏立像	一躯	世田谷	4-7-9	大吉寺	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
314	釈迦如来立像	一躯	瀬田	4-21-15	大空閣寺	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
315	虚空蔵菩薩坐像	一躯	瀬田	4-21-15	大空閣寺	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
316	阿弥陀如来坐像	一躯	瀬田	4-21-15	大空閣寺	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
317	観音菩薩坐像	一躯	瀬田	4-21-15	大空閣寺	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
318	勢至菩薩坐像	一躯	瀬田	4-21-15	大空閣寺	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
319	弘法大師坐像	一躯	代田	4-10-2	代田不動堂	大正8年	1919	彫刻編
320	地藏菩薩坐像	一躯	北烏山	4-12-1	多聞院	江戸時代		彫刻編
321	阿弥陀如来立像	一躯	北烏山	4-12-1	多聞院	江戸時代		彫刻編
322	不動明王立像	一躯	北烏山	4-12-1	多聞院	江戸時代		彫刻編
323	弘法大師坐像	一躯	北烏山	4-12-1	多聞院	江戸時代		彫刻編
324	地藏菩薩立像	一	北烏山	4-12-1	多聞院	江戸時代		彫刻編
325	千手観音菩薩立像	一躯	北烏山	4-12-1	多聞院	江戸時代		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
326	毘沙門天立像	一躯	北烏山	4-12-1	多聞院	江戸時代 <small>~近代</small>		絵画・彫刻Ⅱ・目録編
327	薬師如来坐像	一躯	喜多見	5-19-2	知行院	天和4年	1684	彫刻編
328	日光菩薩立像	一躯	喜多見	5-19-2	知行院	天和4年	1684	彫刻編

No	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
329	月光菩薩立像	一躯	喜多見	5-19-2	知行院	天和4年	1684	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
330	阿彌陀如来立像	一躯	喜多見	5-19-2	知行院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
331	閻魔王坐像	一躯	喜多見	5-19-2	知行院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
332	御臺坐像	一躯	喜多見	5-19-2	知行院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
333	不動明王立像	一躯	喜多見	5-19-2	知行院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
334	不動明王及び二童子像	一件	喜多見	5-19-2	知行院	文政2年	1819	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
335	地藏菩薩坐像	一躯	喜多見	5-19-2	知行院	江戸時代 <small>か</small>		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
336	司命立像	一躯	喜多見	5-19-2	知行院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
337	同録立像	一躯	喜多見	5-19-2	知行院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
338	十王坐像及び脱衣婆坐像	十躯	喜多見	5-19-2	知行院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
339	胎藏界大日如来坐像	一躯	岡本	1-20-1	長円寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
340	興教大師坐像	一躯	岡本	1-20-1	長円寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
341	弘法大師坐像	一躯	岡本	1-20-1	長円寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
342	地藏菩薩半跏像	一躯	尾山台	2-10-3	伝乗寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
343	善光寺三尊像・中尊像	一躯	尾山台	2-10-3	伝乗寺	室町時代末期		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
344	善光寺三尊像・観音菩薩像	一躯	尾山台	2-10-3	伝乗寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
345	善光寺三尊像・勢至菩薩像	一躯	尾山台	2-10-3	伝乗寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
346	阿彌陀如来立像	一躯	尾山台	2-10-3	伝乗寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
347	観音菩薩立像	一躯	尾山台	2-10-3	伝乗寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
348	勢至菩薩立像	一躯	尾山台	2-10-3	伝乗寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
349	阿彌陀如来坐像	一躯	尾山台	2-10-3	伝乗寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
350	閻魔王坐像	一躯	尾山台	2-10-3	伝乗寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
351	阿彌陀如来立像	一躯	北烏山	5-7-1	入衆寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
352	渡唐天満宮神立像	一躯	喜多見	4-26-1	水川神社(喜多見)	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
353	像残欠	一件	喜多見	4-26-1	水川神社(喜多見)	不詳		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
354	薬師如来坐像	一躯	経堂	1-22-1	福昌寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
355	地藏菩薩半跏像	一躯	経堂	1-22-1	福昌寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
356	伝文殊菩薩坐像	一躯	経堂	1-22-1	福昌寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
357	聖観音菩薩坐像(一)	一躯	船橋	1-20-16	船橋観音堂	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
358	聖観音菩薩坐像(二)	一躯	船橋	1-20-16	船橋観音堂	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
359	閻魔王坐像	一躯	船橋	1-20-16	船橋観音堂	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
360	聖観音菩薩立像	一躯	船橋	1-20-16	船橋観音堂	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
361	僧形坐像	一躯	船橋	1-20-16	船橋観音堂	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
362	観音菩薩坐像	一躯	喜多見	5-13-10	宝寿院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
363	勢至菩薩坐像	一躯	喜多見	5-13-10	宝寿院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
364	聖観音菩薩坐像	一躯	喜多見	5-13-10	宝寿院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
365	興教大師坐像	一躯	船橋	4-39-32	宝性寺	江戸時代 <small>か</small>		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
366	弘法大師坐像	一躯	船橋	4-39-32	宝性寺	江戸時代 <small>か</small>		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
367	毘沙門天立像	一躯	船橋	4-39-32	宝性寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
368	大日如来坐像	一躯	船橋	4-39-32	宝性寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
369	毘沙門天立像	一躯	船橋	4-39-32	宝性寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
370	愛染明王坐像	一躯	船橋	4-39-32	宝性寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
371	地藏如来立像	一躯	船橋	4-39-32	宝性寺	江戸時代 <small>か</small>		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
372	不動明王立像	一躯	船橋	4-39-32	宝性寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
373	不動明王立像及び二童子立像	三躯	船橋	4-39-32	宝性寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
374	弥勒菩薩坐像	一躯	船橋	4-39-32	宝性寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
375	阿彌陀如来坐像	一躯	船橋	4-39-32	宝性寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編

No	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
376	阿弥陀如来立像	一躯	瀬田	1-7-7	法徳寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
377	十一面観音菩薩立像	一躯	瀬田	1-7-7	法徳寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
378	地藏菩薩立像	一躯	瀬田	1-7-7	法徳寺	江戸時代~明治時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
379	誕生釈迦立像	一躯	瀬田	1-7-7	法徳寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
380	阿弥陀如来立像	一躯	北烏山	5-13-1	万福寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
381	不動明王立像	一躯	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
382	釈迦童子	一躯	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
383	制吒迦童子	一躯	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
384	阿弥陀如来坐像	一躯	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代	1652	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
385	胎蔵界大日如来坐像	一躯	桜上水	2-24-6	密蔵院	慶安5年		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
386	不動明王立像	一躯	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
387	釈迦童子立像	一躯	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
388	制吒迦童子立像	一躯	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
389	聖天立像	一躯	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
390	地藏菩薩半跏像	一躯	桜上水	2-24-6	密蔵院	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
391	釈迦如来坐像	一躯	北烏山	6-23-1	妙高寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
392	多宝如来坐像	一躯	北烏山	6-23-1	妙高寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
393	日蓮上人坐像	一躯	北烏山	6-23-1	妙高寺	弘化8年	1846	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
394	調利帝母立像	一躯	北烏山	6-23-1	妙高寺	元治元年	1864	世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
395	日蓮上人坐像	一躯	北烏山	5-15-1	妙善寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
396	阿弥陀如来立像	一躯	北烏山	5-12-1	妙善寺	元禄6年	1693	世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
397	阿弥陀如来立像(一)	一躯	北烏山	4-16-1	妙祐寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
398	阿弥陀如来立像(二)	一躯	北烏山	4-16-1	妙祐寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
399	地藏菩薩半跏像	一躯	用賀	4-20-1	無量寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
400	阿弥陀如来坐像	一躯	用賀	4-20-1	無量寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
401	聖観音菩薩坐像	一躯	野沢	3-38-1	龍雲寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
402	弁才天坐像	一躯	野沢	3-38-1	龍雲寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
403	阿弥陀如来立像	一躯	代田	5-25-22	竜王寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第一集 彫刻編
404	日蓮上人坐像	一躯	代田	5-25-22	竜王寺	江戸時代~近代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編
405	誕生釈迦立像	一躯	代田	5-25-22	竜王寺	江戸時代		世田谷区社寺史料第三集 絵画・彫刻Ⅱ・目録編

NO	作品名	員数	所在地	所在地 2	社寺名	制作年代	西暦	出典
1	軍配団扇	一柄	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	江戸時代		豪徳寺文化財総合調査報告
2	華鬘	一	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	延宝8年	1680	豪徳寺文化財総合調査報告
3	鑿子	一	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	文政3年	1820	豪徳寺文化財総合調査報告
4	鋏子	二双四口	桜	1-26-35	勝光院	天和2年・天正年間小	1698	勝光院文化財総合調査報告
5	前机	一台	桜	1-26-35	勝光院	宝暦13年	1763	勝光院文化財総合調査報告
6	二十五菩薩来迎会仏面	二十五面	奥沢	7-41-3	浄真寺	江戸時代		浄真寺文化財総合調査報告
7	茶釜(接待茶釜)	一個	奥沢	7-41-3	浄真寺	寛文8年	1668	浄真寺文化財総合調査報告

NO	作品名	員数	制作年代	出典
1	旧世田谷村 荒井家文書	740件	近世後期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
2	旧若林村 根岸家文書	367件	近世中期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
3	旧下祖師谷村 加々美家文書	551件	近世中期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
4	旧横根村 安藤家文書	196件	近世後期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
5	旧喜多見村 小泉家文書	550件	近世中期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
6	旧奥沢村 原家文書	222件	近世中期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
7	旧瀬田村 長崎家文書	122件	近世前期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
8	旧下馬引沢村 新堀家文書	59件	近世前期～近世後期	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
9	旧等々力村 小池家文書	52件	近世中期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
10	旧等々力村 豊田家文書	38件	近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
11	旧用賀村 鈴木家文書	30件	近世中期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
12	旧上馬引沢村 鈴木家文書	30件	近世前期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
13	旧奥沢村 増田家文書	3件	近世中期～近世後期	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
14	旧上馬引沢村 白井家文書	6件	近世中期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
15	旧上馬引沢村 横溝家文書	1件	近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
16	旧新町村 長崎家文書	2件	近世後期	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
17	旧新町村 田中(武治)家文書	4件	近世中期・近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
18	旧新町村 田中(元一)家文書	13件	近世後期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
19	旧三宿村 斎藤家文書	2件	近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
20	旧世田谷村 並木家文書	4件	近世中期・近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
21	旧世田谷村 石田家文書	1件	不詳	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
22	旧世田谷村 細野家文書	2件	近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
23	旧弦巻村 鈴木家文書	3件	近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
24	旧下北沢村 大河原家文書	1件	不詳	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
25	旧喜多見村 中村家文書	2件	近世後期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
26	旧烏山村 岩本家文書	3件	近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
27	玉川神社文書	5件	近世後期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
28	旧松原村 相原家文書	1747件	近世中期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
29	旧大蔵村 安藤家文書	244件	近世後期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
30	旧宇奈根村 小泉家文書	2823件	近世前期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
31	旧世田谷村 鈴木家文書	21件	近世中期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化
32	旧深沢村 三田家文書	2000件	近世前期～近・現代	諸家文書目録・世田谷の歴史と文化

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
1	宝篋印塔(基礎のみ)	豪徳寺	2-24-7	納骨堂地下	至徳元. 11.	1348	豪徳寺 文化財総合調査報告
2	宝篋印塔	豪徳寺	2-24-7	納骨堂地下	文明12. 12. 2	1480	豪徳寺 文化財総合調査報告
3	宝篋印塔	豪徳寺	2-24-7	納骨堂地下	文亀2. 6.	1502	豪徳寺 文化財総合調査報告
4	石灯笼	豪徳寺	2-24-7	仏殿前	延宝5. 6. 28	1677	豪徳寺 文化財総合調査報告
5	石灯笼(NO4・5は対をなす)	豪徳寺	2-24-7	仏殿前	延宝5. 6. 28	1677	豪徳寺 文化財総合調査報告
6	結界石	豪徳寺	2-24-7	山門脇	寛政2. 5.	1790	豪徳寺 文化財総合調査報告
7	地藏立像	豪徳寺	2-24-7	墓地参道口	延宝3. 9. 15	1675	豪徳寺 文化財総合調査報告
8	六地藏	豪徳寺	2-24-7	墓地	元禄9. 10.	1696	豪徳寺 文化財総合調査報告
9	百万遍念仏塔	豪徳寺	2-24-7	墓地	享保10. 11.	1725	豪徳寺 文化財総合調査報告
10	六六部供養塔	豪徳寺	2-24-7	墓地	宝暦8. 10. 17	1758	豪徳寺 文化財総合調査報告
11	廻国供養塔	豪徳寺	2-24-7	墓地	安永3. 8. 11~20	1774	豪徳寺 文化財総合調査報告
12	写経塔	豪徳寺	2-24-7	墓地	天明4. 7. 15	1784	豪徳寺 文化財総合調査報告
13	馬頭観音坐像	豪徳寺	2-24-7	招福観音堂境内	明治43. 4. 29	1910	豪徳寺 文化財総合調査報告
14	大乘妙典供養塔	豪徳寺	2-24-7	墓地	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
15	豪徳寺旧開基碑	豪徳寺	2-24-7	墓地	寛政11. 11.	1799	豪徳寺 文化財総合調査報告
16	癒首塚碑	豪徳寺	2-24-7	墓地	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
17	癒首塚碑文	豪徳寺	2-24-7	墓地	(明治8.)5.	1875	豪徳寺 文化財総合調査報告
18	桜田殉難八土之碑	豪徳寺	2-24-7	井伊家墓所	明治19. 3. 28	1886	豪徳寺 文化財総合調査報告
19	遠城謙道首座塔	豪徳寺	2-24-7	井伊家墓所	明治34. 5. 12	1901	豪徳寺 文化財総合調査報告
20	遠城謙道師遺蹟碑	豪徳寺	2-24-7	墓地参道	明治34. 12.	1901	豪徳寺 文化財総合調査報告
21	忠正公神道碑	豪徳寺	2-24-7	墓地参道	明治38. 12.	1905	豪徳寺 文化財総合調査報告
22	高橋瑞子彰功之碑	豪徳寺	2-24-7	墓地参道	昭和8. 2. 28	1933	豪徳寺 文化財総合調査報告
23	鳴鶴日下部先生降銘	豪徳寺	2-24-7	墓地参道	昭和8. 10.	1933	豪徳寺 文化財総合調査報告
24	開山門菴宗閣和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
25	二世門解声閣和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
26	三世雪岑薫種和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
27	四世天極秀道和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
28	五世仙外海音和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
29	六世世梁秀泉和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
30	七世黄屋国玄和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
31	八世穿山開通和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
32	九世大堅達地和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
33	十世大峯便紹和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
34	十一世大昶日峯和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
35	十二世練泉補天和和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
36	十三世載巖袖運和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
37	十四世大真悦道和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
38	十五世靈潭魯龍和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
39	十六世漢三遁一和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
40	十七世寂室聖光和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
41	十八世大淵蟠龍和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
42	十九世金華俱脛和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
43	二十世寛城東際和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
44	二十一世堤禪悦成和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
45	二十二世巨海東流和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告
46	二十三世寂潭俊龍和尚墓石	豪徳寺	2-24-7	歴代住職墓所	年不詳		豪徳寺 文化財総合調査報告

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
47	二十四世雪藤棟門和尚墓石	豪德寺	2-24-7	歷代住職墓所	年不詳		豪德寺 文化財綜合調査報告
48	二十五世雪環溪和尚墓石	豪德寺	2-24-7	歷代住職墓所	年不詳		豪德寺 文化財綜合調査報告
49	二十六世千巖覺道和尚墓石	豪德寺	2-24-7	歷代住職墓所	年不詳		豪德寺 文化財綜合調査報告
50	二十七世白雲雪藤和尚墓石	豪德寺	2-24-7	歷代住職墓所	年不詳		豪德寺 文化財綜合調査報告
51	二十八世不安則安和尚墓石	豪德寺	2-24-7	歷代住職墓所	年不詳		豪德寺 文化財綜合調査報告
52	二十九世牧牛素童和尚墓石	豪德寺	2-24-7	歷代住職墓所	年不詳		豪德寺 文化財綜合調査報告
53	三十世雪藏不白和尚墓石	豪德寺	2-24-7	歷代住職墓所	大正5.5.6.	1916	豪德寺 文化財綜合調査報告
54	三十一世至游徳宗和尚墓石	豪德寺	2-24-7	歷代住職墓所	明治43.11.2	1910	豪德寺 文化財綜合調査報告
55	三十二世乾堂物先和尚墓石	豪德寺	2-24-7	歷代住職墓所	年不詳		豪德寺 文化財綜合調査報告
56	三十三世大庵鉄兼和尚墓石	豪德寺	2-24-7	歷代住職墓所	昭和43.12.13	1968	豪德寺 文化財綜合調査報告
57	瓜度院殿(直時)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	万治元.4.20	1658	豪德寺 文化財綜合調査報告
58	久昌院殿(直孝)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	万治2.6.28	1659	豪德寺 文化財綜合調査報告
59	春光院殿(直孝側室 直澄・掃雲院母)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	延宝9.1.8	1681	豪德寺 文化財綜合調査報告
60	智證院殿(直興息男岩丸)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	貞享3.閏3.29	1686	豪德寺 文化財綜合調査報告
61	実性院殿(直興側室 直通母)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	元禄3.6.8	1690	豪德寺 文化財綜合調査報告
62	陽光院殿(直興側室)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	元禄5.12.19	1692	豪德寺 文化財綜合調査報告
63	掃雲院殿(直孝息女)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	元禄6.5.18	1693	豪德寺 文化財綜合調査報告
64	円台院殿(直時側室 直興母)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	元禄11.8.15	1698	豪德寺 文化財綜合調査報告
65	乾光院殿(直時室)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	宝永元.7.3	1704	豪德寺 文化財綜合調査報告
66	本光院殿(直通室)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	宝永5.10.22	1708	豪德寺 文化財綜合調査報告
67	円成院殿(直恒)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	宝永7.10.5	1710	豪德寺 文化財綜合調査報告
68	蓮光院殿(直性室)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	享保9.6.1	1724	豪德寺 文化財綜合調査報告
69	梅樹院殿(直性息男金藏)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	享保12.11.24	1727	豪德寺 文化財綜合調査報告
70	青松院殿(直興側室 直性母)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	享保18.11.12	1733	豪德寺 文化財綜合調査報告
71	普明院殿(直性側室 直禮母)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	元文元.6.10	1736	豪德寺 文化財綜合調査報告
72	明珠院殿(直興側室 直恒母)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	元文3.4.14	1738	豪德寺 文化財綜合調査報告
73	栄寿院殿(直興息女)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	寛保2.6.18	1742	豪德寺 文化財綜合調査報告
74	靈松院殿(直實)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	寛保2.10.25	1742	豪德寺 文化財綜合調査報告
75	淨戒院殿(直定側室)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	延享2.4.22	1745	豪德寺 文化財綜合調査報告
76	慧苗院殿(直峯)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	延享3.4.22	1746	豪德寺 文化財綜合調査報告
77	泉性院殿(直禮)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	宝曆4.8.29	1754	豪德寺 文化財綜合調査報告
78	紅林院(直幸側室 直富母)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	宝曆13.10.12	1763	豪德寺 文化財綜合調査報告
79	本覚院殿(直幸側室)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	安永6.10.10	1777	豪德寺 文化財綜合調査報告
80	玉光院殿(直性側室)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	安永9.8.27	1780	豪德寺 文化財綜合調査報告
81	龍泉院殿(直富)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	天明7.7.12	1787	豪德寺 文化財綜合調査報告
82	大魏院殿(直幸)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	寛政元.2.晦(3)	1789	豪德寺 文化財綜合調査報告
83	梅曉院殿(直幸室)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	寛政5.12.2	1793	豪德寺 文化財綜合調査報告
84	智貞院殿(直幸側室)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	文化5.7.17	1808	豪德寺 文化財綜合調査報告
85	松嶺院殿(直幸息女)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	文化1.3.13	1813	豪德寺 文化財綜合調査報告
86	龍華院殿(直亮室)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	文化13.2.28	1816	豪德寺 文化財綜合調査報告
87	清蓮院殿(直禪室)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	文政4.10.19	1821	豪德寺 文化財綜合調査報告
88	親光院殿(直中室 直亮母)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	天保7.5.14	1836	豪德寺 文化財綜合調査報告
89	守真院殿(直富室)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	天保15.9.11	1844	豪德寺 文化財綜合調査報告
90	良性院殿(直元)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	弘化2.12.24	1845	豪德寺 文化財綜合調査報告
91	宗親院殿(直順)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	万延元.閏3.28	1860	豪德寺 文化財綜合調査報告
92	俊操院殿(直致息女 直元室)	豪德寺	2-24-7	井伊家墓所	万延元.4.24	1860	豪德寺 文化財綜合調査報告

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
93	耀鏡院殿(直亮室)	豪徳寺	2-24-7	井伊家墓所	文久3.7.4	1863	文化財綜合調査報告
94	法鏡院殿(直亮側室)	豪徳寺	2-24-7	井伊家墓所	明治5.7.24	1872	文化財綜合調査報告
95	貞鏡院殿(直弼室)	豪徳寺	2-24-7	井伊家墓所	明治18.1.25	1885	文化財綜合調査報告
96	清霜院殿(智二郎)	豪徳寺	2-24-7	井伊家墓所	明治2.12.19	1887	文化財綜合調査報告
97	清心院殿(智二郎室)	豪徳寺	2-24-7	井伊家墓所	大正11.9.2	1922	文化財綜合調査報告
98	春照院殿(直憲室)	豪徳寺	2-24-7	井伊家墓所	明治28.1.4	1895	文化財綜合調査報告
99	柳江院殿(直跡側室)	豪徳寺	2-24-7	井伊家墓所	明治32.1.16	1899	文化財綜合調査報告
100	柳村院殿(直弼側室 直憲母)	豪徳寺	2-24-7	井伊家墓所	明治34.12.3	1901	文化財綜合調査報告
101	忠正院殿(直憲)	豪徳寺	2-24-7	井伊家墓所	明治35.1.9	1902	文化財綜合調査報告
102	禁制塔	奥沢	7-41-3	参道	明治32.11.	1899	文化財綜合調査報告
103	庚申塔	奥沢	7-41-3	参道	延宝8.8.4	1680	文化財綜合調査報告
104	庚申塔	奥沢	7-41-3	参道	年不詳		文化財綜合調査報告
105	庚申塔	奥沢	7-41-3	参道	文化8.11.吉	1811	文化財綜合調査報告
106	庚申塔	奥沢	7-41-3	参道	寛文2.8.10	1672	文化財綜合調査報告
107	地藏立像	奥沢	7-41-3	参道	年不詳		文化財綜合調査報告
108	信濃善光寺四十八願処供養塔	奥沢	7-41-3	参道	明和6.4.吉	1769	文化財綜合調査報告
109	善光寺百番供養塔	奥沢	7-41-3	参道	文化11.3.吉辰	1813	文化財綜合調査報告
110	三界万霊塔	奥沢	7-41-3	参道	文政5.11.吉辰	1822	文化財綜合調査報告
111	道標	奥沢	7-41-3	東門脇	明治42.7.吉	1909	文化財綜合調査報告
112	十夜講三界万霊塔	奥沢	7-41-3	東門脇	文政4.初夏	1821	文化財綜合調査報告
113	六地藏	奥沢	7-41-3	東門脇	天保4.10.吉良	1833	文化財綜合調査報告
114	禁制塔	奥沢	7-41-3	東門脇	明治32.11.	1899	文化財綜合調査報告
115	道標	奥沢	7-41-3	東門脇	弘化4.7.上旬	1847	文化財綜合調査報告
116	西国三十三番札所供養塔	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	明治14.5.仏歡喜	1881	文化財綜合調査報告
117	三十三観音(第一番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
118	三十三観音(第三番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
119	三十三観音(第四番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
120	三十三観音(第五番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
121	三十三観音(第六番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
122	三十三観音(第七番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
123	三十三観音(第八番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
124	三十三観音(第九番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
125	三十三観音(第十番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
126	三十三観音(第十一番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
127	三十三観音(第十二番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
128	三十三観音(第十三番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
129	三十三観音(第十四番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
130	三十三観音(第十五番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
131	三十三観音(第十六番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
132	三十三観音(第十七番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
133	三十三観音(第十八番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
134	三十三観音(第十九番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
135	三十三観音(第二十番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
136	三十三観音(第二十一番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
137	三十三観音(第二十二番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告
138	三十三観音(第二十三番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		文化財綜合調査報告

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
139	三十三観音(第二十四番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		浄真寺 文化財総合調査報告
140	三十三観音(第二十六番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		浄真寺 文化財総合調査報告
141	三十三観音(第二十七番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		浄真寺 文化財総合調査報告
142	三十三観音(第二十九番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		浄真寺 文化財総合調査報告
143	三十三観音(第三十番)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		浄真寺 文化財総合調査報告
144	三十三観音(番数不明)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		浄真寺 文化財総合調査報告
145	三十三観音(番数不明)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		浄真寺 文化財総合調査報告
146	三十三観音(番数不明)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		浄真寺 文化財総合調査報告
147	三十三観音(番数不明)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		浄真寺 文化財総合調査報告
148	三十三観音(番数不明)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		浄真寺 文化財総合調査報告
149	三十三観音(番数不明)	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	年不詳(明治14頃)		浄真寺 文化財総合調査報告
150	千手観音	奥沢	7-41-3	観音堂周辺	元禄4.5.22	1691	浄真寺 文化財総合調査報告
151	薬師如来	奥沢	7-41-3	観音堂内安置	元禄9.10.15	1696	浄真寺 文化財総合調査報告
152	仏足石	奥沢	7-41-3	上品堂下品堂間	年不詳		浄真寺 文化財総合調査報告
153	阿育王塔	奥沢	7-41-3	上品堂中品堂間	天保14.初冬	1843	浄真寺 文化財総合調査報告
154	名号塔	奥沢	7-41-3	本堂正面	文化7	1810	浄真寺 文化財総合調査報告
155	河口惠海師碑	奥沢	7-41-3	本堂脇	昭和32.2.24	1957	浄真寺 文化財総合調査報告
156	石壇建立供養塔	奥沢	7-41-3	中品堂北側	文化12.5.吉辰	1815	浄真寺 文化財総合調査報告
157	豊替資料碑	奥沢	7-41-3	中品堂北側	大正5.3	1916	浄真寺 文化財総合調査報告
158	一者女人秦産供養塔	奥沢	7-41-3	中品堂北側	寛政9.閏7.2	1797	浄真寺 文化財総合調査報告
159	名号塔	奥沢	7-41-3	中品堂北側	文化10.7.2	1813	浄真寺 文化財総合調査報告
160	名号塔	奥沢	7-41-3	中品堂北側	寛政10.3.吉辰	1798	浄真寺 文化財総合調査報告
161	珂碩上人碑	奥沢	7-41-3	墓域	文化7.夏4.7	1810	浄真寺 文化財総合調査報告
162	名号塔	奥沢	7-41-3	墓域	文化7.4.上7	1810	浄真寺 文化財総合調査報告
163	名号塔	奥沢	7-41-3	墓域	明治26.11.10	1893	浄真寺 文化財総合調査報告
164	珂碩上人一百五十回遠忌三界万霊塔	奥沢	7-41-3	墓域	天保14.10.初7	1843	浄真寺 文化財総合調査報告
165	珂碩上人百五十回忌供養塔	奥沢	7-41-3	墓域	天保14.6.	1843	浄真寺 文化財総合調査報告
166	開山塔(珂碩上人墓石)	奥沢	7-41-3	墓域	元禄7.10.7	1694	浄真寺 文化財総合調査報告
167	二世珂碩墓石	奥沢	7-41-3	墓域	宝永5.11.22	1708	浄真寺 文化財総合調査報告
168	三世力譽墓石	奥沢	7-41-3	墓域	元文3.12.初7	1738	浄真寺 文化財総合調査報告
169	四世成譽墓石	奥沢	7-41-3	墓域	元文5.4.初4	1740	浄真寺 文化財総合調査報告
170	五世輪譽墓石	奥沢	7-41-3	墓域	寛政7.9.28	1795	浄真寺 文化財総合調査報告
171	六世寛譽墓石	奥沢	7-41-3	墓域	安永2.9.19	1773	浄真寺 文化財総合調査報告
172	七世盛譽墓石	奥沢	7-41-3	墓域	天明4.正.2	1784	浄真寺 文化財総合調査報告
173	九世就譽墓石	奥沢	7-41-3	墓域	天保2.8.5	1831	浄真寺 文化財総合調査報告
174	十一世相譽墓石	奥沢	7-41-3	墓域	天保5.2.13	1834	浄真寺 文化財総合調査報告
175	十二世俊譽墓石	奥沢	7-41-3	墓域	天保13.春2.28	1842	浄真寺 文化財総合調査報告
176	十三世香譽墓石	奥沢	7-41-3	墓域	明治32.1.12	1899	浄真寺 文化財総合調査報告
177	十四世一譽墓石	奥沢	7-41-3	墓域	年不詳		浄真寺 文化財総合調査報告
178	十五世順譽墓石	奥沢	7-41-3	墓域	昭和31.11.22	1956	浄真寺 文化財総合調査報告
179	九世弟子無量寺一代願譽上人墓石	奥沢	7-41-3	墓域	天保8.8.27	1837	浄真寺 文化財総合調査報告
180	清蓮社浄譽桂堂墓誌	奥沢	7-41-3	墓域	年不詳		浄真寺 文化財総合調査報告
181	三界万霊塔	奥沢	7-41-3	墓域	年不詳		浄真寺 文化財総合調査報告
182	開山	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財総合調査報告
183	二世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財総合調査報告
184	三世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財総合調査報告

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
185	四世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
186	五世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
187	六世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
188	七世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
189	八世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
190	十一世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
191	十四世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
192	十五世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
193	十七世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	文化3. 3. 13	1806	勝光院 文化財綜合調査報告
194	十八世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	享和3. 11. 23	1803	勝光院 文化財綜合調査報告
195	十九世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
196	二十世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	嘉永4. 4. 7	1851	勝光院 文化財綜合調査報告
197	二十六世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
198	三十一世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
199	三十三世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
200	三十五世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	明治10. 5. 23	1877	勝光院 文化財綜合調査報告
201	三十七世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
202	三十八世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	昭和14. 5. 4 没	1939	勝光院 文化財綜合調査報告
203	三十九世	桜	1-26-35	歴代住職墓所	昭和28. 5. 4 建造	1953	勝光院 文化財綜合調査報告
204	不詳	桜	1-26-35	歴代住職墓所	昭和56. 3.	1981	勝光院 文化財綜合調査報告
205	興善寺殿(頼氏?)	桜	1-26-35	歴代住職墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
206	興善寺殿(頼氏?)	桜	1-26-35	吉良家墓所	貞和5. 8. 21	1349	勝光院 文化財綜合調査報告
207	萃影重女(木造七左衛門娘)	桜	1-26-35	吉良家墓所	寛永19. 5. 28	1642	勝光院 文化財綜合調査報告
208	意音妙智大姉(山高新衛門母)	桜	1-26-35	吉良家墓所	慶安元.	1648	勝光院 文化財綜合調査報告
209	柱院殿(義祇母)	桜	1-26-35	吉良家墓所	慶安2. 10. 7	1649	勝光院 文化財綜合調査報告
210	松岩院殿(木造藤左衛門父)	桜	1-26-35	吉良家墓所	慶安5. 5. 14	1652	勝光院 文化財綜合調査報告
211	京月宗見居士(貴志源之助)	桜	1-26-35	吉良家墓所	承応2. 10. 8	1653	勝光院 文化財綜合調査報告
212	東禅院殿(義祇)	桜	1-26-35	吉良家墓所	明暦3. 1. 14	1657	勝光院 文化財綜合調査報告
213	長松院殿(義成母)	桜	1-26-35	吉良家墓所	寛文元. 12. 4	1661	勝光院 文化財綜合調査報告
214	桂涼院殿(木造藤右衛門内儀)	桜	1-26-35	吉良家墓所	寛文3. 12. 5	1663	勝光院 文化財綜合調査報告
215	性空院殿(義俊母)	桜	1-26-35	吉良家墓所	延宝9. 7. 29	1681	勝光院 文化財綜合調査報告
216	普光院殿(義俊室)	桜	1-26-35	吉良家墓所	元禄3. 10. 21	1690	勝光院 文化財綜合調査報告
217	景德院殿(義成)	桜	1-26-35	吉良家墓所	元禄4. 5. 2	1691	勝光院 文化財綜合調査報告
218	梅樹院殿(吉良氏息女)	桜	1-26-35	吉良家墓所	享保元. 12. 27	1716	勝光院 文化財綜合調査報告
219	聞聲院殿(義俊)	桜	1-26-35	吉良家墓所	寛保2. 2. 26	1742	勝光院 文化財綜合調査報告
220	見性院殿(義所・過去帳は義勝)	桜	1-26-35	吉良家墓所	延享2. 11. 2	1745	勝光院 文化財綜合調査報告
221	柳性院殿(義豊弟)	桜	1-26-35	吉良家墓所	延享5. 2. 12	1748	勝光院 文化財綜合調査報告
222	清樹院殿(義豊祖母)	桜	1-26-35	吉良家墓所	宝暦9. 7. 27	1759	勝光院 文化財綜合調査報告
223	自性院殿(義豊祖母)	桜	1-26-35	吉良家墓所	明和5. 8. 26	1768	勝光院 文化財綜合調査報告
224	貞松院殿(義豊室)	桜	1-26-35	吉良家墓所	安永5. 3. 15	1776	勝光院 文化財綜合調査報告
225	泰真院殿(義豊室)	桜	1-26-35	吉良家墓所	寛政6. 10.	1794	勝光院 文化財綜合調査報告
226	清心院殿(義居室)	桜	1-26-35	吉良家墓所	文化13. 6. 17	1816	勝光院 文化財綜合調査報告
227	壽昌院殿(義豊)	桜	1-26-35	吉良家墓所	文化14. 8. 6	1817	勝光院 文化財綜合調査報告
228	松嶺院殿(義房)	桜	1-26-35	吉良家墓所	文政6. 12. 4	1823	勝光院 文化財綜合調査報告
229	善林院殿(義豊室)	桜	1-26-35	吉良家墓所	天保3. 5. 25	1832	勝光院 文化財綜合調査報告
230	諦聴院殿(義發)	桜	1-26-35	吉良家墓所	天保15. 10. 12	1844	勝光院 文化財綜合調査報告

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
231	玉貌院殿(義方室・菅沼氏息女)	桜	1-26-35	吉良家墓所	嘉永3. 11. 28	1850	勝光院 文化財綜合調査報告
232	守貞院殿(義方母・山名中務義方娘・良發妻)	桜	1-26-35	吉良家墓所	慶応元. 6. 23	1865	勝光院 文化財綜合調査報告
233	無染院殿(義方)	桜	1-26-35	吉良家墓所	明治12. 2. 8	1879	勝光院 文化財綜合調査報告
234	不詳	桜	1-26-35	吉良家墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
235	板碑	桜	1-26-35	勝光院墓域	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
236	月翁玄空墓石(広戸備後正之)	桜	1-26-35	勝光院墓域	延宝8. 11. 12	1680	勝光院 文化財綜合調査報告
237	本光松達墓石	桜	1-26-35	歴代住職墓所	万治3. 4. □2	1660	勝光院 文化財綜合調査報告
238	石塔	桜	1-26-35	吉良家墓所	年不詳		勝光院 文化財綜合調査報告
239	石塔	桜	1-26-35	吉良家墓所	文保2. 8.	1318	勝光院 文化財綜合調査報告
240	板碑	世田谷	4-7-12	巴光院			世田谷区現存板碑集成
241	板碑	世田谷	4-7-12	巴光院			世田谷区現存板碑集成
242	板碑	世田谷	4-27-4	勝國寺	応仁2. 11. 8	1468	世田谷区現存板碑集成
243	板碑	世田谷	4-27-4	勝國寺	文 2. 10		世田谷区現存板碑集成
244	板碑	世田谷	4-27-4	勝國寺			世田谷区現存板碑集成
245	板碑	駒沢	1-23-1	駒沢大学考古学研究会	文和5. 正. 8	1356	世田谷区現存板碑集成
246	板碑	駒沢	1-23-1	駒沢大学考古学研究会	応永卅3	1426	世田谷区現存板碑集成
247	板碑	駒沢	1-23-1	駒沢大学考古学研究会	康正2.	1456	世田谷区現存板碑集成
248	板碑	駒沢	1-23-1	駒沢大学考古学研究会	康正2□	1456	世田谷区現存板碑集成
249	板碑	駒沢	1-23-1	駒沢大学考古学研究会	延徳2. 11. 14	1490	世田谷区現存板碑集成
250	板碑	駒沢	1-23-1	駒沢大学考古学研究会	文		世田谷区現存板碑集成
251	板碑	駒沢	1-23-1	駒沢大学考古学研究会	2		世田谷区現存板碑集成
252	板碑	駒沢	1-23-1	駒沢大学考古学研究会			世田谷区現存板碑集成
253	板碑	駒沢	2-11		嘉暦3. 8.	1328	世田谷区現存板碑集成
254	板碑	駒沢	2-11		文明15天	1483	世田谷区現存板碑集成
255	板碑	駒沢	2-11		文明1□.	1478-87	世田谷区現存板碑集成
256	板碑	駒沢	2-11				世田谷区現存板碑集成
257	板碑	下馬	5-25-17	お猿庚申堂			世田谷区現存板碑集成
258	板碑	若林	2-30-16	勝光院布教所	康正2. 3. 5	1456	世田谷区現存板碑集成
259	板碑	代田	2-17-3	巴乘院	正安2. 8.	1300	世田谷区現存板碑集成
260	板碑	代田	2-17-3	巴乘院	明応	1492-1501	世田谷区現存板碑集成
261	板碑	代田	2-17-3	巴乘院	□永3. □□□		世田谷区現存板碑集成
262	板碑	豪徳寺	1-12		延文5. 3.	1360	世田谷区現存板碑集成
263	板碑	豪徳寺	1-12		慶応元. 8. □□	1389	世田谷区現存板碑集成
264	板碑	赤堤	2		貞治22. 8.	1365	世田谷区現存板碑集成
265	板碑	赤堤	2		貞治6. 12. 15	1367	世田谷区現存板碑集成
266	板碑	赤堤	2				世田谷区現存板碑集成
267	板碑	赤堤	3-28-29	西福寺			世田谷区現存板碑集成
268	板碑	赤堤	4-44-22	松沢小学校	貞治5. 8.	1366	世田谷区現存板碑集成
269	板碑	赤堤	4-44-22	松沢小学校	康暦2.	1380	世田谷区現存板碑集成
270	板碑	経堂	1-22-1	福昌寺	天正12. 申甲□□(. 力)	1584	世田谷区現存板碑集成
271	板碑	桜上水	2-24-6	密蔵院	弘口(安)□(. 5. 力)	1278-88	世田谷区現存板碑集成
272	板碑	船橋	4-39-32	宝性寺	永享6. 10. 22	1434	世田谷区現存板碑集成
273	板碑	千歳台	4-11-11	東覚院	元亨22. 2.	1324	世田谷区現存板碑集成
274	板碑	千歳台	4-11-11	東覚院	永享5. 丑癸2. 6	1433	世田谷区現存板碑集成
275	板碑	千歳台	4-11-11	東覚院	享徳2. □. 17	1453	世田谷区現存板碑集成
276	板碑	千歳台	5				世田谷区現存板碑集成

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
277	板碑	千歳台	5				世田谷区現存板碑集成
278	板碑	千歳台	5				世田谷区現存板碑集成
279	板碑	千歳台	5				世田谷区現存板碑集成
280	板碑	千歳台	5				世田谷区現存板碑集成
281	板碑	千歳台	5				世田谷区現存板碑集成
282	板碑	千歳台	5				世田谷区現存板碑集成
283	板碑	千歳台	5				世田谷区現存板碑集成
284	板碑	千歳台	5		永和3. 10.	1377	世田谷区現存板碑集成
285	板碑	北烏山	2-7-1	西蓮寺	永正3. 20	1506	世田谷区現存板碑集成
286	板碑	北烏山	2-7-1	西蓮寺	永正10. 酉癸2. 13	1513	世田谷区現存板碑集成
287	板碑	北烏山	4-14-1	源正寺	文明8.	1476	世田谷区現存板碑集成
288	板碑	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂	永徳元. 8. 13	1381	世田谷区現存板碑集成
289	板碑	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂	明徳2. 未辛6. 28	1391	世田谷区現存板碑集成
290	板碑	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂			世田谷区現存板碑集成
291	板碑	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂			世田谷区現存板碑集成
292	板碑	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂			世田谷区現存板碑集成
293	板碑	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂			世田谷区現存板碑集成
294	板碑	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂			世田谷区現存板碑集成
295	板碑	給田	3-15-20	給田觀音堂	応永9. 2.	1402	世田谷区現存板碑集成
296	板碑	給田	3-15-20	給田觀音堂			世田谷区現存板碑集成
297	板碑	給田	3-15-20	給田觀音堂			世田谷区現存板碑集成
298	板碑	給田	3-15-20	給田觀音堂			世田谷区現存板碑集成
299	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺	文和2. 4	1353	世田谷区現存板碑集成
300	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺	応安2.	1369	世田谷区現存板碑集成
301	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺	永和	1375-78	世田谷区現存板碑集成
302	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺	永享10. 9. 20	1438	世田谷区現存板碑集成
303	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺	文安5. 正. 14	1448	世田谷区現存板碑集成
304	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺	寛正6. 10. 24	1465	世田谷区現存板碑集成
305	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺	応仁元. 亥丁正. 16	1467	世田谷区現存板碑集成
306	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺	明徳2. 8.	1493	世田谷区現存板碑集成
307	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺	7		世田谷区現存板碑集成
308	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺			世田谷区現存板碑集成
309	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺			世田谷区現存板碑集成
310	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺			世田谷区現存板碑集成
311	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺			世田谷区現存板碑集成
312	板碑	上祖師谷	2-3-6	安穩寺			世田谷区現存板碑集成
313	板碑	上祖師谷	3		貞和5. 2.	1349	世田谷区現存板碑集成
314	板碑	上祖師谷	6-12	上祖師谷阿弥陀堂	文和22	1355	世田谷区現存板碑集成
315	板碑	上祖師谷	6-12	上祖師谷阿弥陀堂			世田谷区現存板碑集成
316	板碑	砧	1		正中2. 10.	1325	世田谷区現存板碑集成
317	板碑	砧	1				世田谷区現存板碑集成
318	板碑	成城	1-10-1	砧中学校	暦応2.	1339	世田谷区現存板碑集成
319	板碑	成城	1-10-1	砧中学校	文安3. 寅丙5. 28	1446	世田谷区現存板碑集成
320	板碑	成城	4		長祿2. 寅戊5. 22	1458	世田谷区現存板碑集成
321	板碑	喜多見	3		暦応3. 2.	1340	世田谷区現存板碑集成
322	板碑	喜多見	3		康安2. 2.	1362	世田谷区現存板碑集成

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
323	板碑	喜多見	3		応永12.8.20	1405	世田谷区現存板碑集成
324	板碑	喜多見	3		嘉吉2.3.10	1442	世田谷区現存板碑集成
325	板碑	喜多見	3		文明22.4.5	1472	世田谷区現存板碑集成
326	板碑	喜多見	3		文明7.8口(力)	1475	世田谷区現存板碑集成
327	板碑	喜多見	3		文明17.巳乙10.18	1485	世田谷区現存板碑集成
328	板碑	喜多見	3		明応9.申庚11.11	1500	世田谷区現存板碑集成
329	板碑	喜多見	3		11.16		世田谷区現存板碑集成
330	板碑	喜多見	3		口.20		世田谷区現存板碑集成
331	板碑	喜多見	3				世田谷区現存板碑集成
332	板碑	喜多見	4-17-1	慶元寺	元亨口	1321-24	世田谷区現存板碑集成
333	板碑	喜多見	4-17-1	慶元寺	元亨	1321-24	世田谷区現存板碑集成
334	板碑	喜多見	4-17-1	慶元寺	応永 11.	1394-1428	世田谷区現存板碑集成
335	板碑	喜多見	4-17-1	慶元寺	文龜22口2.20	1504	世田谷区現存板碑集成
336	板碑	喜多見	4-17-1	慶元寺			世田谷区現存板碑集成
337	板碑	喜多見	4-26-1	氷川神社	元亨3.11.17	1323	世田谷区現存板碑集成
338	板碑	喜多見	4-26-1	氷川神社	文明2.寅庚12.1	1470	世田谷区現存板碑集成
339	板碑	喜多見	4-26-1	氷川神社			世田谷区現存板碑集成
340	板碑	喜多見	5-13-10	宝寿院	口曆元.寅丙8.時正	1326	世田谷区現存板碑集成
341	板碑	喜多見	5-19-2	知行院	元徳28.	1330	世田谷区現存板碑集成
342	板碑	喜多見	7		0.4		世田谷区現存板碑集成
343	板碑	喜多見	8		応永17.寅庚11.	1410	世田谷区現存板碑集成
344	板碑	喜多見	8		文明10.11.6	1478	世田谷区現存板碑集成
345	板碑	喜多見	8		文明17天	1485	世田谷区現存板碑集成
346	板碑	喜多見	8				世田谷区現存板碑集成
347	板碑	喜多見	8				世田谷区現存板碑集成
348	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	嘉元3.2.	1305	世田谷区現存板碑集成
349	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	延文5.2.8	1360	世田谷区現存板碑集成
350	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	延文5.11.29	1360	世田谷区現存板碑集成
351	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	応口(永)	1394-1428	世田谷区現存板碑集成
352	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	寛正口口11.24	1460-66	世田谷区現存板碑集成
353	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	文明2.11.11	1470	世田谷区現存板碑集成
354	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	文明13.	1481	世田谷区現存板碑集成
355	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	文明15天	1483	世田谷区現存板碑集成
356	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	長享2天	1488	世田谷区現存板碑集成
357	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	福口(徳)4.14口()	1490-91	世田谷区現存板碑集成
358	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	明応4.卯乙11.15	1495	世田谷区現存板碑集成
359	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	明応7.口	1498	世田谷区現存板碑集成
360	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	7		世田谷区現存板碑集成
361	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺			世田谷区現存板碑集成
362	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺			世田谷区現存板碑集成
363	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺	口口口口		世田谷区現存板碑集成
364	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺			世田谷区現存板碑集成
365	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺			世田谷区現存板碑集成
366	板碑	大蔵	6-4-1	永安寺			世田谷区現存板碑集成
367	板碑	鑄田	4				世田谷区現存板碑集成
368	板碑	岡本	1-20-1	長円寺	貞治22.12.	1365	世田谷区現存板碑集成

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
369	板碑	中町	2-20-11	金剛寺	曆応4. 10.	1341	世田谷区現存板碑集成
370	板碑	瀬田	1-7-7	法徳寺	応安元. 10. 8 (9力)	1368	世田谷区現存板碑集成
371	板碑	瀬田	1-7-7	法徳寺	康正3. 2. 5	1457	世田谷区現存板碑集成
372	板碑	瀬田	1-7-7	法徳寺			世田谷区現存板碑集成
373	板碑	瀬田	1-12-23	行善寺	文明22. 11. 9	1472	世田谷区現存板碑集成
374	板碑	瀬田	1-12-23	行善寺	11		世田谷区現存板碑集成
375	板碑	瀬田	1-12-23	行善寺			世田谷区現存板碑集成
376	板碑	瀬田	1-12-23	行善寺			世田谷区現存板碑集成
377	板碑	瀬田	4-10-3	慈眼寺	貞治22. 9.	1365	世田谷区現存板碑集成
378	板碑	瀬田	4-10-3	慈眼寺			世田谷区現存板碑集成
379	板碑	瀬田	4-12-4	玉川寺	永正16. 5. 6	1519	世田谷区現存板碑集成
380	板碑	上野毛	3		文安2. 9. 13	1445	世田谷区現存板碑集成
381	板碑	上野毛	3		文明15天	1483	世田谷区現存板碑集成
382	板碑	野毛	1				世田谷区現存板碑集成
383	板碑	野毛	2-7-11	善養寺	永仁22口(.)	1296	世田谷区現存板碑集成
384	板碑	野毛	2-7-11	善養寺	嘉暦2. 6.	1327	世田谷区現存板碑集成
385	板碑	野毛	2-7-11	善養寺	応永	1394-1428	世田谷区現存板碑集成
386	板碑	野毛	2-7-11	善養寺	永口口口口		世田谷区現存板碑集成
387	板碑	野毛	2-7-11	善養寺			世田谷区現存板碑集成
388	板碑	野毛	2-7-11	善養寺			世田谷区現存板碑集成
389	板碑	野毛	2-7-11	善養寺			世田谷区現存板碑集成
390	板碑	野毛	2-7-11	善養寺			世田谷区現存板碑集成
391	板碑	尾山台	1		元亨4. 8. 28	1324	世田谷区現存板碑集成
392	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺	正和5. 8.	1316	世田谷区現存板碑集成
393	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺	文保2. 7.	1318	世田谷区現存板碑集成
394	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺	文保2. 11.	1318	世田谷区現存板碑集成
395	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺	元徳元. 10. 口	1329	世田谷区現存板碑集成
396	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺	延文6. 正. 18 (20力)	1361	世田谷区現存板碑集成
397	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺	応安7. 寅甲3. 25	1374	世田谷区現存板碑集成
398	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺	応永16. 1. 17	1409	世田谷区現存板碑集成
399	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺	永享9.	1437	世田谷区現存板碑集成
400	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺	長享3天酉己11. 25	1489	世田谷区現存板碑集成
401	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺	永口 9.		世田谷区現存板碑集成
402	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺			世田谷区現存板碑集成
403	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺			世田谷区現存板碑集成
404	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺			世田谷区現存板碑集成
405	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺			世田谷区現存板碑集成
406	板碑	尾山台	2-10-3	伝乗寺			世田谷区現存板碑集成
407	板碑	深沢	1				世田谷区現存板碑集成
408	板碑	深沢	4				世田谷区現存板碑集成
409	板碑	成城	4-20-15				世田谷区現存板碑集成
410	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	弘安元. 4.	1278	世田谷区現存板碑集成
411	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	延慶3. 10.	1310	世田谷区現存板碑集成
412	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	元応2. 1.	1320	世田谷区現存板碑集成
413	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	元応2.	1320	世田谷区現存板碑集成
414	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	元徳2. 11.	1330	世田谷区現存板碑集成

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
415	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	建武5.4.	1338	世田谷区現存板碑集成
416	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	暦応3.3.	1340	世田谷区現存板碑集成
417	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	暦応3.3.	1340	世田谷区現存板碑集成
418	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	貞和2.11.	1346	世田谷区現存板碑集成
419	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	文和22.12.	1355	世田谷区現存板碑集成
420	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	延文3.8.	1358	世田谷区現存板碑集成
421	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	貞治2.2.	1363	世田谷区現存板碑集成
422	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	貞治3.7.7	1364	世田谷区現存板碑集成
423	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	貞治3.11.3	1364	世田谷区現存板碑集成
424	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	貞治22.	1365	世田谷区現存板碑集成
425	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	貞治5.3.	1366	世田谷区現存板碑集成
426	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	貞治6.4.	1367	世田谷区現存板碑集成
427	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	貞治6.8.	1367	世田谷区現存板碑集成
428	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	応安6.4.22	1373	世田谷区現存板碑集成
429	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	永和5.7.4	1379	世田谷区現存板碑集成
430	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	永和5.	1379	世田谷区現存板碑集成
431	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	康暦2.	1380	世田谷区現存板碑集成
432	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	康暦2.	1380	世田谷区現存板碑集成
433	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	明德2.12.23	1391	世田谷区現存板碑集成
434	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	明德3.2.	1392	世田谷区現存板碑集成
435	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	明德3.4.15	1392	世田谷区現存板碑集成
436	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	応永0口(2.力)	1395	世田谷区現存板碑集成
437	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	応永22.	1397	世田谷区現存板碑集成
438	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	口(応)永14.10.1	1407	世田谷区現存板碑集成
439	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	応永15.4.28	1408	世田谷区現存板碑集成
440	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	応永2口(1.力)	1413	世田谷区現存板碑集成
441	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	応永0口2.1口	1394-1428	世田谷区現存板碑集成
442	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	永享13.4.2	1441	世田谷区現存板碑集成
443	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	永享13.酉辛7.5	1441	世田谷区現存板碑集成
444	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	文安2.	1445	世田谷区現存板碑集成
445	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	文安3.	1446	世田谷区現存板碑集成
446	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	長祿2.10.1口	1458	世田谷区現存板碑集成
447	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	永		世田谷区現存板碑集成
448	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	口口口.11.20		世田谷区現存板碑集成
449	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	.10		世田谷区現存板碑集成
450	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
451	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
452	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
453	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
454	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
455	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
456	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
457	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	延口(徳)	1489-92	世田谷区現存板碑集成
458	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	文口(亀)口(正)	1501-4	世田谷区現存板碑集成
459	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	4		世田谷区現存板碑集成
460	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
461	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	応永222.8	1415	世田谷区現存板碑集成
462	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	応永27.	1420	世田谷区現存板碑集成
463	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	正長2.22	1429	世田谷区現存板碑集成
464	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	寛正2.巳辛12.24	1461	世田谷区現存板碑集成
465	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	寛正3.壬子11.16	1462	世田谷区現存板碑集成
466	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	□□□□2.25(3力)		世田谷区現存板碑集成
467	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	□		世田谷区現存板碑集成
468	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	□治3.		世田谷区現存板碑集成
469	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
470	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
471	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
472	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
473	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
474	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
475	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	応永5.7.26	1398	世田谷区現存板碑集成
476	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	応永22.□□□□	1397	世田谷区現存板碑集成
477	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	康暦2.12.4	1380	世田谷区現存板碑集成
478	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	7		世田谷区現存板碑集成
479	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
480	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	嘉暦2.10.12	1327	世田谷区現存板碑集成
481	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	貞和2.戌丙11.	1346	世田谷区現存板碑集成
482	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	延文2.9.17	1357	世田谷区現存板碑集成
483	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	貞治5.11.20	1366	世田谷区現存板碑集成
484	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	正長2.5.25	1429	世田谷区現存板碑集成
485	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	嘉吉2.11.22	1442	世田谷区現存板碑集成
486	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	文正元.戌丙8.2	1466	世田谷区現存板碑集成
487	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	文明3.卯辛10.20	1471	世田谷区現存板碑集成
488	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	文明4.□壬10.1	1472	世田谷区現存板碑集成
489	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	文明15.卯癸2.20	1483	世田谷区現存板碑集成
490	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	天文7.戌戌正.8□	1538	世田谷区現存板碑集成
491	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	天文12.卯癸8.15	1543	世田谷区現存板碑集成
492	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	慶長9.2.29	1604	世田谷区現存板碑集成
493	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館	□□6.10.□		世田谷区現存板碑集成
494	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
495	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
496	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
497	板碑	世田谷	1-29-18	郷土資料館			世田谷区現存板碑集成
498	板碑	渋谷区東	4-10-28	国学院大学	応口(永)13	1406	世田谷区現存板碑集成
499	板碑	渋谷区東	4-10-28	国学院大学	文正2.5.23	1467	世田谷区現存板碑集成
500	板碑	中野区新井	5-3-5	新井薬師	応永24	1417	世田谷区現存板碑集成
501	板碑	杉並区上高井戸	1-27-15	医王寺	応永卅5.2.11	1428	世田谷区現存板碑集成
502	板碑	杉並区上高井戸	1-27-15	医王寺			世田谷区現存板碑集成
503	板碑	杉並区上高井戸	1-27-15	医王寺			世田谷区現存板碑集成
504	板碑	杉並区上高井戸	1-27-15	医王寺			世田谷区現存板碑集成
505	板碑	杉並区上高井戸	1-27-15	医王寺			世田谷区現存板碑集成
506	石造物	赤堤	3-28-29	西福寺	延享	1744-47	世田谷区石造遺物調査報告書

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
507	石造物	赤堤	3-28-29	西福寺	享保8.11	1723-28	世田谷区石造遺物調査報告書
508	石造物	赤堤	3-28-29	西福寺	宝曆5.9.19	1755	世田谷区石造遺物調査報告書
509	石造物	池尻	2-23-20	路傍	宝永1.11.吉	1704	世田谷区石造遺物調査報告書
510	石造物	池尻	2-23-20	路傍	延宝8.11.吉	1680	世田谷区石造遺物調査報告書
511	石造物	池尻	2-23-20	路傍	元禄5.11.15	1692	世田谷区石造遺物調査報告書
512	石造物	宇奈根	2-24-2	觀音寺	寛文12.8.吉	1672	世田谷区石造遺物調査報告書
513	石造物	宇奈根	2-24-2	觀音寺			世田谷区石造遺物調査報告書
514	石造物	宇奈根	2-24-2	觀音寺	宝永7.9.17	1710	世田谷区石造遺物調査報告書
515	石造物	宇奈根	3-13-3	路傍	享保2.11.吉祥	1717	世田谷区石造遺物調査報告書
516	石造物	宇奈根	2-21-2	常光寺	享保12.10.14	1727	世田谷区石造遺物調査報告書
517	石造物	宇奈根	2-13	路傍	宝曆7.11.吉	1757	世田谷区石造遺物調査報告書
518	石造物	宇奈根	3-13-3	路傍	寛政2.2.吉	1790	世田谷区石造遺物調査報告書
519	石造物	宇奈根	2-24-2	觀音寺	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
520	石造物	宇奈根	2-24-2	觀音寺	明治31.10.吉	1898	世田谷区石造遺物調査報告書
521	石造物	梅丘	1-60-7	杓子稲荷神社	昭和55	1980	世田谷区石造遺物調査報告書
522	石造物	大蔵	6-4-1	永安寺	寛文12.8.吉	1672	世田谷区石造遺物調査報告書
523	石造物	大蔵	5-19-21	路傍	元文5	1740	世田谷区石造遺物調査報告書
524	石造物	大蔵	6-4-1	永安寺	明治19.10	1886	世田谷区石造遺物調査報告書
525	石造物	大蔵	6-4-1	永安寺	文政8.6.吉	1825	世田谷区石造遺物調査報告書
526	石造物	大蔵	6-4-1	永安寺	大正9.7	1920	世田谷区石造遺物調査報告書
527	石造物	大蔵	6-4-1	永安寺	大正10.2	1921	世田谷区石造遺物調査報告書
528	石造物	大蔵	6-12-1	路傍			世田谷区石造遺物調査報告書
529	石造物	大蔵	4-6	路傍	享保1.11.吉祥	1716	世田谷区石造遺物調査報告書
530	石造物	大蔵	4-6	路傍	享保13.11.祥	1728	世田谷区石造遺物調査報告書
531	石造物	大蔵	4-6	路傍	享保15.11.吉	1730	世田谷区石造遺物調査報告書
532	石造物	大蔵	6-2-6		享保17.11.吉	1732	世田谷区石造遺物調査報告書
533	石造物	大蔵	6-2-6		文化7.11.吉	1810	世田谷区石造遺物調査報告書
534	石造物	大蔵	6-4-1	永安寺	正徳1.10.20	1711	世田谷区石造遺物調査報告書
535	石造物	大蔵	6-4-1	永安寺	文政10.3	1827	世田谷区石造遺物調査報告書
536	石造物	大蔵	4-6	路傍	寛政7.1.29	1795	世田谷区石造遺物調査報告書
537	石造物	大蔵	6-16		弘化4	1847	世田谷区石造遺物調査報告書
538	石造物	大蔵	6-4-1	永安寺	明治33.2	1900	世田谷区石造遺物調査報告書
539	石造物	大蔵	1-7-16	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
540	石造物	大蔵	6-4-1	永安寺	寛政7.3	1795	世田谷区石造遺物調査報告書
541	石造物	大原	1-23-4	小祠内	元禄6.11.10	1693	世田谷区石造遺物調査報告書
542	石造物	大原	1-23-4	小祠内	元禄6.11.25	1693	世田谷区石造遺物調査報告書
543	石造物	岡本	3-18	路傍	宝曆13	1763	世田谷区石造遺物調査報告書
544	石造物	岡本	3-9-4	路傍	明治14.3.4	1881	世田谷区石造遺物調査報告書
545	石造物	岡本	3-17	庚申社(路傍)	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
546	石造物	奥沢	5-22-1	奥沢神社	享保20.11.24	1735	世田谷区石造遺物調査報告書
547	石造物	奥沢	5-9		安永2.11.吉	1773	世田谷区石造遺物調査報告書
548	石造物	奥沢	5-7-16	路傍			世田谷区石造遺物調査報告書
549	石造物	奥沢	7-41-3	淨真寺	寛文12.8.10	1672	世田谷区石造遺物調査報告書
550	石造物	奥沢	7-41-3	淨真寺	延宝8.8.4	1680	世田谷区石造遺物調査報告書
551	石造物	奥沢	1-18-3	大高寺	元禄11.11.2	1698	世田谷区石造遺物調査報告書
552	石造物	奥沢	5-22-1	奥沢神社	享保3.8.吉	1718	世田谷区石造遺物調査報告書

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
553	石造物	奥沢	5-22-1	奥沢神社	享保13.11.朔	1728	世田谷区石造遺物調査報告書
554	石造物	奥沢	3-20-17	路傍	寛延3.12.吉	1750	世田谷区石造遺物調査報告書
555	石造物	奥沢	5-22-1	奥沢神社	安永8.10.吉	1779	世田谷区石造遺物調査報告書
556	石造物	奥沢	1-27-17	路傍	文化6.11.吉	1809	世田谷区石造遺物調査報告書
557	石造物	奥沢	7-41-3	淨真寺	文化8.11.吉	1811	世田谷区石造遺物調査報告書
558	石造物	奥沢	3-20-17	路傍	天保11.口.吉	1840	世田谷区石造遺物調査報告書
559	石造物	奥沢	5-7-16	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
560	石造物	奥沢	7-41-3	淨真寺	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
561	石造物	奥沢	1-18-3	大音寺	文政4.3.吉	1821	世田谷区石造遺物調査報告書
562	石造物	奥沢	5-22-1	奥沢神社	天明6.閏10	1786	世田谷区石造遺物調査報告書
563	石造物	奥沢	3-20-17	路傍	文化9.11.吉	1812	世田谷区石造遺物調査報告書
564	石造物	尾山台	2-10-3	伝乗寺	明和6.11.吉	1769	世田谷区石造遺物調査報告書
565	石造物	尾山台	2-10-3	伝乗寺	慶応2.8.吉	1866	世田谷区石造遺物調査報告書
566	石造物	尾山台	2-10-3	伝乗寺	延宝8.11.29	1680	世田谷区石造遺物調査報告書
567	石造物	尾山台	2-11-3	宇佐神社	寛延1.11.吉	1748	世田谷区石造遺物調査報告書
568	石造物	尾山台	2-10	路傍	文化13.2.吉	1816	世田谷区石造遺物調査報告書
569	石造物	尾山台	2-10	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
570	石造物	粕谷	3-33	路傍			世田谷区石造遺物調査報告書
571	石造物	粕谷	3-33	路傍	元禄4.10.16	1691	世田谷区石造遺物調査報告書
572	石造物	粕谷	3-33	路傍	元禄9.10.13	1696	世田谷区石造遺物調査報告書
573	石造物	粕谷	3-33	路傍	宝永7.10.11	1710	世田谷区石造遺物調査報告書
574	石造物	粕谷	3-33	路傍	安永7.11.吉	1778	世田谷区石造遺物調査報告書
575	石造物	粕谷	3-33	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
576	石造物	鎌田	4-11-18	吉祥院	寛政5.7.吉祥	1793	世田谷区石造遺物調査報告書
577	石造物	鎌田	3-11	路傍	安政6.5.吉	1859	世田谷区石造遺物調査報告書
578	石造物	鎌田	4-11-18	吉祥院	元禄3.10.3	1690	世田谷区石造遺物調査報告書
579	石造物	上馬	3-6-3	宗円寺	延享1.11.8	1744	世田谷区石造遺物調査報告書
580	石造物	上馬	3-6-3	宗円寺	寛保1.4	1741	世田谷区石造遺物調査報告書
581	石造物	上馬	3-6-3	宗円寺	寛文2	1662	世田谷区石造遺物調査報告書
582	石造物	上馬	3-6-3	宗円寺	明暦4.2.5	1658	世田谷区石造遺物調査報告書
583	石造物	上馬	5-35-3	駒留八幡神社	天和3.10.22	1683	世田谷区石造遺物調査報告書
584	石造物	上馬	1-33-11	路傍	貞享2.11.4	1685	世田谷区石造遺物調査報告書
585	石造物	上馬	2-7	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
586	石造物	上北沢	1-3-17	長徳寺	延宝2.10.25	1674	世田谷区石造遺物調査報告書
587	石造物	上北沢	1-3-17	長徳寺	元禄12.10	1699	世田谷区石造遺物調査報告書
588	石造物	上北沢	1-12-9	路傍	宝暦9.4.29	1759	世田谷区石造遺物調査報告書
589	石造物	上北沢	1-3-17	長徳寺	延宝6.11.23	1678	世田谷区石造遺物調査報告書
590	石造物	上北沢	1-3-17	長徳寺	延宝8.口.5	1680	世田谷区石造遺物調査報告書
591	石造物	上祖師谷	2-3-6	安禪寺	正徳2.12.24	1712-17	世田谷区石造遺物調査報告書
592	石造物	上祖師谷	2-3-7	路傍	嘉永5閏	1852	世田谷区石造遺物調査報告書
593	石造物	上祖師谷	5-8-1	路傍	天和2.11.17	1682	世田谷区石造遺物調査報告書
594	石造物	上祖師谷	2-3-7	路傍	宝永6.11.吉	1709	世田谷区石造遺物調査報告書
595	石造物	上祖師谷	1-1-4	路傍	文化9.10	1812	世田谷区石造遺物調査報告書
596	石造物	上祖師谷	2-3-7	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
597	石造物	上祖師谷	2-3-6	安禪寺	宝暦8.11.15	1758	世田谷区石造遺物調査報告書
598	石造物	上祖師谷	2-3-6	安禪寺	正徳1.9.吉	1711	世田谷区石造遺物調査報告書

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
599	石造物	上祖師谷	4-19-24	神明社		1767	世田谷区石造遺物調査報告書
600	石造物	上野毛	2-15-15	覚願寺	明和4. 10. 吉	1806	世田谷区石造遺物調査報告書
601	石造物	上野毛	2-15-15	覚願寺	寛延4. 3	1751	世田谷区石造遺物調査報告書
602	石造物	上野毛	2-15-15	覚願寺	元文6. 2. 吉	1741	世田谷区石造遺物調査報告書
603	石造物	上用賀	6-4	路傍	宝曆6. 10. 吉	1756	世田谷区石造遺物調査報告書
604	石造物	上用賀	5-7-23	路傍	享和2. 11. 16	1802	世田谷区石造遺物調査報告書
605	石造物	上用賀	6-4	路傍	天明7. 10. 吉	1787	世田谷区石造遺物調査報告書
606	石造物	北烏山	4-12-1	多聞院	延宝8. 12. 15	1680	世田谷区石造遺物調査報告書
607	石造物	北烏山	3-8	路傍	天明4. 11. 吉	1784	世田谷区石造遺物調査報告書
608	石造物	北烏山	3-8	路傍			世田谷区石造遺物調査報告書
609	石造物	北烏山	1-8	路傍	享保12. 11. 8	1727	世田谷区石造遺物調査報告書
610	石造物	北烏山	1-29-28	路傍	安永4. 11. 口	1775	世田谷区石造遺物調査報告書
611	石造物	北烏山	3-8-15	路傍	享和2. 10. 吉	1802	世田谷区石造遺物調査報告書
612	石造物	北烏山	5-8-1	幸龍寺	文化8. 口1. 26	1811	世田谷区石造遺物調査報告書
613	石造物	北烏山	1-8	路傍	嘉永5. 11. 17	1852	世田谷区石造遺物調査報告書
614	石造物	北烏山	4-12-1	多聞院	元禄10. 4. 11	1697	世田谷区石造遺物調査報告書
615	石造物	北沢	1-30-10	路傍	延享3. 10. 吉	1746	世田谷区石造遺物調査報告書
616	石造物	北沢	1-30-10	路傍			世田谷区石造遺物調査報告書
617	石造物	北沢	3-5-15	路傍			世田谷区石造遺物調査報告書
618	石造物	北沢	4-33	路傍			世田谷区石造遺物調査報告書
619	石造物	北沢	4-33	路傍	貞享3. 10. 15	1686	世田谷区石造遺物調査報告書
620	石造物	北沢	1-34-15	路傍	大正4. 2. 吉口	1915	世田谷区石造遺物調査報告書
621	石造物	北沢	3-17-2	路傍	延宝5. 11. 23	1677	世田谷区石造遺物調査報告書
622	石造物	北沢	4-33	路傍	天和1. 11. 吉	1681	世田谷区石造遺物調査報告書
623	石造物	北沢	4-33	路傍	貞享1. 10. 28	1684	世田谷区石造遺物調査報告書
624	石造物	北沢	3-17-2	路傍	元禄5. 5. 11	1692	世田谷区石造遺物調査報告書
625	石造物	北沢	1-30-10	路傍	宝永1. 11. 12	1704	世田谷区石造遺物調査報告書
626	石造物	北沢	2-14-1	路傍	享保口口	1716-36	世田谷区石造遺物調査報告書
627	石造物	北沢	3-17-2	路傍	明治32. 5. 11	1899	世田谷区石造遺物調査報告書
628	石造物	北沢	1-45-38	路傍	大正9. 7. 吉	1920	世田谷区石造遺物調査報告書
629	石造物	喜多見	4-17-1	慶元寺	明暦2. 10. 25	1656	世田谷区石造遺物調査報告書
630	石造物	喜多見	4-28	旧禰善寺	天和3. 8. 吉	1683	世田谷区石造遺物調査報告書
631	石造物	喜多見	7-7	路傍	享保4. 12	1719	世田谷区石造遺物調査報告書
632	石造物	喜多見	4-17-1	慶元寺	明和3. 10. 吉祥	1766	世田谷区石造遺物調査報告書
633	石造物	喜多見	4-17-1	慶元寺	宝曆10. 10. 24	1760	世田谷区石造遺物調査報告書
634	石造物	喜多見	7-7	路傍	文政4. 11	1821	世田谷区石造遺物調査報告書
635	石造物	喜多見	5-13-10	宝寿院	元治2. 2. 吉	1865	世田谷区石造遺物調査報告書
636	石造物	喜多見	5-13-10	宝寿院			世田谷区石造遺物調査報告書
637	石造物	喜多見	5-22	路傍			世田谷区石造遺物調査報告書
638	石造物	喜多見	4-28	旧禰善寺	貞享5. 9. 吉祥	1688	世田谷区石造遺物調査報告書
639	石造物	喜多見	7-7	路傍	元禄5. 12. 吉	1692	世田谷区石造遺物調査報告書
640	石造物	喜多見	4-28	旧禰善寺	享保8. 11. 吉祥	1723	世田谷区石造遺物調査報告書
641	石造物	喜多見	7-16-1	路傍	天明1. 12. 吉	1781	世田谷区石造遺物調査報告書
642	石造物	喜多見	4-17-1	慶元寺	安政2. 10. 歎喜	1855	世田谷区石造遺物調査報告書
643	石造物	喜多見	4-28	旧禰善寺	貞享3. 8. 吉祥	1686	世田谷区石造遺物調査報告書
644	石造物	喜多見	4-28	旧禰善寺	延享3. 10. 仏生	1746	世田谷区石造遺物調査報告書

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
645	石造物	喜多見	5-19-2	知行院	享和1.2.中旬	1801	世田谷区石造遺物調査報告書
646	石造物	砧	4-4-7	路傍	正徳3	1713	世田谷区石造遺物調査報告書
647	石造物	砧	4-15-1	路傍	享保16.10.吉祥	1731	世田谷区石造遺物調査報告書
648	石造物	砧	4-15-1	路傍	寛文11.7.28	1671	世田谷区石造遺物調査報告書
649	石造物	砧	4-4-7	路傍	宝暦11.6.吉	1751-64	世田谷区石造遺物調査報告書
650	石造物	砧	4-4-7	路傍	文久2.10.吉	1862	世田谷区石造遺物調査報告書
651	石造物	砧	4-15-1	路傍	寛文11.8.吉	1671	世田谷区石造遺物調査報告書
652	石造物	砧	7-1-6	路傍	元治2.2.吉	1865	世田谷区石造遺物調査報告書
653	石造物	砧	5-10	路傍	文政6.2.吉	1823	世田谷区石造遺物調査報告書
654	石造物	砧	7-4	路傍	明和4.3.吉辰	1767	世田谷区石造遺物調査報告書
655	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	享保1.11.24	1716	世田谷区石造遺物調査報告書
656	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	延宝8.□.4	1680	世田谷区石造遺物調査報告書
657	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	宝永5.10.24	1708	世田谷区石造遺物調査報告書
658	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	宝永5.10.24	1708	世田谷区石造遺物調査報告書
659	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	享保1.11.4	1716	世田谷区石造遺物調査報告書
660	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	享保4.10.24	1719	世田谷区石造遺物調査報告書
661	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	享保1.11.11	1748	世田谷区石造遺物調査報告書
662	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
663	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
664	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	明治3.8	1870	世田谷区石造遺物調査報告書
665	石造物	給田	3-7	路傍	宝暦3.3.吉	1753	世田谷区石造遺物調査報告書
666	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	文政4.11	1821	世田谷区石造遺物調査報告書
667	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	安永6.11	1777	世田谷区石造遺物調査報告書
668	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	享保1.11.18	1716	世田谷区石造遺物調査報告書
669	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	宝永4.3	1707	世田谷区石造遺物調査報告書
670	石造物	給田	3-15-20	給田観音堂	正徳5.11.24	1715	世田谷区石造遺物調査報告書
671	石造物	経堂	3-38-1	路傍	万治3.2.吉辰	1660	世田谷区石造遺物調査報告書
672	石造物	経堂	1-22-1	福昌寺	慶応3.2	1867	世田谷区石造遺物調査報告書
673	石造物	経堂	1-22-1	福昌寺			世田谷区石造遺物調査報告書
674	石造物	経堂	1-22-1	福昌寺			世田谷区石造遺物調査報告書
675	石造物	経堂	1-22-14	路傍	元禄4.閏8.吉	1691	世田谷区石造遺物調査報告書
676	石造物	経堂	1-22-1	福昌寺	文政9.11.吉	1826	世田谷区石造遺物調査報告書
677	石造物	経堂	1-12-5	路傍	寛延3.2	1750	世田谷区石造遺物調査報告書
678	石造物	経堂	1-22-1	福昌寺	寛政4.11.吉祥	1792	世田谷区石造遺物調査報告書
679	石造物	経堂	5-25-9	路傍	延宝3.9.15	1675	世田谷区石造遺物調査報告書
680	石造物	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	宝暦4.10	1754	世田谷区石造遺物調査報告書
681	石造物	豪徳寺	1-55-23	善性寺	元禄9.10.吉	1696	世田谷区石造遺物調査報告書
682	石造物	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	明治42.1.4	1909	世田谷区石造遺物調査報告書
683	石造物	豪徳寺	1-1-1	路傍	明治43.4.19	1910	世田谷区石造遺物調査報告書
684	石造物	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	宝暦8.10.17	1758	世田谷区石造遺物調査報告書
685	石造物	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	安永3.8	1774	世田谷区石造遺物調査報告書
686	石造物	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	安永6.11.吉	1777	世田谷区石造遺物調査報告書
687	石造物	豪徳寺	1-55-23	善性寺	天明4.7.仏歎喜	1784	世田谷区石造遺物調査報告書
688	石造物	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
689	石造物	豪徳寺	2-24-7	豪徳寺	寛政3.3.吉	1791	世田谷区石造遺物調査報告書
690	石造物	豪徳寺	1-55-23	善性寺			世田谷区石造遺物調査報告書

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
691	石造物	駒沢	2-4-12	路傍	文化13.9.吉	1816	世田谷区石造遺物調査報告書
692	石造物	駒沢	2-11-14	路傍			世田谷区石造遺物調査報告書
693	石造物	駒沢	2-17-1	路傍	延享4.12.吉	1747	世田谷区石造遺物調査報告書
694	石造物	駒沢	3-2-5	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
695	石造物	駒沢	3-2-5	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
696	石造物	桜	1-26-35	勝光院	宝暦10.10	1760	世田谷区石造遺物調査報告書
697	石造物	桜	1-56-1	路傍	享保10.9.26	1725	世田谷区石造遺物調査報告書
698	石造物	桜	1-56-1	路傍	嘉永2.2.吉	1849	世田谷区石造遺物調査報告書
699	石造物	桜	2-12-1	路傍	宝暦9.9.吉	1759	世田谷区石造遺物調査報告書
700	石造物	桜丘	2-29-1	路傍	延宝7.11.吉	1679	世田谷区石造遺物調査報告書
701	石造物	桜丘	4-13-4	久成院	天和2.8.吉	1682	世田谷区石造遺物調査報告書
702	石造物	桜丘	2-29-1	路傍	正徳3.4.13	1713	世田谷区石造遺物調査報告書
703	石造物	桜丘	4-14	路傍	享保6.11.吉	1721	世田谷区石造遺物調査報告書
704	石造物	桜丘	2-29-1	路傍	元文4.11.17	1739	世田谷区石造遺物調査報告書
705	石造物	桜丘	4-13-4	久成院	寛延1.11.吉	1748	世田谷区石造遺物調査報告書
706	石造物	桜丘	4-13-4	久成院	宝暦4.10.吉	1754	世田谷区石造遺物調査報告書
707	石造物	桜丘	2-29-1	路傍	安永6.10.吉	1777	世田谷区石造遺物調査報告書
708	石造物	桜丘	1-4-10	路傍	安永8.9.吉	1779	世田谷区石造遺物調査報告書
709	石造物	桜丘	2-29-3	稻荷神社	文政9.11.吉	1826	世田谷区石造遺物調査報告書
710	石造物	桜丘	5-16-11	路傍	文化1.11	1804	世田谷区石造遺物調査報告書
711	石造物	桜丘	2-29-1	路傍	延宝4.9.吉祥	1676	世田谷区石造遺物調査報告書
712	石造物	桜丘	4-13-4	久成院	天和2.8.吉	1682	世田谷区石造遺物調査報告書
713	石造物	桜丘	4-13-4	久成院	宝暦13.11.吉	1763	世田谷区石造遺物調査報告書
714	石造物	桜丘	4-13-4	久成院	昭和9.8.16	1934	世田谷区石造遺物調査報告書
715	石造物	桜丘	4-1-10	路傍			世田谷区石造遺物調査報告書
716	石造物	桜上水	2-24-6	密蔵院	万治3.10.24	1660	世田谷区石造遺物調査報告書
717	石造物	桜上水	2-24-6	密蔵院	寛文10.12.26	1670-1711	世田谷区石造遺物調査報告書
718	石造物	桜上水	2-24-6	密蔵院	享保3.11.23	1718	世田谷区石造遺物調査報告書
719	石造物	桜上水	2-24-6	密蔵院	元禄3.12.4	1690	世田谷区石造遺物調査報告書
720	石造物	桜上水	2-24-6	密蔵院	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
721	石造物	桜新町	2-27	路傍	安永9.7.吉	1780	世田谷区石造遺物調査報告書
722	石造物	桜新町	1-16		明治38.12.6	1905	世田谷区石造遺物調査報告書
723	石造物	桜新町	1-16		明治38.12.6	1905	世田谷区石造遺物調査報告書
724	石造物	三軒茶屋	2-56	路傍	延宝8.11.5	1680	世田谷区石造遺物調査報告書
725	石造物	三軒茶屋	2-56	路傍	寛延2.10.吉	1749	世田谷区石造遺物調査報告書
726	石造物	三軒茶屋	2-13	路傍	寛延2	1749	世田谷区石造遺物調査報告書
727	石造物	三軒茶屋	2-56	路傍	大正13.3.9	1924	世田谷区石造遺物調査報告書
728	石造物	下馬	2-11-6	西澄寺	元禄8.11.吉	1695	世田谷区石造遺物調査報告書
729	石造物	下馬	5-23-16	路傍	正徳4.4.吉	1714	世田谷区石造遺物調査報告書
730	石造物	下馬	2-11-6	西澄寺	元禄8.10.15	1695	世田谷区石造遺物調査報告書
731	石造物	下馬	6-15-3	路傍	文化3.10	1806	世田谷区石造遺物調査報告書
732	石造物	下馬	6-37-16	路傍	安政2.3.吉	1855	世田谷区石造遺物調査報告書
733	石造物	下馬	2-11-6	西澄寺			世田谷区石造遺物調査報告書
734	石造物	下馬	5-25-17	お猿庚申堂	寛文11.11.吉	1671	世田谷区石造遺物調査報告書
735	石造物	下馬	5-25-17	お猿庚申堂	元禄7.11.20	1694	世田谷区石造遺物調査報告書
736	石造物	下馬	1-10-5	路傍	元禄7.12.3	1694	世田谷区石造遺物調査報告書

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
737	石造物	下馬	6-37-16	路傍	宝永3.11.6	1706	世田谷区石造遺物調査報告書
738	石造物	下馬	2-11-6	西澄寺	正徳2.11.16	1712	世田谷区石造遺物調査報告書
739	石造物	下馬	4-27-26	駒繫神社	享保7.2.吉祥	1722	世田谷区石造遺物調査報告書
740	石造物	下馬	2-15-7	路傍	宝暦4.10.28	1754	世田谷区石造遺物調査報告書
741	石造物	下馬	1-10-6	路傍	明和3.10.吉祥	1766	世田谷区石造遺物調査報告書
742	石造物	下馬	5-23-16	路傍	寛政口.11	1789-1801	世田谷区石造遺物調査報告書
743	石造物	下馬	5-25-17	お猿庚申堂	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
744	石造物	下馬	2-11-6	西澄寺	天保15.2.15	1844	世田谷区石造遺物調査報告書
745	石造物	新町	2-5-12	善養院	寛政8.	1796	世田谷区石造遺物調査報告書
746	石造物	新町	1-3	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
747	石造物	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	宝永7.8.吉	1710	世田谷区石造遺物調査報告書
748	石造物	成城	1-6	路傍	享保4.12.4	1719	世田谷区石造遺物調査報告書
749	石造物	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	弘化3.4.吉辰	1846	世田谷区石造遺物調査報告書
750	石造物	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	元禄13.12.吉	1700	世田谷区石造遺物調査報告書
751	石造物	成城	1-6	路傍	享保7.10.9	1722	世田谷区石造遺物調査報告書
752	石造物	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	寛政3.7.吉	1791	世田谷区石造遺物調査報告書
753	石造物	成城	9-27-8	路傍	寛政4.11.吉	1792	世田谷区石造遺物調査報告書
754	石造物	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	宝永6.2.24	1709	世田谷区石造遺物調査報告書
755	石造物	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	宝暦9.11	1759	世田谷区石造遺物調査報告書
756	石造物	成城	9-1-6	祖師谷観音堂	享和2.2	1802	世田谷区石造遺物調査報告書
757	石造物	成城	4-2-8	喜多見不動堂	文化8.11.吉	1811	世田谷区石造遺物調査報告書
758	石造物	瀬田	1-12-23	行善寺	延宝4.10.15	1676	世田谷区石造遺物調査報告書
759	石造物	瀬田	4-10-3	慈眼寺	元禄9.12.10	1696	世田谷区石造遺物調査報告書
760	石造物	瀬田	1-12-23	行善寺	享保5.10.12	1720	世田谷区石造遺物調査報告書
761	石造物	瀬田	5-11	路傍	大正6.3	1917	世田谷区石造遺物調査報告書
762	石造物	瀬田	4-11	路傍	元禄10.閏2.20	1697	世田谷区石造遺物調査報告書
763	石造物	瀬田	5-2	路傍	安永5.11.吉	1776	世田谷区石造遺物調査報告書
764	石造物	瀬田	5-22-1	路傍	明和3.2.10	1766	世田谷区石造遺物調査報告書
765	石造物	瀬田	4-10-3	慈眼寺	天保5.3.21	1834	世田谷区石造遺物調査報告書
766	石造物	瀬田	1-12-23	行善寺	寛文7.11.20	1667	世田谷区石造遺物調査報告書
767	石造物	瀬田	1-7-7	法徳寺	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
768	石造物	瀬田	1-12-23	行善寺	貞享2.2.吉	1685	世田谷区石造遺物調査報告書
769	石造物	瀬田	4-11-31	瀬田玉川神社	元禄3.8.15	1690	世田谷区石造遺物調査報告書
770	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	寛文2.2.13	1662	世田谷区石造遺物調査報告書
771	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	寛文12.8.吉	1672	世田谷区石造遺物調査報告書
772	石造物	世田谷	4-27-4	勝国寺	享保17.10.吉	1732	世田谷区石造遺物調査報告書
773	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	宝暦2.11.24	1752	世田谷区石造遺物調査報告書
774	石造物	世田谷	1-29-18	郷土資料館	宝暦6.8.25	1756	世田谷区石造遺物調査報告書
775	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	明治26.3.歡喜	1893	世田谷区石造遺物調査報告書
776	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	貞享1.7.5	1684	世田谷区石造遺物調査報告書
777	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	元禄8.3.吉	1695	世田谷区石造遺物調査報告書
778	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	享保6.9.18	1721	世田谷区石造遺物調査報告書
779	石造物	世田谷	4-7-9	大吉寺	寛延3.9.吉	1750	世田谷区石造遺物調査報告書
780	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	天保4.7	1833	世田谷区石造遺物調査報告書
781	石造物	世田谷	1-29-18	郷土資料館	文化10.2.吉	1813	世田谷区石造遺物調査報告書
782	石造物	世田谷	4-7-12	円光院	天保13.6	1841	世田谷区石造遺物調査報告書

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
783	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	明治9.3.吉	1876	世田谷区石造遺物調査報告書
784	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	明治32.9	1899	世田谷区石造遺物調査報告書
785	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	大正15.2.10	1926	世田谷区石造遺物調査報告書
786	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺			世田谷区石造遺物調査報告書
787	石造物	世田谷	4-7-12	円光院			世田谷区石造遺物調査報告書
788	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	貞享2.9.吉	1685	世田谷区石造遺物調査報告書
789	石造物	世田谷	4-17-13	路傍	享保9	1724	世田谷区石造遺物調査報告書
790	石造物	世田谷	1-29-18	郷土資料館	享保13.3.5.10	1728	世田谷区石造遺物調査報告書
791	石造物	世田谷	1-29-18	郷土資料館	文化13.□.吉	1816	世田谷区石造遺物調査報告書
792	石造物	世田谷	1-29-18	郷土資料館	文政10.11.吉	1827	世田谷区石造遺物調査報告書
793	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
794	石造物	世田谷	4-17-13	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
795	石造物	世田谷	1-29-18	郷土資料館	延享3.7.吉	1746	世田谷区石造遺物調査報告書
796	石造物	世田谷	1-29-18	郷土資料館	天明5.11	1785	世田谷区石造遺物調査報告書
797	石造物	世田谷	1-38-20	浄光寺	享保10.2.11	1725	世田谷区石造遺物調査報告書
798	石造物	世田谷	4-7-12	円光院	元文6.1.吉	1741	世田谷区石造遺物調査報告書
799	石造物	祖師谷	2-3-11	路傍	正徳6.閏2.5	1716	世田谷区石造遺物調査報告書
800	石造物	祖師谷	2-3-11	路傍	元文1.10.1□	1736	世田谷区石造遺物調査報告書
801	石造物	祖師谷	6-5	路傍	寛保4.3.吉祥	1744	世田谷区石造遺物調査報告書
802	石造物	祖師谷	5-1-7	神明社	安永6.4.吉	1777	世田谷区石造遺物調査報告書
803	石造物	祖師谷	6-5	路傍	享和2.11.吉	1802	世田谷区石造遺物調査報告書
804	石造物	代沢	1-2-4	路傍	天和1.10.15	1681	世田谷区石造遺物調査報告書
805	石造物	代沢	4-21-6	路傍	天明1.10.吉	1781	世田谷区石造遺物調査報告書
806	石造物	代沢	3-27-1	森蔵寺	文化2.4.8	1805	世田谷区石造遺物調査報告書
807	石造物	代沢	3-27-1	森蔵寺			世田谷区石造遺物調査報告書
808	石造物	代沢	3-27-1	森蔵寺			世田谷区石造遺物調査報告書
809	石造物	代沢	3-27-1	森蔵寺	延宝8.2.15	1680	世田谷区石造遺物調査報告書
810	石造物	代沢	3-27-1	森蔵寺	寛文8.11.25	1668	世田谷区石造遺物調査報告書
811	石造物	代沢	3-27-1	森蔵寺	延宝2.10.晦	1674	世田谷区石造遺物調査報告書
812	石造物	代沢	3-27-1	森蔵寺	延宝8.4.朔	1680	世田谷区石造遺物調査報告書
813	石造物	代沢	3-27-1	森蔵寺	天和1.11.11	1681	世田谷区石造遺物調査報告書
814	石造物	代沢	3-27-1	森蔵寺	元文5.11.15	1740	世田谷区石造遺物調査報告書
815	石造物	代沢	1-2-4	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
816	石造物	代沢	2-44-9	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
817	石造物	代沢	3-27-1	森蔵寺	文化11春	1814	世田谷区石造遺物調査報告書
818	石造物	代沢	3-27-1	森蔵寺	文化11.3	1814	世田谷区石造遺物調査報告書
819	石造物	太子堂	3-30-8	円泉寺	寛政11.11	1799	世田谷区石造遺物調査報告書
820	石造物	太子堂	4-15-1	教学院	大正8.11	1919	世田谷区石造遺物調査報告書
821	石造物	太子堂	4-15-1	教学院	大正10.11	1921	世田谷区石造遺物調査報告書
822	石造物	太子堂	4-15-1	教学院	大正14.4	1925	世田谷区石造遺物調査報告書
823	石造物	太子堂	3-30-8	円泉寺	寛文12.11.朔	1672	世田谷区石造遺物調査報告書
824	石造物	太子堂	3-30-8	円泉寺	寛文13.8.吉	1673	世田谷区石造遺物調査報告書
825	石造物	太子堂	3-30-8	円泉寺	延宝4	1676	世田谷区石造遺物調査報告書
826	石造物	太子堂	3-30-8	円泉寺	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
827	石造物	太子堂	3-30-8	円泉寺	寛政6.2	1794	世田谷区石造遺物調査報告書
828	石造物	太子堂	3-30-8	円泉寺	文政11	1828	世田谷区石造遺物調査報告書

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
829	石造物	代田	2-17-3	巴乘院	享保6.10.24	1721	世田谷区石造遺物調査報告書
830	石造物	代田	2-17-3	巴乘院	宝曆5.2.24	1755	世田谷区石造遺物調査報告書
831	石造物	代田	2-17-3	巴乘院	延享2.12.吉祥	1745-1886	世田谷区石造遺物調査報告書
832	石造物	代田	3-11-4	路傍	明治31.7	1898	世田谷区石造遺物調査報告書
833	石造物	代田	3-24	路傍	貞享2.9.27	1685	世田谷区石造遺物調査報告書
834	石造物	代田	2-17-3	巴乘院	元禄13.3.27	1700	世田谷区石造遺物調査報告書
835	石造物	代田	3-24	路傍	宝永6.10.6	1709	世田谷区石造遺物調査報告書
836	石造物	代田	2-17-3	巴乘院	正徳1.11.5	1711	世田谷区石造遺物調査報告書
837	石造物	玉川	3-29-9	路傍	享保13.11.吉	1728	世田谷区石造遺物調査報告書
838	石造物	玉川	2-14-14	路傍	安永6.2.吉	1777	世田谷区石造遺物調査報告書
839	石造物	玉川	2-14-14	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
840	石造物	玉川台	2-3	路傍	安永6.11.吉	1777	世田谷区石造遺物調査報告書
841	石造物	千歳台	4-11-11	東覚院	正徳2.12.24	1712-13	世田谷区石造遺物調査報告書
842	石造物	千歳台	4-11-11	東覚院	正徳5.8.彼岸中	1715	世田谷区石造遺物調査報告書
843	石造物	千歳台	4-11-11	東覚院	寛文9.閏10.16	1669	世田谷区石造遺物調査報告書
844	石造物	千歳台	4-11-11	東覚院	元文3.12.吉祥	1738	世田谷区石造遺物調査報告書
845	石造物	千歳台	4-11-11	東覚院	文化11.10.吉	1814	世田谷区石造遺物調査報告書
846	石造物	千歳台	4-11-11	東覚院	大正15.3.吉	1926	世田谷区石造遺物調査報告書
847	石造物	千歳台	4-11-11	東覚院	元禄6.2.21	1693	世田谷区石造遺物調査報告書
848	石造物	千歳台	4-11-11	東覚院	天保5.3.21	1834	世田谷区石造遺物調査報告書
849	石造物	弦巻	5-2-12	路傍	天和2.10.15	1682	世田谷区石造遺物調査報告書
850	石造物	弦巻	1-41	路傍	寛延4.正.24	1751	世田谷区石造遺物調査報告書
851	石造物	弦巻	5-2-12	路傍	元禄1.10.21	1688	世田谷区石造遺物調査報告書
852	石造物	弦巻	5-2-12	路傍	元禄10.10.5	1697	世田谷区石造遺物調査報告書
853	石造物	弦巻	1-41	路傍	天保11.3.吉	1840	世田谷区石造遺物調査報告書
854	石造物	弦巻	1-34-17	常在寺	文久1.10.吉	1861	世田谷区石造遺物調査報告書
855	石造物	弦巻	5-2-12	路傍	延宝5.口.吉祥	1677	世田谷区石造遺物調査報告書
856	石造物	弦巻	5-2-12	路傍	延宝8.11.5	1680	世田谷区石造遺物調査報告書
857	石造物	弦巻	1-34-17	常在寺	安永2.3	1773	世田谷区石造遺物調査報告書
858	石造物	弦巻	5-19-20	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
859	石造物	弦巻	1-41	路傍	天保3.閏11	1832	世田谷区石造遺物調査報告書
860	石造物	弦巻	5-2-12	路傍	文政2.10.吉	1819	世田谷区石造遺物調査報告書
861	石造物	弦巻	5-2-12	路傍	安永2.6.吉祥	1773	世田谷区石造遺物調査報告書
862	石造物	弦巻	7-14-2	路傍	延享3.2.吉祥	1746	世田谷区石造遺物調査報告書
863	石造物	等々力	7-13	路傍	元禄3.4.吉祥	1690	世田谷区石造遺物調査報告書
864	石造物	等々力	6-24-18	路傍	元禄17.5.吉	1704	世田谷区石造遺物調査報告書
865	石造物	等々力	6-24-18	路傍	宝永2.2.19	1705	世田谷区石造遺物調査報告書
866	石造物	等々力	6-24-18	路傍	享保4.2.吉	1719	世田谷区石造遺物調査報告書
867	石造物	等々力	6-24-18	路傍	元文5.10.吉	1740	世田谷区石造遺物調査報告書
868	石造物	等々力	6-24-18	路傍	文政12.10.11	1800	世田谷区石造遺物調査報告書
869	石造物	等々力	3-15	路傍	文化10.8.吉	1813	世田谷区石造遺物調査報告書
870	石造物	等々力	7-14-2	路傍	大正10.10	1921	世田谷区石造遺物調査報告書
871	石造物	等々力	1-22-47	等々力不動	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
872	石造物	等々力					
873	石造物	等々力					
874	石造物	等々力					

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
875	石造物	等々力	7-13	路傍	年不詳		世田谷区石造物調査報告書
876	石造物	等々力	7-13	路傍	年不詳		世田谷区石造物調査報告書
877	石造物	等々力	8-19-7	路傍	安永9.8.吉	1780	世田谷区石造物調査報告書
878	石造物	中町	2-20-11	金剛寺	寛保2.8.吉辰	1742	世田谷区石造物調査報告書
879	石造物	中町	2-20-11	金剛寺	宝暦12.12.吉	1762	世田谷区石造物調査報告書
880	石造物	中町	2-20-11	金剛寺	貞享1.11.10	1684	世田谷区石造物調査報告書
881	石造物	中町	2-20-11	金剛寺	享保10.11.28	1725	世田谷区石造物調査報告書
882	石造物	中町	2-20-11	金剛寺	宝暦4.1.吉辰	1754	世田谷区石造物調査報告書
883	石造物	中町	2-20-11	金剛寺	宝暦10.9.吉辰	1760	世田谷区石造物調査報告書
884	石造物	中町	2-20-11	金剛寺	明和2.11.吉祥	1765	世田谷区石造物調査報告書
885	石造物	中町	2-20-11	金剛寺	天明1.10.吉	1781	世田谷区石造物調査報告書
886	石造物	中町	2-20-11	金剛寺	文政5.8.15	1822	世田谷区石造物調査報告書
887	石造物	中町	2-20-11	金剛寺	文政12.3	1829	世田谷区石造物調査報告書
888	石造物	中町	2-20-11	金剛寺	寛延2.11	1749	世田谷区石造物調査報告書
889	石造物	野毛	2-7-11	善養寺	元治1.6.15	1864	世田谷区石造物調査報告書
890	石造物	野毛	2-7-11	善養寺	大正14.3.20	1925	世田谷区石造物調査報告書
891	石造物	野毛	2-7-11	善養寺	寛文8.11.25	1668	世田谷区石造物調査報告書
892	石造物	野毛	2-14-1	六所神社	文政10.10.吉	1827	世田谷区石造物調査報告書
893	石造物	野毛	2-14-1	六所神社	昭和6.10.吉	1931	世田谷区石造物調査報告書
894	石造物	野毛	2-7-11	善養寺	寛政5.3.善	1793	世田谷区石造物調査報告書
895	石造物	野沢	3-10	野沢	嘉永6.8.吉	1853	世田谷区石造物調査報告書
896	石造物	野沢	1-9-31	路傍	寛文10.10.吉	1670	世田谷区石造物調査報告書
897	石造物	野沢	2-2-13	野沢稲荷神社	元禄8.11.吉	1695	世田谷区石造物調査報告書
898	石造物	野沢	3-10		年不詳		世田谷区石造物調査報告書
899	石造物	野沢	3-10		宝暦10.4.吉	1760	世田谷区石造物調査報告書
900	石造物	野沢	3-10		寛政6.11.吉祥	1794	世田谷区石造物調査報告書
901	石造物	八幡山	1-12-2	八幡社	享保7.6.15	1722	世田谷区石造物調査報告書
902	石造物	八幡山	1-12-2	八幡社	寛保3.10.24	1743	世田谷区石造物調査報告書
903	石造物	八幡山	1-12-2	八幡社	宝暦7.10.吉	1757	世田谷区石造物調査報告書
904	石造物	羽根木	1-5-2	路傍	元禄10.10.15	1697	世田谷区石造物調査報告書
905	石造物	羽根木	2-9-5	路傍	明和6.10	1769	世田谷区石造物調査報告書
906	石造物	羽根木	2-9-5	路傍	明治31.4	1898	世田谷区石造物調査報告書
907	石造物	羽根木	2-9-5	路傍	寛文11.10.28	1671	世田谷区石造物調査報告書
908	石造物	羽根木	2-9-5	路傍	天和1.11.28	1681	世田谷区石造物調査報告書
909	石造物	羽根木	2-9-5	路傍	貞享4.11.21	1687	世田谷区石造物調査報告書
910	石造物	羽根木	2-9-5	路傍	宝永3.11.6	1706	世田谷区石造物調査報告書
911	石造物	羽根木	1-5-2	小祠内	貞享4.10.27	1687	世田谷区石造物調査報告書
912	石造物	羽根木	1-5-2	小祠内	元禄12.11.朔	1699	世田谷区石造物調査報告書
913	石造物	羽根木	1-5-2	小祠内	正徳1.8.27	1711	世田谷区石造物調査報告書
914	石造物	東玉川	1-28-12	路傍	享和3.11.18	1803	世田谷区石造物調査報告書
915	石造物	東玉川	1-20-15	路傍	正徳6.1.吉	1716	世田谷区石造物調査報告書
916	石造物	東玉川	1-32-9	東玉川神社	天明5.11	1785	世田谷区石造物調査報告書
917	石造物	深沢	6-14-2	医王寺	享保17.8.8	1732	世田谷区石造物調査報告書
918	石造物	深沢	6-14-2	医王寺	貞享4.2.7	1687	世田谷区石造物調査報告書
919	石造物	深沢	4-36	路傍	明治23.12	1890	世田谷区石造物調査報告書
920	石造物	深沢	6-1-10	路傍	延宝8.8.4	1680	世田谷区石造物調査報告書

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
921	石造物	深沢	6-14-2	医王寺	延宝8.11.5	1680	世田谷区石造遺物調査報告書
922	石造物	深沢	2-8-3	路傍	正徳5.11.28	1715	世田谷区石造遺物調査報告書
923	石造物	深沢	6-14-2	医王寺	享保17.9.吉	1732	世田谷区石造遺物調査報告書
924	石造物	深沢	6-1-10	路傍	寛延2.1.吉	1749	世田谷区石造遺物調査報告書
925	石造物	深沢	2-8-3	路傍	明和6.12.吉	1769	世田谷区石造遺物調査報告書
926	石造物	深沢	5-18-12	路傍	明和8.9.吉	1771	世田谷区石造遺物調査報告書
927	石造物	深沢	2-8-3	路傍	安永6.11.吉	1777	世田谷区石造遺物調査報告書
928	石造物	深沢	6-14-2	医王寺	天明5.9	1785	世田谷区石造遺物調査報告書
929	石造物	深沢	4-36	路傍	文化13.2.吉	1816	世田谷区石造遺物調査報告書
930	石造物	深沢	6-1-29	深沢不動教会	文政3.5.吉	1820	世田谷区石造遺物調査報告書
931	石造物	深沢	2-8-3	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
932	石造物	深沢	4-36	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
933	石造物	深沢	6-1-29	深沢不動教会	宝暦13.10	1763	世田谷区石造遺物調査報告書
934	石造物	深沢	5-1-12	路傍	天明3春	1783	世田谷区石造遺物調査報告書
935	石造物	深沢	6-14-2	医王寺	大正11.8	1922	世田谷区石造遺物調査報告書
936	石造物	深沢	6-14-2	医王寺	嘉永5.2	1852	世田谷区石造遺物調査報告書
937	石造物	船橋	1-20-16	船橋観音堂	寛政3.11	1791	世田谷区石造遺物調査報告書
938	石造物	船橋	4-39-32	宝性寺	正徳3.9.18	1713-15	世田谷区石造遺物調査報告書
939	石造物	船橋	1-20-16	船橋観音堂	延宝3.1.吉	1675	世田谷区石造遺物調査報告書
940	石造物	船橋	4-39-32	宝性寺	元禄4.9.15	1691	世田谷区石造遺物調査報告書
941	石造物	船橋	1-20-16	船橋観音堂	安政5.2	1858	世田谷区石造遺物調査報告書
942	石造物	船橋	1-20-16	船橋観音堂	万延1.7.16	1860	世田谷区石造遺物調査報告書
943	石造物	船橋	1-20-16	船橋観音堂	延宝4.11.吉祥	1676	世田谷区石造遺物調査報告書
944	石造物	船橋	1-20-16	船橋観音堂	延宝7.10.22	1679	世田谷区石造遺物調査報告書
945	石造物	船橋	1-20-16	船橋観音堂	延宝8.11.5	1680	世田谷区石造遺物調査報告書
946	石造物	船橋	1-20-16	船橋観音堂	貞享3.10.21	1686	世田谷区石造遺物調査報告書
947	石造物	船橋	4-39-32	宝性寺	元禄16.11.吉	1703	世田谷区石造遺物調査報告書
948	石造物	船橋	3-39-32	宝性寺	明治27.3	1894	世田谷区石造遺物調査報告書
949	石造物	松原	1-39-21	路傍	寛保2.8.吉	1742	世田谷区石造遺物調査報告書
950	石造物	松原	2-4-13	路傍	宝暦3.10	1753	世田谷区石造遺物調査報告書
951	石造物	松原	1-14-11	路傍	享保13.1	1728-51	世田谷区石造遺物調査報告書
952	石造物	松原	1-39-21	路傍	文政5.11.吉	1822	世田谷区石造遺物調査報告書
953	石造物	松原	6-32-1	路傍	昭和15.7	1940	世田谷区石造遺物調査報告書
954	石造物	松原	4-8-25	路傍	元禄15.10.吉	1702	世田谷区石造遺物調査報告書
955	石造物	松原	1-39-21	路傍	文化5.10.吉	1808	世田谷区石造遺物調査報告書
956	石造物	松原	6-15-1	小祠内	文久3.10再建	1863	世田谷区石造遺物調査報告書
957	石造物	三宿	2-38-9	路傍	延宝8.11.5	1680	世田谷区石造遺物調査報告書
958	石造物	三宿	2-27-6	旧多聞寺跡	元禄14.11	1701	世田谷区石造遺物調査報告書
959	石造物	三宿	2-38-9	路傍	昭和27.7.31	1952	世田谷区石造遺物調査報告書
960	石造物	三宿	2-38-9	路傍	年不詳		世田谷区石造遺物調査報告書
961	石造物	南烏山	4-1	路傍	正徳2.9.9	1712	世田谷区石造遺物調査報告書
962	石造物	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂	宝暦5.11.吉	1755	世田谷区石造遺物調査報告書
963	石造物	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂			世田谷区石造遺物調査報告書
964	石造物	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂	文政10.10.吉	1827	世田谷区石造遺物調査報告書
965	石造物	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂	元禄2.10.吉祥	1689	世田谷区石造遺物調査報告書
966	石造物	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂	慶応2.6	1866	世田谷区石造遺物調査報告書

NO	名称	住居表示	番地	所在地	紀年	西曆	出典
967	石造物	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂	大正4.7.15	1915	世田谷区石造遺物調査報告書
968	石造物	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂			世田谷区石造遺物調査報告書
969	石造物	南烏山	2-23-16	烏山念仏堂			世田谷区石造遺物調査報告書
970	石造物	南烏山	2-22-7	路傍	貞享3.3.6	1686	世田谷区石造遺物調査報告書
971	石造物	南烏山	4-1	路傍	元禄13.11.朔	1700	世田谷区石造遺物調査報告書
972	石造物	南烏山	4-1	路傍	宝永1.□.6	1704	世田谷区石造遺物調査報告書
973	石造物	南烏山	4-1	路傍	享保18.10.13	1733	世田谷区石造遺物調査報告書
974	石造物	南烏山	2-21-1	烏山神社	宝暦13.11.19	1763	世田谷区石造遺物調査報告書
975	石造物	南烏山	3-18-15	路傍	安永9.11.吉	1780	世田谷区石造遺物調査報告書
976	石造物	南烏山	2-31	路傍	天保10.1	1839	世田谷区石造遺物調査報告書
977	石造物	宮坂	2-1-11	常徳院	享保20.10.24	1735	世田谷区石造遺物調査報告書
978	石造物	宮坂	2-1-11	常徳院	慶応1.11.朔	1865	世田谷区石造遺物調査報告書
979	石造物	宮坂	2-1-11	常徳院	安永6.11.24	1777	世田谷区石造遺物調査報告書
980	石造物	宮坂	3-11-5	路傍	大正9.7.12	1920	世田谷区石造遺物調査報告書
981	石造物	宮坂	1-43-10	路傍	正徳1.11.23	1711	世田谷区石造遺物調査報告書
982	石造物	宮坂	2-1-11	常徳院	享保16.11.朔	1731	世田谷区石造遺物調査報告書
983	石造物	宮坂	1-43-10	路傍	宝暦11.9.吉祥	1761	世田谷区石造遺物調査報告書
984	石造物	宮坂	2-1-11	常徳院	天保2.3.初1	1831	世田谷区石造遺物調査報告書
985	石造物	用賀	4-20-1	無量寺	天明8.8.吉	1788	世田谷区石造遺物調査報告書
986	石造物	用賀	4-14-4	真福寺	元文5.3	1740	世田谷区石造遺物調査報告書
987	石造物	用賀	4-20-1	無量寺	大正11.2.吉	1922	世田谷区石造遺物調査報告書
988	石造物	用賀	4-26-11	路傍	元文5.10.23	1740	世田谷区石造遺物調査報告書
989	石造物	用賀	4-14-4	真福寺	弘化4(由来碑による)	1847	世田谷区石造遺物調査報告書
990	石造物	用賀	4-14-4	真福寺	嘉永3.6.吉祥	1850	世田谷区石造遺物調査報告書
991	石造物	用賀	4-20-1	無量寺	享保9.4.11	1724	世田谷区石造遺物調査報告書
992	石造物	用賀	4-20-1	無量寺	寛保3	1743	世田谷区石造遺物調査報告書
993	石造物	用賀	4-14-4	真福寺	文化5.9.16	1808	世田谷区石造遺物調査報告書
994	石造物	用賀	4-12-1	路傍	安永6.3.吉	1777	世田谷区石造遺物調査報告書
995	石造物	若林	3-32-18	路傍	享保6.10	1721	世田谷区石造遺物調査報告書
996	石造物	若林	3-32-18	路傍	延宝9.9.25	1681	世田谷区石造遺物調査報告書
997	石造物	若林	3-32-18	路傍	元禄10	1697	世田谷区石造遺物調査報告書
998	石造物	若林	5-37-16	路傍	寛保1.8.16	1741	世田谷区石造遺物調査報告書
999	石造物	若林	5-37-16	路傍	宝暦14.3.吉	1764	世田谷区石造遺物調査報告書
1000	石造物	若林	2-30-16	勝光院別院	享保14.閏9.20	1729	世田谷区石造遺物調査報告書

世田谷区文化財保存活用基本方針

発行日：平成29年4月

編集・発行：世田谷区教育委員会事務局

生涯学習・地域学校連携課

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷 4-21-27

電話 (03)-5432-2726

FAX (03)-5432-3039

広報印刷物登録番号 No. 1513
